Dell™ XPS™ M2010 オーナーズマニュアル

メモ、注意、警告

メモ: コンピュータを使いやすくするための重要な情報を説明しています。

注意: ハードウェアの損傷やデータの損失の可能性を示し、その危険を回避するための方法を説明しています。

警告: 物的損害、けが、または死亡の原因となる可能性があることを示しています。

略語について

略語の一覧表は、用語集 を参照してください。

モデル PP03X

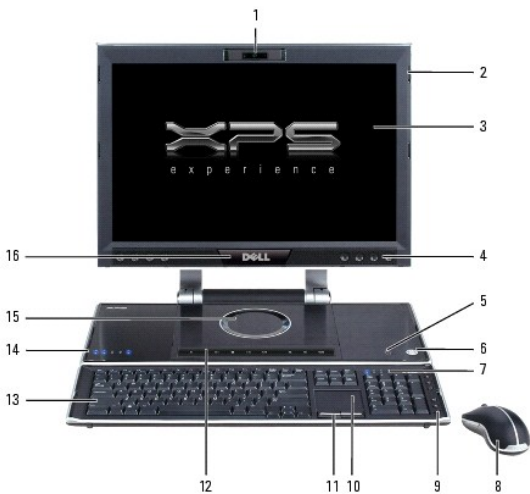
2007 年 2 月　P/N CD748　Rev. A04

目次に戻る

お使いのコンピュータについて

Dell™ XPS™ M2010 オーナーズマニュアル

正面図



1	カメラ	2	ディスプレイラッチ（4）	3	ディスプレイ
4	スピーカー（8）	5	MediaDirect ボタン	6	電源ボタン
7	キーボードステータスライト（4）	8	マウス	9	キーボードメディアコントロールボタン
10	タッチパッド	11	タッチパッドボタン（2）	12	ベースメディアコントロールボタン
13	キーボード	14	デバイスステータスライト（5）	15	オプティカルドライブ
16	赤外線センサー				

カメラ — ビデオキャプチャ、会議、およびチャット用のビルトインカメラ。

ディスプレイ — ディスプレイの詳細に関しては、ディスプレイの使い方を参照してください。

ディスプレイラッチ（4） — ディスプレイを閉じておくために使用します。

スピーカー（8） — 内蔵スピーカーの音量を調節するには、ボリュームコントロールボタン、ミュートボタン、または音量調節のショートカットキーを押します。詳細に関しては、キーの組み合わせを参照してください。

MediaDirect ボタン —

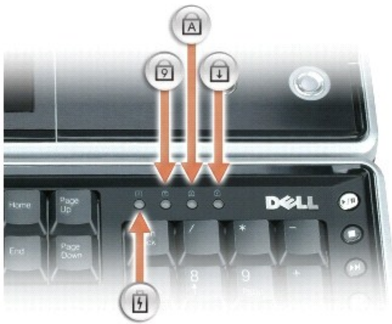
Dell MediaDirect™ へのアクセスを制御します。詳細に関しては、Dell Media Experience および Dell MediaDirect の使い方を参照してください。

電源ボタン — コンピュータの電源を入れるか、もしくは省電力モードを終了するときに電源ボタンを押します。

注意: データの損失を防ぐため、コンピュータの電源を切る際は、電源ボタンを押すのではなく、Microsoft® Windows® オペレーティングシステムのシャットダウンを実行してください。

コンピュータが応答しなくなった場合、コンピュータの電源が完全に切れるまで、電源ボタンを押し続けます（数秒かかることがあります）。

キーボードステータスライト（4）



キーボードの右上にある青色のライトは、以下のように動作します。

	常時点灯、または点滅してキーボードバッテリーの充電状態を示します。
	テンキーパッドが有効になると点灯します。
	英字が常に大文字で入力される機能が有効になると点灯します。
	Scroll Lock 機能が有効になると点灯します。

マウス — ワイヤレスマウス。詳細に関しては、キーボードおよびマウスの使い方を参照してください。

メディアコントロールボタン — メディアの再生を制御します。





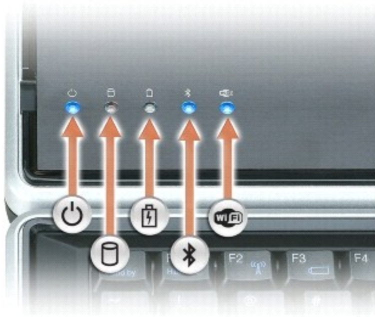
	ボタンを押すと、オプティカルドライブが開閉します。ドライブにメディアが入っているときにボタンを押すと、ドライブが開いてメディアが出てきます。
	ボタンを一回押すと、現在再生中のトラック / チャプターを最初から再生します。ボタンを何度か押すと、直前のトラック / チャプターにスキップして戻ります。ボタンを押し続けると、現在のトラック / チャプターを巻き戻します。
	ボタンを押すと、メディアの再生が停止します。
	ボタンを一回押すと、直後のトラック / チャプターにスキップします。ボタンを何度か押すと、いくつか後のトラック / チャプターにスキップして進みます。ボタンを押し続けると、現在のトラック / チャプターを早送りします。
	ボタンを押すと、メディアが再生、または一時停止します。
	ボタンを押すと、内蔵または外付けスピーカーからのオーディオ出力の音声が停止します。
	ボタンを押すと、内蔵または外付けスピーカーからのオーディオ出力の音量が下がります。
	ボタンを押すと、内蔵または外付けスピーカーからのオーディオ出力の音量が上がります。

タッチパッド — マウスの機能と同じように使用できます。詳細に関しては、タッチパッドを参照してください。

タッチパッドボタン（2） — マウスの機能と同じように使用できます。詳細に関しては、タッチパッドを参照してください。

キーボード — ワイヤレスキーボードには、テンキーパッドや Windows ロゴキーなどが含まれています。お使いのコンピュータがサポートするキーボードショートカットの状態については、テンキーパッドを参照してください。

デバイスステータスライト（5）



	コンピュータに電源を入れると点灯し、コンピュータが省電力モードに入っている際は点滅します。
	コンピュータがデータを読み取ったり、書き込んだりしている場合に点灯します。 **注意:** データの損失を防ぐため、 のライトが点滅している間は、絶対にコンピュータの電源を切らないでください。
	バッテリーが充電状態の場合、常時点灯、または点滅します。
	Bluetooth® ワイヤレステクノロジが有効になっている場合に点灯します。
	ワイヤレスデバイスが有効になると点灯します。

コンピュータがコンセントに接続されている場合、 のライトは次のように動作します。

青色の点灯 — バッテリーの充電中。

青色の点滅 — バッテリーの充電完了。

消灯 — バッテリーが十分に充電されています（または、バッテリーの充電に外部電源を使用できません）。

コンピュータをバッテリーで作動している場合、 のライトは次のように動作します。

消灯 — バッテリーが十分に充電されています（または、コンピュータの電源が切れています）。

橙色の点滅 — バッテリーの充電残量が低下しています。

橙色の点灯 — バッテリーの充電残量が非常に低下しています。

オプティカルドライブ — CD、DVD、および Blu-ray Disc™（BD）メディアを再生します。オプティカルドライブはメディアボタンでコントロールします。詳細に関しては、マルチメディアの使い方を参照してください。

赤外線センサー — 標準のリモコンを使用して、20 フィート以内の距離でお使いの Media Center PC をコントロールするために使用します。

左側面図



1	セキュリティケーブルスロット	2	USB 2.0 コネクタ（2）	3	マイクコネクタ
4	ヘッドフォンコネクタ	5	ワイヤレス接続ボタン（Bluetooth ワイヤレステクノロジ）	6	ディスプレイリリースラッチ

セキュリティケーブルスロット — このスロットを使って、市販の盗難防止用品をコンピュータに取り付けることができます。詳細に関しては、盗難防止用品に付属のマニュアルを参照してください。

注意： 盗難防止用品を購入される前に、お使いのセキュリティケーブルスロットに対応しているかどうかを確認してください。



USB 2.0 コネクタ（2）

	マウス、キーボードまたはプリンタなどの USB デバイスをコンピュータに接続します。

ヘッドフォンコネクタ —

のコネクタにはヘッドフォンを接続します。

マイクコネクタ — のコネクタにはマイクを接続して、音声や音楽をサウンドまたはテレフォニープログラムに入力します。

ワイヤレス接続ボタン — ペアリングが無効の場合、コンピュータを「discover（検出）」モードにし、Bluetooth ワイヤレステクノロジを使用してワイヤレスキーボードとマウスをシステムに接続します。詳細に関しては、キーボードのペアリング およびマウスのペアリングを参照してください。

ディスプレイリリースラッチ —

ラッチを前方にスライドさせて、ディスプレイを開きます。

右側面図



1	ディスプレイリリースラッチ	2	IEEE 1394 コネクタ（ファイアワイヤ）	3	メディアメモリカードリーダー
4	コンパクトフラッシュカードリーダー	5	ExpressCard スロット		

IEEE 1394 コネクタ（ファイアワイヤ） — デジタルビデオカメラ、ハードドライブ、およびオプティカルドライブなどの高速データ転送速度をもつ IEEE 1394 対応のデバイスをコンピュータに接続します。

メディアメモリカードリーダー — メディアメモリカードに保存されたデジタル写真、音楽、およびビデオを素早く手軽に表示、共有することができます。メディアメモリカードリーダーは、次のデジタルメディアメモリカードを読み取ります。

- SD カード/SDIO
- マルチメディアカード（MMC）
- メモリスティック（MS）
- メモリスティック PRO
- xD ピクチャカード

市販のアダプタを使用すると、メモリカードリーダーは次のデジタルメディアメモリカードも読み取ります。

- MiniSD
- RSMMC
- メモリスティック Duo
- メモリスティック PRO Duo

コンパクトフラッシュカードリーダー — メディアメモリカードに保存されたデジタル写真、音楽、およびビデオを素早く手軽に表示、共有することができます。メディアメモリカードリーダーは、次のデジタルメディアメモリカードを読み取ります。

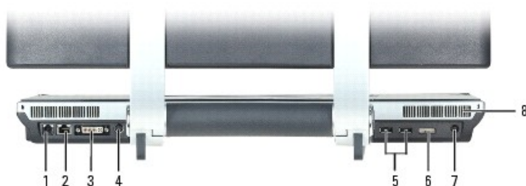
- コンパクトフラッシュタイプ I
- コンパクトフラッシュタイプ II
- マイクロドライブ

ExpressCard スロット — PCI ExpressCard（34 mm または 54 mm）または USB ベースの ExpressCard をサポートします。カードの使い方を参照してください。

メモ: PCMCIA カードは ExpressCard スロットでは動作しません。

背面図

警告: 通気孔を塞いだり、物を押し込んだり、埃や異物が入ったりすることがないようにしてください。コンピュータの稼動中は、ブリーフケースの中など空気の流れの悪い環境にコンピュータを置かないでください。空気の流れを妨げると、火災の原因になったり、コンピュータに損傷を与えたりする恐れがあります。



1	モデムコネクタ（RJ-11）	2	ネットワークコネクタ（RJ-45）	3	デジタルビデオインタフェース（DVI-I）コネクタ
4	を参照S ビデオ TV 出力コネクタ	5	USB 2.0 コネクタ（2）	6	オーディオ /IR ブラスタアダプタコネクタ
7	AC アダプタコネクタ	8	通気孔（3）		

モデムコネクタ（RJ-11）

	オプションの内蔵モデムを購入された場合、電話回線をモデムコネクタに接続します。 モデムの使い方の詳細に関しては、コンピュータに付属のオンラインモデムのマニュアルを参照してください（情報の検索方法を参照）。

ネットワークコネクタ（RJ-45）

注意: ネットワークコネクタは、モデムコネクタよりも若干大きめです。コンピュータの損傷を防ぐため、電話回線をネットワークコネクタに接続しないでください。

	コンピュータをネットワークに接続します。コネクタの横にある 2 個のライトは、ワイヤネットワーク接続のステータスと活動状況を示します。 ネットワークアダプタの使い方に関する詳細に関しては、システムに付属しているオンラインネットワークアダプタのマニュアルを参照してください。

デジタルビデオインタフェース（DVI-I）コネクタ

	外付けの DVI 対応モニターまたはハイデフィニッションTV を接続します。アダプタケーブルを使って、外付けの VGA 対応モニターを DVI コネクタに接続することもできます。

を参照S ビデオ TV 出力コネクタ

	このアナログビデオ出力ポートを介してコンピュータを TV に接続します。 コンポジットビデオ出力およびコンポーネントビデオ出力の場合はアダプタを使用できます。コンピュータとテレビまたはオーディオデバイスとの使い方を参照してください。

オーディオ /IR ブラスタアダプタコネクタ

	次のデバイスを接続します。

	○ 7.1 スピーカーまたはライン入力のある 5.1 スピーカー、マイク、MP3 プレーヤー、テープデッキなどを接続するためのマルチチャネルアナログオーディオ I/O。 ○ ホームシアター受信機、ミニディスクプレーヤー、またはハイエンドデジタルデコーディング 5.1 スピーカーを接続するためのデジタル S/PDIF 出力（TOSLINK オプティカル接続）。 ○ IR ブラスタ出力は、サテライト / ケーブルボックス、VCR などの外付けの民生電子機器をコントロールするために Windows Media Center Edition で使用されます。 詳細に関しては、オーディオ /IR ブラスタアダプタの接続 を参照してください。

AC アダプタコネクタ — AC アダプタをコンピュータに接続します。

AC アダプタは AC 電力をコンピュータに必要な DC 電力へと変換します。AC アダプタは、コンピュータの電源のオンまたはオフにかかわらず接続できます。



警告: AC アダプタは世界各国のコンセントに適合しています。ただし、電源コネクタおよび電源タップは国によって異なります。互換性のないケーブルを使用したり、ケーブルを不適切に電源タップまたはコンセントに接続したりすると、火災の原因になったり、装置に損傷を与えたりする恐れがあります。

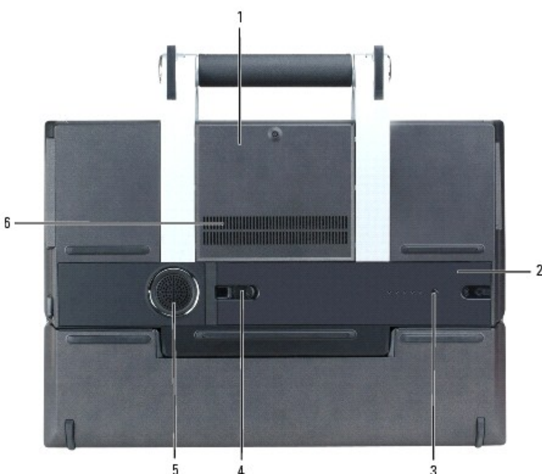
注意: ケーブルの損傷を防ぐため、AC アダプタケーブルをコンピュータから外す場合は、コネクタを持ち（ケーブル自体を引っ張らないでください）、しっかりと、かつ慎重に引き抜いてください。AC アダプタケーブルをまとめる場合、ケーブルの損傷を防ぐため、AC アダプタのコネクタの角度に従ってください。

通気孔（3） — コンピュータは内蔵ファンを使って、通気孔から空気が流れるようになっています。これによって、コンピュータがオーバーヒートすることを防ぎます。コンピュータの背面には、一連の通気孔が 3 つあります。

警告: 通気孔を塞いだり、物を押し込んだり、埃や異物が入ったりすることがないようにしてください。コンピュータの稼動中は、ブリーフケースの中など空気の流れの悪い環境にコンピュータを置かないでください。空気の流れを妨げると、火災の原因になったり、コンピュータに損傷を与えたりする恐れがあります。

メモ: ファンが稼動することにより、コンピュータは適切に機能する温度を保ちます。ファンからノイズが聞こえる場合がありますが、これは一般的な現象で、ファンやコンピュータに問題が発生したわけではありません。

底面図



1	メモリモジュールカバー	2	バッテリー	3	バッテリー充電ゲージ
4	バッテリーリリースラッチ	5	サブウーハーカバー	6	ファン通気孔

メモリモジュールカバー — セカンダリメモリモジュールの実装部のカバーです。メモリを参照してください。

バッテリー — バッテリーを取り付けると、コンピュータをコンセントに接続しなくてもコンピュータを使うことができます。バッテリーの使い方を参照してください。

バッテリー充電ゲージ —

バッテリーの充電残量を表示します。充電ゲージを参照してください。

バッテリーリリースラッチ — バッテリーを取り出します。手順については、バッテリーの取り付けを参照してください。

サブウーハーカバー — サブウーハーが収容されている実装部のカバーです。

ファン通気孔 — コンピュータは内蔵ファンを使って、ファン通気孔から空気が流れるようになっています。これによって、コンピュータがオーバーヒートすることを防止します。

 **メモ:** ファンが稼動することにより、コンピュータは適切に機能する温度を保ちます。ファンからノイズが聞こえる場合がありますが、これは一般的な現象で、ファンやコンピュータに問題が発生したわけではありません。

 **警告: 通気孔を塞いだり、物を押し込んだり、埃や異物が入ったりすることがないようにしてください。コンピュータの稼動中は、ブリーフケースの中など空気の流れの悪い環境にコンピュータを置かないでください。 空気の流れを妨げると、火災の原因になったり、コンピュータに損傷を与えたりする恐れがあります。**

目次に戻る

[目次に戻る]

付録

Dell™ XPS™ M2010 オーナーズマニュアル

安全性および Bluetooth デバイスに関する警告

Dell™ Bluetooth® モジュールは、他の無線通信デバイスと同様に高周波電磁エネルギーを放出します。ただし、これらのデバイスによって放出されるエネルギーレベルは、他のワイヤレスデバイス（携帯電話など）によって放出される電磁エネルギーより低くなっています。Dell Bluetooth モジュールワイヤレスデバイスは、高周波に関する安全基準や推奨事項に記載のガイドラインの範囲内で動作します。これらの基準や推奨事項は、科学界の共通認識を反映し、幅広い研究文献を継続的に審査、分析している科学者の委員会審議から作成されています。特定の状況や環境では、建物の所有者や関係機関の責任者によって、Dell Bluetooth モジュールワイヤレスデバイスの使用が制限される場合があります。

上記の使用が制限される状況には、次のような場合があります。

- 航空機搭乗中に Dell Bluetooth モジュール機器を使用する場合、または
- 他のデバイスやサービスを妨害する危険性が認められたり、有害と判断されるその他の環境で Dell Bluetooth モジュール機器を使用する場合。

特定の機関や環境（例えば空港など）でワイヤレスデバイスを使用する際に適用される規則が分からない場合は、ワイヤレスデバイスの電源を入れる前に、使用に関して当該機関に問い合わせることをお勧めします。

警告: 爆発性環境におけるデバイスの使用に関する警告について、非保護の雷管付近や爆発の危険がある環境では、デバイスがこのような使用に対応するよう変更されていない限り、ノートブック発信機（ワイヤレスネットワークデバイスなど）を操作しないでください。

警告: 航空機内での使用について、FCC および FAA の規制では、デバイスの信号が航空機の重要機器に障害を与える恐れがあるため、航空機搭乗中の高周波ワイヤレスデバイスの操作は禁止されています。

コンピュータのクリーニング

警告: 本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。

コンピュータ、キーボード、およびモニター

警告: コンピュータのクリーニングを行う前に、コンピュータをコンセントから外し、取り付けられているバッテリーを外します。コンピュータのクリーニングには、水で湿らせた柔らかい布をお使いください。液体クリーナーやエアゾールクリーナーは使用しないでください。可燃性物質を含んでいる場合があります。

- キーボードのキーの間のほこりをクリーニングするには、圧縮空気の缶スプレーを使用します。

注意: コンピュータやディスプレイへの損傷を防ぐため、ディスプレイに直接クリーナーをスプレーしないでください。ディスプレイ専用のクリーニング用品のみお使いいただき、その製品に付属している手順書に従ってください。

- 水、またはディスプレイ用クリーナーで湿らせた柔らかく、糸くずの出ない布でディスプレイをきれいになるまで拭きます。
- 水で湿らせた柔らかく糸くずの出ない布で、コンピュータとキーボードを拭きます。布から水がにじみ出てタッチパッドやパームレストにしみ込まないようにしてください。

タッチパッド

1. シャットダウンして、コンピュータの電源を切ります。
2. コンピュータに取り付けられているすべてのデバイスを取り外して、コンセントから抜きます。
3. 取り付けられているすべてのバッテリーを取り外します。バッテリーの取り付けを参照してください。
4. 水で湿らせた柔らかく糸くずの出ない布で、タッチパッドの表面をそっと拭きます。布から水がにじみ出てタッチパッドやパームレストにしみ込まないようにしてください。

CD、DVD および BD メディア

注意: オプティカルドライブのレンズの手入れには、必ず圧縮空気を使用して、圧縮空気に付属しているマニュアルに従ってください。ドライブのレンズには絶対に触れないでください。

メディアがスキップしたり、音質や画質が低下したりする場合、ディスクを掃除します。

1. ディスクの外側の縁を持ちます。中心の穴の縁にも触ることができます。

注意: 円を描くようにディスクを拭くと、ディスク表面に傷を付ける恐れがあります。

2. 柔らかく、糸くずの出ない布でディスクの裏側（ラベルのない側）を中央から外側の縁に向かって放射状にそっと拭きます。

   頑固な汚れは、水、または水と刺激性の少ない石鹸の希釈溶液で試してください。ディスクの汚れを落とし、ほこりや指紋、ひっかき傷などからディスクを保護する市販のディスククリーナーもあります。CD 用のクリーナーは DVD にも使用できます。

Macrovision 製品通知

この製品には、米国特許権および知的所有権によって保護されている著作権保護技術が組み込まれています。本製品の著作権保護テクノロジは Macrovision に使用権限があり、同社の許可がない限り、家庭内および限定的な表示にのみ使用することを目的としています。リバースエンジニアリングや分解は禁止されています。

FCC の通達（アメリカ合衆国のみ）

FCC クラス B

この装置は、ラジオ周波数のエネルギーを発生、使用、放射する可能性があります。製造元のマニュアルに従わずに取り付けて使用した場合、ラジオやテレビに受信障害を生じさせる場合があります。本装置は、試験の結果、FCC 規則パート 15 に準拠するクラス B デジタル装置の規制に適合しています。

この装置は FCC（米国連邦通信委員会）規定の第 15 項に適合しています。次の 2 つの条件にしたがって使用してください。

1. 本装置が有害な障害を引き起こさないこと。

2. 本装置は、受信障害を起こすと、望ましくない操作が必要になる場合もあります。

注意: FCC 規則では、デルによって明確に許可されていない変更修正を行った場合、その装置を使用する権限が無効になることがあると規定されています。

この規制は、個人の家に取り付けた場合に、有害な障害に対する適正な保護を提供するよう設計されています。ただし、特定の設定で電波障害が発生しないという保証はありません。本装置のスイッチをオンオフすることにより、本装置がラジオやテレビに受信障害を引き起こしていることが確認された場合は、次の方法をお試しになるようお勧めします。

- 受信アンテナの方向を変えてください。
- 受信機に対してシステムを再配置してください。
- 受信機からシステムを遠ざけてください。
- システムを別のコンセントにつないで、システムと受信機を別々の分岐回路上に置いてください。

詳細については、デルの担当者またはラジオ / テレビの技術者にご相談ください。

次の情報は、FCC 規則に準拠する本書で取り扱う装置に関するものです。

製品名：	Dell™ XPS™ M2010
モデル番号：	PP03X
会社名：	Dell Inc. Worldwide Regulatory Compliance & Environmental Affairs One Dell Way Round Rock, TX 78682 USA 512-338-4400

目次に戻る

[目次に戻る]

バッテリーの使い方

Dell™ XPS™ M2010 オーナーズマニュアル

バッテリーの取り付け

警告: 適切でないバッテリーを使用すると、火災または爆発を引き起こす可能性があります。交換するバッテリーは、必ずデルが販売している専用のものをお使いください。バッテリーは、お使いの Dell ™ コンピュータで動作するように設計されています。他のコンピュータのバッテリーをお使いのコンピュータで使用しないでください。

警告: 以下の手順を実行する前に、コンピュータの電源を切り、AC アダプタをコンセントとコンピュータから外し、モデムを壁のコネクタとコンピュータから外し、その他すべての外付けケーブルをコンピュータから取り外します。

注意: 起こり得るコネクタの損傷を防ぐため、すべての外付けケーブルをコンピュータから取り外してください。

メモ: サービスタグラベルは、コンピュータのバッテリー実装部の中にあります。

バッテリーの挿入

1. コンピュータを裏返す前に、キーボードがしっかり取り付けられており、ディスプレイが閉じてラッチがはまっていることを確認します。ディスプレイパネルの閉じ方を参照してください。次に、コンピュータを清潔で平らな台の上で裏返します。

2. バッテリーのリリースラッチボタン（1）を押して、バッテリーアクセスドアを開きます。



3. バッテリーアクセスドアを開けた状態で、バッテリーをバッテリー実装部にまっすぐ押し下げて挿入します。



4. カチッと所定の位置に収まるまで、バッテリーを 1 の矢印方向にスライドさせます。



5. バッテリーアクセスドアを指で押し下げて閉じます。



バッテリーの取り外し

1. コンピュータの電源が切れていることを確認します。

2. コンピュータ底面のバッテリーリリースラッチを 1 の矢印方向にスライドさせます。バッテリーアクセスドアが持ち上がります。



1	バッテリーアクセスドア

3. 片方の親指をバッテリーアクセスドアの横の穴に入れ、もう一方の親指を 2 の矢印付近のくぼみに入れて、両方の親指を使ってバッテリーを 2 の矢印方向にスライドさせます。



4. バッテリーをまっすぐ持ち上げて、コンピュータから取り外します。



バッテリーの性能

メモ: デルの保証情報に関しては、『「こまった」ときの DELL パソコン Q&A』を参照してください。

コンピュータを最適な性能で使用し、BIOS の設定を維持するため、Dell ノートブックコンピュータは常にメインバッテリーを搭載した状態でお使いください。バッテリーは標準で 1 つ搭載されています。

メモ: バッテリーはフル充電されていない場合がありますので、コンピュータを初めて使用するときは、AC アダプタを使って新しいコンピュータをコンセントに接続してください。最良の結果を得るには、バッテリーがフル充電されるまで、AC アダプタを使ってコンピュータを動作させます。バッテリーの充電ステータスを表示するには、**コントロールパネル** → **パフォーマンスとメンテナンス** → **電源オプション** → **電源メーター** とクリックします。

バッテリー駆動時間は使用状況によって異なります。

メモ: バッテリー駆動時間（バッテリーが電力を供給できる時間）は、時間の経過に従って短くなります。バッテリーの使用頻度および使用状況によって駆動時間が変わるので、コンピュータの寿命がある間でも新しくバッテリーを購入する必要がある場合もあります。

メモ: CD や DVD、または BD に書き込みをする際は、コンピュータをコンセントに接続することをお勧めします。

バッテリー駆動時間は使用状況によって異なります。次のような場合、バッテリーの持続時間は著しく短くなりますが、他の方法でも短くなる場合もあります。

- オプティカルドライブを使用している場合
- ワイヤレス通信デバイス、ExpressCard、メディアメモリカード、または USB デバイスを使用している場合
- ディスプレイの輝度を高く設定したり、3D スクリーンセーバー、または複雑な 3D グラフィックスアプリケーションなどの電力を集中的に使用するプログラムを使用したりしている場合
- 最大パフォーマンスモードでコンピュータを実行している場合。Windows 電源オプションのプロパティまたは Dell QuickSet にアクセスする方法に関しては、電力管理の設定 を参照してください。これらの機能を使用して電源管理を設定できます。

バッテリーをコンピュータに挿入する前に、バッテリー充電量を確認できます。バッテリーの充電チェックおよびバッテリーの挿入を参照してください。バッテリーの充電量が少なくなると警告を発するように、電源管理のオプションを設定することもできます。電力管理の設定を参照してください。

警告: 適切でないバッテリーを使用すると、火災または爆発を引き起こす可能性があります。交換するバッテリーは、必ずデルが販売している専用のものをお使いください。バッテリーはお使いの Dell コンピュータで動作するように設計されています。他のコンピュータのバッテリーをお使いのコンピュータで使用しないでください。

警告: バッテリーを家庭用のごみと一緒に捨てないでください。不要になったバッテリーは、貴重な資源を守るために廃棄しないで、デル担当窓口：デル PC リサイクルデスク（個人のお客様：044-556 4298、企業のお客様：044- 556-3481）へお問い合わせください。『製品情報ガイド』にある「バッテリーの廃棄」を参照してください。

警告: バッテリーの取り扱いを誤ると、火災や化学燃焼を引き起こす可能性があります。バッテリーに穴をあけたり、燃やしたり、分解したり、または温度が 65 ℃ を超える場所に置いたりしないでください。バッテリーはお子様の手の届かないところに保管してください。損傷のあるバッテリー、または漏れているバッテリーの取り扱いには、特に気を付けてください。バッテリーが損傷していると、セルから電解液が漏れ出し、けがをしたり装置を損傷したりする恐れがあります。

バッテリーの充電チェック

Dell QuickSet バッテリメーター、Microsoft® Windows® **電源メーター** ウィンドウと アイコン、バッテリー充電ゲージと機能ゲージ、およびバッテリーの低下を知らせる警告は、バッテリー充電の情報を提供します。Dell QuickSet バッテリメーターは、キーボードバッテリーの充電ステータス情報も提供します。

Dell QuickSet バッテリメーター

Dell QuickSet がインストールされている場合、<Fn><F3> を押すと、QuickSet **バッテリメーター** ウィンドウが表示されます。 バッテリメーターには、お使いのコンピュータのバッテリーのステータス、性能、充電レベル、および充電完了時間が表示されます。

QuickSet の詳細に関しては、タスクバーにある アイコンを右クリックして、**ヘルプ** をクリックします。

Microsoft Windows 電源メーター

Microsoft Windows 電源メーターには、バッテリーの充電残量が表示されます。電源メーターを確認するには、タスクバーの アイコンをダブルクリックします。

コンピュータがコンセントに接続されている場合、 アイコンが表示されます。

充電ゲージ

バッテリーの充電ゲージにあるステータスボタンを一度押すかまたは押し続けると、次のことが確認できます。

- バッテリーの充電量（ステータスボタンを短く押して確認します）
- バッテリー性能（ステータスボタンを押し続けて確認します）

バッテリーの動作時間は、充電される回数によって大きく左右されます。充放電を何百回も繰り返すと、バッテリーの充電機能またはバッテリー性能は次第に低下します。つまり、バッテリーに「充電済み」のステータスが表示されても、充電容量（性能）は低下したままの場合があります。

バッテリーの充電チェック

バッテリーの充電をチェックするには、バッテリー充電ゲージにあるステータスボタンを短く押して、充電レベルライトを点灯させます。 各々のライトはバッテリーの総充電量の約 20 %を表します。たとえば、バッテリーの充電残量が 80 %なら 4 つのライトが点灯します。どのライトも点灯していない場合、バッテリーの充電残量が残っていないことになります。

バッテリーの性能チェック

メモ: バッテリー性能は、以下に記載するバッテリーの充電ゲージ、および Dell QuickSet のバッテリメーターのいずれかを使用してチェックすることができます。QuickSet の詳細に関しては、タスクバーにある アイコンを右クリックして **ヘルプ** をクリックします。

充電ゲージを使用してバッテリー性能をチェックするには、バッテリー充電ゲージのステータスボタンを 3 秒以上押し続けます。どのライトも点灯しない場合、バッテリーの機能は良好で、初期の充電容量の 80 %以上を維持しています。各ライトは機能低下の割合を示します。ライトが 5 つ点灯した場合、バッテリーの充電容量は 60% 以下になっていますので、バッテリーを交換することをお勧めします。バッテリー駆動時間の詳細に関しては、バッテリーを参照してください。

バッテリーの低下を知らせる警告

注意: データの損失またはデータの破損を防ぐため、バッテリーの低下を知らせる警告音が鳴ったら、すぐに作業中のファイルを保存してください。次に、コンピュータをコンセントに接続します。バッテリーの電源が完全になくなると、自動的に休止モードが開始されます。

ポップアップウィンドウの警告は、バッテリーの充電残量の約 90 %を消費した時点で発せられます。バッテリーの充電残量が非常に少なくなると、コンピュータは自動的に休止状態モードに入ります。

バッテリーアラームの設定は、QuickSet または **電源オプションのプロパティ** ウィンドウで変更できます。QuickSet または **電源オプションのプロパティ**ウィンドウにアクセスする方法に関しては、電力管理の設定を参照してください。

バッテリーの充電

メモ: コンピュータの電源が切れている場合、AC アダプタから完全に放電したバッテリーを 80 %まで充電するには 約 90 分かかります。バッテリーを完全に充電するには、さらに時間がかかります。コンピュータの電源が入っている場合は、充電時間は長くなります。バッテリーを充電したまま、コンピュータをそのままにしておいても問題ありません。バッテリーの内部回路によって過剰充電が防止されます。

コンピュータをコンセントに接続したり、コンセントに接続されているコンピュータにバッテリーを取り付けたりすると、コンピュータはバッテリーの充電状態と温度をチェックします。その後、AC アダプタは必要に応じてバッテリーを充電し、その充電量を保持します。

バッテリーがコンピュータの使用中に高温になったり高温の環境に置かれたりすると、コンピュータをコンセントに接続してもバッテリーが充電されない場合があります。

のライトが青色と橙色を交互に繰り返して点滅する場合、バッテリーが高温すぎて充電が開始できない状態です。コンピュータをコンセントから抜き、コンピュータとバッテリーを室温に戻します。次に、コンピュータをコンセントに接続し、充電を継続します。

バッテリーの問題の解決の詳細に関しては、電源の問題を参照してください。

バッテリー電源の節約

バッテリー電源を節約するには次の手順を実行してください。

- バッテリーの寿命は、使用および充電される回数によって大きく異なってきますので、コンピュータはできるだけコンセントに接続してお使いください。
- 長時間コンピュータから離れるときは、コンピュータをスタンバイモードまたは休止状態モードにしてください。省電力モードを参照してください。
- 電力の管理ウィザードまたは **電源オプションのプロパティ** ウィンドウを使用して、お使いのコンピュータの電力使用状況を最適にするオプションを選択します。電源ボタンを押してディスプレイを閉じるか、または <Fn><Esc> を押すと、これらのオプションの設定を変更することができます。

メモ: バッテリー電力を節約する方法に関しては、電力管理の設定 を参照してください。

バッテリーの保管

長期間コンピュータを保管する場合は、バッテリーを取り外してください。バッテリーは、長期間保管していると放電してしまいます。長期間保管後にコンピュータをお使いになるときは、完全にバッテリーを再充電してください。バッテリーの充電を参照してください。

省電力モード

電源インジケータ LED は、コンピュータの電源状態を表示します。コンピュータを閉じた状態で使用している場合は、ディスプレイパネルの背面にある Dell バッジがコンピュータの電源状態を表示します。

電源状態	**電源 LED**
通常の動作状態	青色のライトが点灯
低電力状態	青色のライトがゆっくり点滅
スタンバイモード	青色のライトがゆっくり点滅
休止状態モード	消灯
機械的に切断された状態（AC 電源なし）	消灯

スタンバイモード

スタンバイモードは、あらかじめ設定した一定の時間コンピュータを操作しないでおくと（タイムアウト）、ディスプレイとハードドライブの電源を切ることによって電力を節約するモードです。スタンバイモードを終了すると、コンピュータはスタンバイモードに入る前と同じ動作状態に戻ります。

注意: スタンバイモード中に AC 電源が切れたりバッテリーを使い切ってしまうと、データを損失する恐れがあります。

スタンバイモードを起動するには、以下の手順を実行します。

- **スタート** ボタンをクリックして、**終了オプション** をクリックします。次に **スタンバイ** をクリックします。

  または

- **電源オプションのプロパティ** ウィンドウまたは QuickSet 電力の管理ウィザードで、ご自身で設定した電源管理のオプションに従い、次の方法の一つを実行します。
  - 電源ボタンを押します。
  - ディスプレイを閉じます。
  - <Fn><Esc> を押します。

スタンバイモードから復帰するには、電力の管理オプションの設定に応じて、電源ボタンを押すか、ディスプレイを開きます。このオプションが有効になっている場合は、キーを押したり、タッチパッドに触れた場合にのみ、コンピュータをスタンバイモードから復帰させることができます。まず最初に、セットアップユーティリティの **電力の管理** で **USB Wake Support**（USB ウェイクサポート）を有効にする必要があります。次に、システムトレイの Bluetooth アイコンを右クリックして、**Options**（オプション）をクリックし、**Other**（その他）タブを選択し、**HID Profile Wakeup Setting**（HID プロファイルウェイクアップ設定）を選択して、スタンバイから復帰させるデバイスを選択します。スタンバイから復帰させるには、コンピュータを AC 電源に接続する必要もあります。詳細に関しては、セットアップユーティリティ画面を参照してください。

休止状態モード

休止状態モードでは、システム情報をハードドライブの予約領域にコピーしてから、コンピュータの電源を切ることによって電力を節約します。休止状態モードから復帰すると、コンピュータは休止状態モードに入る前と同じ動作状態に戻ります。

注意: コンピュータが休止状態モードの間は、デバイスを取り外すことはできません。

バッテリーの充電レベルが極端に低くなった場合、コンピュータは休止状態モードに入ります。

手動で休止状態モードを起動するには、以下の手順を実行します。

- **スタート** ボタンをクリックして、**終了オプション** をクリックし、**休止状態** をクリックします。

  または

- **電源オプションのプロパティ** ウィンドウまたは QuickSet 電力の管理ウィザードでご自身で設定した電源管理のオプションに従い、次の方法の一つを実行し、休止状態モードを起動します。
  - 電源ボタンを押します。
  - ディスプレイを閉じます。
  - <Fn><F1>を押します。

メモ: ExpressCard によっては、休止状態モードから復帰した後、正常に動作しないものがあります。カードを取り外して取り付けなおすか（カードの取り外しを参照）、コンピュータを再起動してください。

休止状態モードから通常の動作状態に戻るには、電源ボタンを押します。コンピュータが通常の動作状態に戻るのに、若干時間がかかることがあります。キーを押したり、タッチパッドに触れてもコンピュータは休止状態モードから復帰しません。休止状態モードの詳細に関しては、オペレーティングシステムに付属のマニュアルを参照してください。

電力管理の設定

QuickSet 電力の管理ウィザードまたは Windows 電源オプションのプロパティを使用して、お使いのコンピュータの電力管理の設定を行うことができます。

- QuickSet の詳細に関しては、タスクバーにある アイコンを右クリックして、**ヘルプ** をクリックします。
- **電源オプションのプロパティ** ウィンドウにアクセスするには、**スタート** ボタンをクリックし、**コントロールパネル**→ **パフォーマンスとメンテナンス** とポイントして、**電源オプション** をクリックします。**電源オプションのプロパティ** ウィンドウにあるフィールドの詳細に関しては、タイトルバーの疑問符アイコンをクリックし、知りたい情報に該当する領域をクリックします。

目次に戻る

目次に戻る

カードの使い方

Dell™ XPS™ M2010 オーナーズマニュアル

サポートされるカード

お使いのコンピュータには、メディアメモリカードに保存されたデジタル写真、音楽、およびビデオを素早く手軽に表示、共有できるメモリ保存メディア用に 2 つのスロット、およびワイヤレス WAN をサポートする ExpressCard 用に 1 つのスロットがあります。カードはデルからご購入いただけます。

メモ: お使いのコンピュータは PC カードをサポートしません。

詳細に関しては、仕様を参照してください。

メディアメモリカードリーダー

メディアメモリカードリーダーは、次のデジタルメディアメモリカードを読み取ります。

- SD カード/SDIO
- マルチメディアカード（MMC）
- メモリスティック（MS）
- メモリスティック PRO
- xD ピクチャカード

市販のアダプタを使用すると、メモリカードリーダーは次のデジタルメディアメモリカードも読み取ります。

- MiniSD
- RSMCC
- メモリスティック Duo
- メモリスティック PRO Duo

コンパクトフラッシュカードリーダー

コンパクトフラッシュカードリーダーは、次のデジタルメディアメモリカードを読み取ります。

- コンパクトフラッシュタイプ I
- コンパクトフラッシュタイプ II
- マイクロドライブ

ExpressCard リーダー

メモ: PCMCIA カードは ExpressCard リーダーでは動作しません。

ExpressCard スロットには、34 mm と 54 mm の ExpressCard を両方サポートするコネクタが 1 つあります。

ExpressCard のワイヤレス WAN サポートの詳細に関しては、モバイルブロードバンドネットワークまたはワイヤレス WAN（ワイドエリアネットワーク）を参照してください。

拡張カード

拡張カードは、標準のカードより長く、コンピュータの外側にはみ出しています。拡張カードを使用する場合、次の注意事項に従ってください。

- 取り付けたカードのはみ出した部分を保護します。カードの端をぶつけると、システム基板が損傷する恐れがあります。
- コンピュータをキャリーケースに入れる場合、必ず拡張カードを取り外してください。

メディアメモリカードまたは ExpressCard の取り付け

メディアメモリカードまたは ExpressCard は、コンピュータの実行中に取り付けることができます。コンピュータは自動的にカードを検出します。

通常、カードは、カード上面にスロットへの挿入方向を示す三角形や矢印などが描かれています。カードは一方向にしか挿入できないように設計されています。カードの挿入方向がわからない場合は、カードに付属のマニュアルを参照してください。

警告: 本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。



1	IEEE 1394 コネクタ	2	メディアメモリカードスロット	3	コンパクトフラッシュカードスロット
4	ExpressCard スロット				

カードを挿入するには、以下の手順を実行します。

1. カード上面を上にして、挿入方向を示す印がスロットを指すようにカードを持ちます。ラッチを「中に入れた」位置にしてからカードを挿入する必要がある場合があります。

2. PC カードコネクタにカードが完全に収まるまで、カードをスロットにスライドします。

   カードがきちんと入らないときは、無理にカードを押し込まないでください。カードの向きが合っているかを確認して再度試してみてください。

カードの取り外し

注意: タスクバーの アイコンをクリックしてカードを選択し、その動作を停止してから、カードをコンピュータから取り外します。設定ユーティリティでカードの動作を停止しないでカードを取り外すと、データを失う恐れがあります。ケーブルが付いている場合、カードを取り外す際にケーブルそのものを引っぱってカードを取り外さないでください。

ラッチを押してカードまたはダミーカードを取り外します。ラッチによっては、ラッチを 2 回押す必要があります。1 回目でラッチが外れ、2 回目でカードが出てきます。

目次に戻る

目次に戻る

メモ、注意、警告

メモ: コンピュータを使いやすくするための重要な情報を説明しています。

注意: ハードウェアの損傷やデータの損失の可能性を示し、その危険を回避するための方法を説明しています。

警告: 物的損害、けが、または死亡の原因となる可能性があることを示しています。

略語について

略語の一覧表は、用語集 を参照してください。

モデル PP03X

2007 年 2 月　P/N CD748　Rev. A04

目次に戻る

目次に戻る

ディスプレイの使い方

Dell™ XPS™ M2010 オーナーズマニュアル

ディスプレイパネルの開き方

1. 2 つのディスプレイリリースラッチ（ディスプレイパネルの背面の両側に 1 つずつ）をコンピュータの前面方向にスライドさせて、4 つのディスプレイラッチを外します。

   ラッチは、2 つがディスプレイパネルをコンピュータベースに固定し、2 つがディスプレイパネルをキーボードに固定しています。



1	ディスプレイリリースラッチ（2）	2	ディスプレイラッチ（4）

2. ディスプレイパネルを上げて、コンピュータを開きます。ディスプレイパネルを上げると、4 つのラッチはディスプレイパネルに収容されます。

メモ: システムバッテリーが消耗していて電源がない場合、ラッチは収容されません。

ディスプレイパネルの閉じ方

1. ディスプレイパネルを閉じる前に、キーボードがコンピュータベースにしっかり取り付けられていることを確認します。

2. ディスプレイパネルをコンピュータベースに向かってゆっくり下げます。ディスプレイパネルを下げると、4 つのディスプレイラッチがディスプレイパネルから出て、ディスプレイがコンピュータベースとキーボードに固定されます。

メモ: システムバッテリーが消耗していて電源がない場合、ラッチは自動的には出てきません。この場合、ディスプレイリリースラッチボタンを前方にスライドさせて、手動でラッチを固定することができます。

3. ふたをしっかり閉じて、4 つのラッチを固定します。

注意: コンピュータを持ち運ぶ際は、4 つのラッチがすべてしっかり固定されていることを確認してください。ラッチが固定されていないと、キーボードが落下して損傷する恐れがあります。

ディスプレイパネルの調節

お使いのコンピュータのディスプレイは快適な可視角度に調節できます。

注意: ディスプレイは DVD ドライブの開閉を邪魔しないように配置してください。



輝度の調節

Dell™ コンピュータがバッテリーで動作している場合、<Fn> とキーボードの上下矢印キーを押して、輝度を快適に使用できる最低の設定にして節電することができます。

メモ: 輝度のキーの組み合わせは、お使いのノートブックコンピュータのディスプレイのみに適用します。ノートブックコンピュータに取り付けられているモニターまたはプロジェクタには影響はありません。お使いのコンピュータが外付けモニターに接続してある場合に輝度レベルを変更しようとすると、輝度メーターは表示されることがありますが、外付けデバイスの輝度レベルは変更されません。

次のキーを押すと、ディスプレイの輝度を調節できます。

- <Fn> と上矢印キーを押すと、内蔵ディスプレイのみ（外付けモニターは該当しません）の輝度が上がります。
- <Fn> と下矢印キーを押すと、内蔵ディスプレイのみ（外付けモニターは該当しません）の輝度が下がります。

ビデオイメージの切り替え

外付けデバイス（外付けモニターまたはプロジェクタなど）を取り付け、それらの電源を入れてコンピュータを起動すると、コンピュータのディスプレイまたは外付けデバイスのいずれかに画像が表示されます。

<Fn><F8> を押して画面モードの表示をディスプレイのみ、外付けデバイスのみ、またはディスプレイと外付けデバイスの同時表示に切り替えます。ディスプレイを選択してハイライト表示し、キーを離すと、ディスプレイが選択されます。

画面解像度とリフレッシュレートの設定

メモ: 画面解像度を現在の設定から変更すると、イメージがぼやけたり、テキストが読み取りづらくなったりする場合があります。画面設定を変更する前に、後で参照できるよう現在の設定を控えておいてください。

特定の解像度でプログラムを表示するには、グラフィックスカードとディスプレイの両方がプログラムをサポートしていて、さらに、必要なビデオドライバがインストールされている必要があります。

メモ: プリインストールされているビデオドライバは、お使いのコンピュータの性能を最大限に活用できるよう設計されています。

画面のサポートする範囲よりも高い解像度またはカラーパレットを選択した場合、サポートされる最も近い設定に自動的に調整されます。

1. **スタート**→ **コントロールパネル**→ **ディスプレイ** とクリックします。
2. **画面のプロパティ** ウィンドウで **設定** タブをクリックします。
3. **画面の解像度** と **画面の色** で、別の設定にしてみます。

メモ: 解像度を上げると、画面上でより小さくアイコンやテキストが表示されます。

ビデオ解像度の設定が画面のサポートする範囲よりも高い場合、コンピュータはパンモードに入ります。パンモードでは、画面全体を一度に表示できません。たとえば、通常デスクトップの下に表示されているタスクバーが見えないことがあります。画面の見えない部分を表示するには、タッチパッドを使用して上下左右に動かします。

注意: 外付けモニターでサポートされていないリフレッシュレートを使用すると、モニターに損傷を与える恐れがあります。外付けモニターのリフレッシュレートを調整する前に、モニターのユーザーズガイドを参照してください。

デュアルディスプレイモード

外付けモニターやプロジェクタをコンピュータに取り付けたり、お使いのディスプレイの拡張として使用できます(「デュアディスプレイ」または「拡張デスクトップ」モードとも呼ばれます)。このモードでは、両方の画面を独立して使用することができ、1 つの画面からもう一方の画面へオブジェクトをドラッグできます。視覚作業スペースが事実上二倍になります。

1. 外付けモニター、TV、またはプロジェクタをコンピュータに接続します。
2. **スタート**→ **コントロールパネル**→ **ディスプレイ** とクリックします。
3. **画面のプロパティ** ウィンドウで **設定** タブをクリックします。

メモ: 画面のサポートする範囲よりも高い解像度またはカラーパレットを選択した場合、サポートされる最も近い設定に自動的に調整されます。詳細については、オペレーティングシステムのマニュアルを参照してください。

4. モニタ 2 アイコンをクリックし、**Windows デスクトップをこのモニタ上で移動できるようにする** チェックボックスをクリックして **適用** をクリックします。
5. 両方の画面を適切なサイズにするために、**画面の領域** を変更して、**適用** をクリックします。
6. コンピュータを再起動するよう指示された場合、**再起動せずに新しい表示設定を適用する** をクリックし、**OK** をクリックします。
7. 必要に応じて、**OK** をクリックし、デスクトップのサイズを変更します。
8. 必要に応じて、**はい** をクリックし、設定を保存します。
9. **OK** をクリックして、**画面のプロパティ** ウィンドウを閉じます。

デュアルディスプレイモードを無効にするには、以下の手順を実行します。

1. **画面のプロパティ** ウィンドウの **設定** タブをクリックします。
2. モニタ 2 アイコンをクリックし、**Windows デスクトップをこのモニタ上で移動できるようにする** オプションのチェックマークを外して、**適用** をクリックします。

必要に応じて <Fn><F8> を押し、コンピュータの元の画面に戻します。

プライマリディスプレイとセカンダリディスプレイの入れ替え

プライマリディスプレイとセカンダリディスプレイの指定を入れ替えるには(例えば、外付けモニターをプライマリモニターとして使用する場合)、次の手順を実行します。

1. **スタート**→ **コントロールパネル**→ **ディスプレイ** とクリックします。
2. **設定** タブ→ **詳細設定**→ **識別** とクリックします。

   詳細に関しては、お使いのビデオカードに付属のマニュアルを参照してください。

カメラの使い方

お使いのコンピュータには、ディスプレイパネルに内蔵されたカメラがあります。カメラを使用して写真やビデオを撮影したり、他のコンピュータユーザーと画像を介して通信することができます。カメラの傾斜は手動で調節できます。詳細に関しては、仕様を参照してください。



カメラのセットアップ

カメラをセットアップするには、コンピュータに付属のカメラの『セットアップガイド』(冊子)を参照してください。カメラの使い方の詳細に関しては、カメラのヘルプファイルを参照してください。

ヘルプファイルへのアクセス

カメラのヘルプファイルにアクセスするには、以下の手順を実行します。

1. **スタート** → **すべてのプログラム** → **Logitech** → **Logitech QuickCam** とクリックします。
2. その次に、**QuickCapture** → **ヘルプ** をクリックします。

ヘルプファイルは、システムトレイにある Logitech ビデオアイコン からもアクセスできます。



アイコンをクリックして、メニューから **ヘルプ** を選択します。

写真の撮影またはビデオの録画

写真を撮影するには、以下の手順を実行します。

1. システムトレイにある Logitech ビデオアイコン をクリックします。
2. メニューから **QuickCapture** を選択します。

   QuickCapture ウィンドウが表示され、カメラの青色の LED が点灯します。**QuickCapture** ウィンドウを使用して、カメラでご自身を映すことができます。

3. 写真を撮影するには、**TakeaPicture** をクリックします。ビデオを録画するには、**RecordaVideo** をクリックします。
4. 設定を変更しない限り、写真またはビデオはデフォルトでマイドキュメントのマイピクチャフォルダに保存されます。
5. 詳細に関しては、Logitech ビデオヘルプを参照してください。ヘルプファイルへのアクセスを参照してください。

目次に戻る

目次に戻る

Dell™ XPS™ M2010 オーナーズマニュアル

情報の検索方法

メモ: 一部の機能やメディアはオプションなので、出荷時にコンピュータに搭載されていない場合があります。特定の国では使用できない機能やメディアもあります。

メモ: 追加の情報がコンピュータに同梱されている場合があります。

何をお探しですか?	こちらをご覧ください
コンピュータの診断プログラム コンピュータのドライバ ノートブックシステムソフトウェア(NSS)	**Drivers and Utilities Media(CD / DVD)** 『Drivers and Utilities』ディスクには、コンピュータの組み立て時に工場でインストールされたドライバが含まれています。『Drivers and Utilities』ディスクを使って、必要なすべてのドライバをロードします。お使いのコンピュータに RAID コントローラがある場合は、そのドライバもロードします(ドライバとユーティリティの再インストールを参照)。また、このディスクでは、Dell™ Diagnostics(診断)も実行できます(Dell Diagnostics(診断)プログラムを参照)。 ディスク内に readme ファイルが含まれている場合があります。この readme ファイルでは、コンピュータの技術的変更に関する最新のアップデートや、技術者または専門知識をお持ちのユーザーを対象とした高度な技術資料を参照できます。 **メモ:** ドライバおよびマニュアルのアップデート版は、**support.jp.dell.com** で入手できます。
安全にお使いいただくための注意 認可機関の情報 作業姿勢に関する情報 エンドユーザライセンス契約	**Dell 製品情報ガイド**
コンピュータのセットアップ方法	**セットアップ図**

・ サービスタグとエクスプレスサービスコード ・ Microsoft Windows ライセンスラベル ・ モデル名、電気定格、代理店承認マーク	**サービスタグおよび Microsoft® Windows® ライセンス** サービスタグラベルは、コンピュータベースのバッテリー実装部の中にあります。 ・ エクスプレスサービスコードを利用すると、サポートに直接電話で問い合わせることができます。 Microsoft Windows ライセンスラベルは、コンピュータのベース上に添付してあります。 モデル名、電気定格、および代理店承認マークは、コンピュータベースのバッテリー実装部の中にあります。バッテリーの取り外しを参照してください。
・ 技術情報 -トラブル解決ナビ、Q&A ・ サービスと保証 - 問い合わせ先、保証、および修理に関する情報 ・ サービスおよびサポート - サービス契約 ・ 参照資料 - コンピュータのマニュアル、コンピュータの設定の詳細、製品の仕様、およびホワイトペーパー ・ ダウンロード - 認定されたドライバ、パッチ、およびソフトウェアのアップデート ・ ノートブックシステムソフトウェア（NSS）お使いのコンピュータのオペレーティングシステムを再インストールする場合、NSS ユーティリティも再インストールする必要があります。NSS は、お使いのオペレーティングシステムのための重要な更新を提供し、Dell 3.5 インチ USB フロッピードライブ、Intel® プロセッサ、オプティカルドライブ、および USB デバイスをサポートします。- NSS はお使いの Dell コンピュータが正しく動作するために必要なものです。ソフトウェアはお使いのコンピュータおよびオペレーティングシステムを自動的に検知して、設定に適した更新をインストールします。	**デルサポートサイト - support.jp.dell.com** **メモ:** 適切なサポートサイトを表示するには、お住まいの地域または業務部門を選択します。 ノートブックシステムソフトウェアは、**support.jp.dell.com** にてダウンロードできます。 **メモ: support.jp.dell.com** のユーザーインタフェースは、選択の仕方によって異なります。
・ ソフトウェアのアップグレードおよびトラブルシューティングのヒント - よくあるお問い合わせ（FAQ）、最新トピック、およびお使いのコンピュータ環境の一般的な状態	**デルサポートユーティリティ** デルサポートユーティリティは、お使いのコンピュータにインストールされている自動アップグレードおよび通知システムです。このサポートは、お使いのコンピュータ環境のリアルタイムな状態のスキャン、ソフトウェアのアップデート、および関連するセルフサポート情報を提供します。デルサポートユーティリティは、タスクバーの アイコンからアクセスします。詳細は、デルサポートユーティリティを参照してください。
・ Windows XP の基本情報 ・ プログラムとファイルの操作方法 ・ デスクトップのカスタマイズ方法	**Windows ヘルプとサポートセンター** 1. **スタート**→ **ヘルプとサポート** とクリックします。 2. 問題に関連する用語や文節をボックスに入力して、矢印アイコンをクリックします。 3. 問題に関連するトピックをクリックします。 4. 画面に表示される指示に従ってください。
・ ネットワークアクティビティ、電力の管理ウィザード、ホットキー、および Dell QuickSet で制御されるその他のアイテムに関する詳細情報	**Dell QuickSet ヘルプ**

	『Dell QuickSet ヘルプ』を表示するには、Microsoft Windows のタスクバーにある アイコンを右クリックします。 Dell QuickSet の詳細に関しては、Dell QuickSetを参照してください。
l オペレーティングシステムの再インストール方法	**オペレーティングシステムインストールメディア（CD / DVD）** オペレーティングシステムは、本コンピュータにすでにインストールされています。オペレーティングシステムを再インストールするには、『オペレーティングシステム』インストールメディアを使用します（Windows XP の再インストールを参照）。 オペレーティングシステムを再インストールしたら、『Drivers and Utilities』ディスクを使用してコンピュータに同梱のデバイスのドライバを再インストールします。 オペレーティングシステムの Product Key（プロダクトキー）ラベルは、コンピュータに貼付されています。 **メモ:** インストールメディアの色は、注文したオペレーティングシステムによって異なります。
l Microsoft Windows XP Media Center Edition に関する情報 l 標準的なリモコン手順	**Dell Media Center ユーザーズガイド**
l 高度なリモコン手順	**Dell Premium Remote Control ユーザーズガイド** このガイドは、support.jp.dell.com で入手できます。

目次に戻る

目次に戻る

用語集

Dell™ XPS™ M2010 オーナーズマニュアル

この用語集に収録されている用語は、情報の目的として提供されています。お使いのコンピュータに搭載されている機能についての記載がない場合もあります。

A

AC - alternating current(交流)- コンピュータの AC アダプタ電源ケーブルをコンセントに差し込むと流れる電気の様式です。

ACPI - advanced configuration and power interface - Microsoft® Windows® オペレーティングシステムがコンピュータをスタンバイモードや休止状態モードにして、コンピュータに接続されている各デバイスに供給される電力量を節約できる電源管理規格です。

AGP - accelerated graphics port - システムメモリをビデオ関連の処理に使用できるようにする専用のグラフィックスポートです。AGP を使うとビデオ回路とコンピュータメモリ間のインタフェースが高速化され、True-Color のスムーズなビデオイメージを伝送できます。

AHCI - Advanced Host Controller Interface - SATA ハードドライブ対応のホストコントローラです。AHCI を使用することにより、ストレージドライバでネイティブコマンドキューイング(NCQ)やホットプラグなどのテクノロジが使用可能になります。

ALS - Ambient Light Sensor(環境照明センター)の略です。

ASF - alert standards format - ハードウェアおよびソフトウェアの警告を管理コンソールに報告する方式を定義する標準です。ASF は、どのプラットフォームやオペレーティングシステムにも対応できるよう設計されています。

B

BD - Blu-ray Disc™ - ハイデフィニションビデオ(HD)および高密度データ記憶装置を示すオプティカルディスクのフォーマットです。

BD-R - BD recordable - 書き込み可能な BD です。BD-R にはデータを一度だけ記録できます。一度記録したデータは消去したり、上書きしたりすることはできません。

BD-RE - BD rewritable - 書き換え可能な BD です。データを BD-RE ディスクに書き込んだ後、削除したり上書きしたりできます(再書き込み)。

BD-RE ドライブ - CD、DVD、および BD に読み書きできるオプティカルドライブです。

BIOS - basic input/output system(基本入出力システム)- コンピュータのハードウェアとオペレーティングシステム間のインタフェース機能を持つプログラム(またはユーティリティ)です。設定がコンピュータにどのような影響を与えるのか理解できていない場合は、このプログラムの設定を変更しないでください。セットアップユーティリティとも呼ばれています。

Bluetooth® ワイヤレステクノロジ - 短距離内(9 メートル)にある複数のネットワークデバイスが、お互いを自動的に認識できるようにするワイヤレステクノロジ標準です。

bps - ビット / 秒 - データの転送速度を計測する標準単位です。

BTU - British thermal unit(英国熱量単位)- 熱量の単位です。

C

C - セルシウス(摂氏)- 温度の単位で、水の氷点を 0 度、沸点を 100 度としています。

CD-R - CD recordable - 書き込み可能な CD です。CD-R にはデータを一度だけ記録できます。一度記録したデータは消去したり、上書きしたりすることはできません。

CD-RW - CD rewritable - 書き換え可能な CD です。データを CD-RW ディスクに書き込んだ後、削除したり上書きしたりできます(再書き込み)。

CD-RW drive - CD のデータを読み取ったり、CD-RW(書き換え可能な CD)ディスクや CD-R(書き込み可能な CD)ディスクにデータを書き込むことができるドライブです。CD-RW ディスクには、繰り返し書き込むことが可能ですが、CD-R ディスクには一度しか書き込むことができません。

CD-RW / DVD ドライブ - コンボドライブとも呼ばれます。CD および DVD のデータを読み取ったり、CD-RW(書き換え可能な CD)ディスクや CD-R(書き込み可能な CD)ディスクにデータを書き込んだりすることができるドライブです。CD-RW ディスクには、繰り返し書き込むことが可能ですが、CD-R ディスクには一度しか書き込むことができません。

COA - Certificate of Authenticity(実物証明書)- Windows の英数文字のコードで、コンピュータのラベルに印刷されています。Product Key(プロダクトキー) または Product ID(プロダクト ID) とも呼ばれます。

CRIMM - continuity rambus in-line memory module(連続式 RIMM)- メモリチップの搭載されていない特殊なモジュールで、使用されていない RIMM スロットに装着するために使用されます。

D

DDR SDRAM - double-data-rate SDRAM(ダブルデータ速度 SDRAM)- データのバーストサイクルを二倍にする SDRAM の一種です。システム性能が向上します。

DDR2 SDRAM - double-data-rate 2 SDRAM(ダブルデータ速度 2 SDRAM)- 4 ビットのプリフェッチおよびその他のアーキテクチャの変更を使用して、メモリスピードを 400 MHz 以上に向上させる、DDR SDRAM の一種です。

DIMM - dual in-line memory module（デュアルインラインメモリモジュール）- システム基板上のメモリモジュールに接続する、メモリチップ搭載の回路基板です。

DIN コネクタ - 丸い、6 ピンのコネクタで、DIN（ドイツ工業規格）に準拠しています。通常は、PS/2 キーボードまたはマウスケーブルのコネクタに使用されます。

DMA - direct memory access - DMA チャネルを使うと、ある種の RAM とデバイス間でのデータ転送がプロセッサを介さずに行えるようになります。

DMTF - Distributed Management Task Force - 分散型デスクトップ、ネットワーク、企業、およびインターネット環境における管理基準を開発するハードウェアおよびソフトウェア会社の団体です。

DRAM - dynamic random-access memory - コンデンサを含む集積回路内に情報を保存するメモリです。

DSL - Digital Subscriber Line（デジタル加入者回線）- アナログ電話回線を介して、安定した高速インターネット接続を提供するテクノロジです。

DVD-R - DVD recordable - 書き込み可能な DVD です。DVD-R にはデータを一度だけ記録できます。一度記録したデータは消去したり、上書きしたりすることはできません。

DVD+RW - DVD rewritable - 書き換え可能な DVD です。データを DVD+RW ディスクに書き込んだ後、削除したり上書きしたりできます（再書き込み）。（DVD+RW テクノロジは DVD-RW テクノロジとは異なります。）

DVD+RW ドライブ - DVD やほとんどの CD メディアを読み込んだり、DVD+RW（書き換え可能 DVD）に書き込んだりすることができるオプティカルドライブです。

DVI - digital video interface（デジタルビデオインタフェース）- コンピュータとデジタルビデオディスプレイ間のデジタル転送用の標準です。

E

ECC - error checking and correction（エラーチェックおよび訂正）- メモリにデータを書き込んだり、メモリからデータを読み取る際に、データの正確さを検査する特別な回路を搭載しているメモリです。

ECP - extended capabilities port - 改良された双方向のデータ転送を提供するパラレルコネクタのデザインです。EPP に似て、ECP はデータ転送にダイレクトメモリアクセスを使用して性能を向上させます。

EIDE - enhanced integrated device electronics - ハードドライブとオプティカルドライブ用の IDE インタフェースの改良バージョンです。

EMI - electromagnetic interference（電磁波障害）- 電磁放射線によって引き起こされる電気障害です。

ENERGY STAR® - Environmental Protection Agency（米国環境保護局）が規定する、全体的な電力の消費量を減らす要件です。

EPP - enhanced parallel port - 双方向のデータ転送を提供するパラレルコネクタのデザインです。

ESD - electrostatic discharge（静電気放出）- 静電気の急速な放電のことです。ESD は、コンピュータや通信機器に使われている集積回路を損傷することがあります。

ExpressCard - PCMCIA 規格に準拠している取り外し可能な I/O カードです。ExpressCard の一般的なものに、モデムやネットワークアダプタがあります。ExpressCard は、PCI Express と USB 2.0 の両規格をサポートします。

F

FBD - fully-buffered DIMM - DDR2 DRAM チップ、および DDR2 SDRAM チップとシステム間の通信を高速化するアドバンスドメモリバッファ（AMB）を搭載した DIMM です。

FCC - Federal Communications Commission（米国連邦通信委員会）- コンピュータやその他の電子機器が放出する放射線の量を規制する通信関連の条例を執行するアメリカの機関です。

FSB - front side bus - マイクロプロセッサと RAM 間のデータ経路と物理的なインタフェースです。

FTP - file transfer protocol（ファイル転送プロトコル）- インターネットに接続されたコンピュータ間で、ファイルを交換するための標準インターネットプロトコルです。

G

G - グラビティ - 重力の計測単位です。

GB - ギガバイト - データの単位です。1 GB は 1024 MB（1,073,741,824 バイト）です。ハードドライブの記憶領域容量を示す場合に、1,000,000,000 バイトに切り捨てられることもあります。

GHz - ギガヘルツ - 周波数の計測単位です。1 GHz は 10 億 Hz または 1,000 MHz です。通常、コンピュータのプロセッサ、バス、インタフェースの処理速度は GHz 単位で計測されます。

GUI - graphical user interface - メニュー、ウィンドウ、およびアイコンでユーザーと相互にやり取りするソフトウェアです。Windows オペレーティングシステムで動作するほとんどのプログラムは GUI です。

H

HTTP - hypertext transfer protocol - インターネットに接続されたコンピュータ間でファイルを交換するためのプロトコルです。

Hz - ヘルツ - 周波数の単位です。1 秒間 1 サイクルで周波数 1 Hz です。コンピュータや電子機器では、キロヘルツ（kHz）、メガヘルツ（MHz）、ギガヘルツ（GHz）、またはテラヘルツ（THz）単位で計測される場合もあります。

I

IC - integrated circuit（集積回路）- コンピュータ、オーディオ、およびビデオ装置用に製造された、何百万もの小電子コンポーネントが搭載されている半導体基板、またはチップです。

IDE - integrated device electronics - ハードドライブまたはオプティカルドライブにコントローラが内蔵されている大容量ストレージデバイス用のインタフェースです。

IEEE 1394 - Institute of Electrical and Electronics Engineers, Inc. - コンピュータにデジタルカメラや DVD プレーヤーなどの、IEEE 1394 互換デバイスを接続するのに使用される高性能シリアルバスです。

I/O - input/output（入出力）- コンピュータにデータを入力したり、コンピュータからデータを出力する動作、またはデバイスです。キーボードやプリンタは I/O デバイスです。

I/O アドレス - 特定のデバイス（シリアルコネクタ、パラレルコネクタ、または拡張スロットなど）に関連する RAM のアドレスで、プロセッサがデバイスと通信できるようにします。

IrDA - Infrared Data Association - 赤外線通信の国際規格を標準化する団体です。

IRQ - interrupt request（割り込み要求）- デバイスがプロセッサと通信できるように、特定のデバイスに割り当てられた電子的経路です。すべてのデバイス接続に IRQ を割り当てる必要があります。2 つのデバイスに同じ IRQ を割り当てることはできますが、両方のデバイスを同時に動作させることはできません。

ISP - Internet service provider（インターネットサービスプロバイダ）- ホストサーバーへのアクセスを可能にし、インターネットへの直接接続、E-メールの送受信、およびウェブサイトへのアクセスなどのサービスを提供する会社です。通常、ISP はソフトウェアのパッケージ、ユーザー名、およびアクセス用の電話番号を有料（月払い）で提供します。

K

Kb - キロビット - データの単位です。1 Kb は、1,024 ビットです。メモリ集積回路の容量の単位です。

KB - キロバイト - データの単位です。1 KB は 1,024 バイトです。または、1,000 バイトとすることもあります。

kHz - キロヘルツ - 1,000 Hz に相当する周波数の単位です。

L

LAN - local area network（ローカルエリアネットワーク）- 狭い範囲にわたるコンピュータネットワークです。LAN は通常、1 棟の建物内や隣接する 2、3 棟の建物内に限定されます。LAN は電話回線や電波を使って他の離れた LAN と接続し、WAN（ワイドエリアネットワーク）を構成できます。

LCD - liquid crystal display（液晶ディスプレイ）- ノートブックコンピュータのディスプレイやフラットパネルディスプレイに用いられる技術です。

LED - light-emitting diode（発光ダイオード）- コンピュータの状態を示す光を発する電子部品です。

LPT - line print terminal - プリンタや他のパラレルデバイスへのパラレルポート接続のためのポートです。

M

Mb - メガビット - メモリチップ容量の単位です。1 Mb は 1,024 Kb です。

Mbps - メガビット / 秒 - 1,000,000 ビット / 秒です。通常、ネットワークやモデムなどのデータ転送速度の計測単位に使用します。

MB - メガバイト - 1,048,576 バイトに相当するデータストレージの単位です。または 1,024 KB を表します。ハードドライブの記憶領域容量を示す場合に、1,000,000 バイトに切り捨てられて表示されることもあります。

MB/sec - メガバイト / 秒 - 1,000,000 バイト / 秒です。通常、データの転送速度の計測単位に使用します。

MHz - メガヘルツ - 周波数の単位です。1 秒間に 1,000,000 サイクルで 1 MHz です。通常、コンピュータのマイクロプロセッサ、バス、インタフェースの処理速度は MHz 単位で計測されます。

ms - ミリ秒 - 1,000 分の 1 秒に相当する時間の単位です。ストレージデバイスなどのアクセス速度の計測に使用します。

N

NIC - ネットワークアダプタを参照してください。

ns - ナノ秒 - 10 億分の 1 秒に相当する時間の単位です。

NVRAM - nonvolatile random access memory（不揮発性ランダムアクセスメモリ）- コンピュータの電源が切られたり、外部電源が停止した場合にデータを保存するメモリの一種です。NVRAM は、日付、時刻、およびお客様が設定できるその他のセットアップオプションなどのコンピュータ設定情報を維持するのに利用されます。

P

PC カード - PCMCIA 規格に準拠している取り外し可能な I/O カードです。PC カードの一般的なものに、モデムやネットワークアダプタがあります。

PCI - peripheral component interconnect - PCI は、32 ビットおよび 64 ビットのデータ経路をサポートするローカルバスで、プロセッサとビデオ、各種ドライブ、ネットワークなどのデバイス間に高速データ経路を提供します。

PCI Express - プロセッサとそれに取り付けられたデバイスとのデータ転送速度を向上させる、PCI インタフェースの修正版です。PCI Express は、250 MB/ 秒～ 4 GB/ 秒の速度でデータを転送できます。PCI Express チップセットおよびデバイスが異なる速度で使用できる場合は、動作速度が遅くなります。

PCMCIA - Personal Computer Memory Card International Association - PC カードの規格を協議する国際的組織です。

PIO - programmed input/output - データパスの一部としてプロセッサを経由した、2 つのデバイス間のデータ転送方法です。

POST - power-on self-test（電源投入時の自己診断）- BIOS が自動的にロードする診断プログラムです。メモリ、ハードドライブ、およびビデオなどのコンピュータの主要コンポーネントに基本的なテストを実行します。POST で問題が検出されなかった場合、コンピュータは起動を続行します。-

PS/2 - personal system/2 - PS/2 互換のキーボード、マウス、またはキーパッドを接続するコネクタの一種です。

PXE - pre-boot execution environment - WfM（Wired for Management）標準で、オペレーティングシステムのないネットワークコンピュータを設定して、リモートで起動できるようにします。

R

RAID - redundant array of independent disks - データの冗長性を提供する方法です。一般的に実装される RAID には RAID 0、RAID 1、RAID 5、RAID 10、および RAID 50 があります。

RAM - random-access memory（ランダムアクセスメモリ）- プログラムの命令やデータを保存するコンピュータの主要な一時記憶領域です。RAM に保存されている情報は、コンピュータをシャットダウンすると失われます。

readme ファイル - ソフトウェアのパッケージまたはハードウェア製品に添付されているテキストファイルです。通常、readme ファイルには、インストール手順、新しく付け加えられた機能の説明、マニュアルに記載されていない修正などが記載されています。

RFI - radio frequency interference（無線電波障害）- 10 kHz から 100,000 MHz までの範囲の通常の無線周波数で発生する障害です。無線周波は電磁周波数帯域の低域に属し、赤外線や光などの高周波よりも障害を起こしやすい傾向があります。

ROM - read-only memory（読み取り専用メモリ）- コンピュータが削除したり書き込みできないデータやプログラムを保存するメモリです。RAM と異なり、ROM はコンピュータの電源が切れても内容を保持します。コンピュータの動作に不可欠のプログラムで ROM に常駐しているものがいくつかあります。

RPM - revolutions per minute - 1 分間に発生する回転数です。ハードドライブ速度の計測に使用します。

RTC - real time clock（リアルタイムクロック）- システム基板上にあるバッテリーで動く時計で、コンピュータの電源を切った後も、日付と時刻を保持します。

RTCRST - real-time clock reset（リアルタイムクロックリセット）- いくつかのコンピュータに搭載されているシステム基板上のジャンパで、問題が発生した場合のトラブルシューティングに利用できます。

S

SAS - serial attached SCSI - 原型の SCSI パラレルアーキテクチャとは対照的に、より高速のシリアルバージョンの SCSI インタフェースです。

SATA - serial ATA（シリアル ATA）- より高速のシリアルバージョンの ATA（IDE）インタフェースです。

SCSI - small computer system interface - ハードドライブ、オプティカルドライブ、プリンタ、スキャナーなどのデバイスをコンピュータに接続するための高速インタフェースです。SCSI では、単一のコントローラを使って多数のデバイスを接続できます。SCSI コントローラバスでは、個々の識別番号を使って各デバイスにアクセスします。

SDRAM - synchronous dynamic random-access memory（同期ダイナミックランダムアクセスメモリ）- DRAM のタイプで、プロセッサの最適クロック速度と同期化されています。

SIM - Subscriber Identity Module（加入者識別モジュール）の略です。SIM カードには、音声とデータ伝送を暗号化するマイクロチップが搭載されています。SIM カードは電話やノートブックコンピュータに使用できます。

S/PDIF - Sony/Philips Digital Interface - ファイルの質が低下する可能性があるアナログ形式に変換せずに、1 つのファイルから別のファイルにオーディオを転送できるオーディオ転送用ファイルフォーマットです。

SVGA - super-video graphics array - ビデオカードとコントローラ用のビデオ標準です。SVGA の通常の解像度は 800 × 600 および 1024 × 768 です。

プログラムが表示する色数と解像度は、コンピュータに取り付けられているモニター、ビデオコントローラとドライバ、およびビデオメモリの容量によって異なります。

S ビデオ TV 出力 - テレビまたはデジタルオーディオデバイスをコンピュータに接続するために使われるコネクタです。

SXGA - super-extended graphics array - 1280 × 1024 までの解像度をサポートするビデオカードやコントローラのビデオ標準です。

SXGA+ - super-extended graphics array plus - 1400 × 1050 までの解像度をサポートするビデオカードやコントローラのビデオ標準です。

T

TAPI - telephony application programming interface - 音声、データ、ファックス、ビデオなどの各種テレフォニーデバイスが Windows のプログラムで使用できるようになります。

TPM - trusted platform module - ハードウェアベースのセキュリティ機能です。セキュリティソフトウェアと併用して、ファイル保護や E-メール保護などの機能を有効にすることにより、ネットワークおよびコンピュータのセキュリティを強化します。

U

UMA - unified memory allocation（統合メモリ振り分け）- ビデオに動的に振り分けられるシステムメモリです。

UPS - uninterruptible power supply（無停電電源装置）- 電気的な障害が起きた場合や、電圧レベルが低下した場合に使用されるバックアップ電源です。UPS を設置すると、電源が切れた場合でも限られた時間コンピュータは動作することができます。通常、UPS システムは、過電流を抑え電圧を調整します。小型の UPS システムで数分間電力を供給するので、コンピュータをシャットダウンすることが可能です。

USB - universal serial bus（ユニバーサルシリアルバス）- USB 互換キーボード、マウス、ジョイスティック、スキャナー、スピーカー、プリンタ、ブロードバンドデバイス（DSL およびケーブルモデム）、撮像装置、またはストレージデバイスなどの低速デバイス用ハードウェアインタフェースです。コンピュータの 4 ピンソケットかコンピュータに接続されたマルチポートハブに直接デバイスを接続します。USB デバイスは、コンピュータの電源が入っていても接続したり取り外したりすることができます。また、デイジーチェーン型に接続することもできます。

UTP - unshielded twisted pair（シールドなしツイストペア）- ほとんどの電話回線利用のネットワークやその他の一部のネットワークで利用されているケーブルの種類です。電磁波障害から保護するためにワイヤのペアに金属製の被覆をほどこす代わりに、シールドなしのワイヤのペアがねじられています。

UXGA - ultra extended graphics array - 1600 × 1200 までの解像度をサポートするビデオカードやコントローラのビデオ標準です。

V

V - ボルト - 電位または起電力の計測単位です。1 ボルトは、1 アンペアの電流を通ずる抵抗 1 オームの導線の両端の電位の差です。

W

W - ワット - 電力の計測単位です。1 ワットは 1 ボルトで流れる 1 アンペアの電流を指します。

WHr - ワット時 - バッテリーのおおよその充電容量を表すのに通常使われる単位です。たとえば、66 WHr のバッテリーは 66 W の電力を 1 時間、33 W を 2 時間供給きます。

WLAN - wireless local area network（ワイヤレス LAN）- アクセスポイントまたはワイヤレスルーターを使用して電波で相互通信し、インターネットへのアクセスを提供する、一連の相互接続されたコンピュータです。

WWAN - wireless wide area network（ワイヤレスワイドエリアネットワーク） - セルラーテクノロジを使用する、ワイヤレス LAN よりかなり広範囲にわたるワイヤレス高速データネットワークです。

WXGA - wide-aspect extended graphics array - 1280 × 800 までの解像度をサポートするビデオカードやコントローラのビデオ標準です。

X

XGA - extended graphics array - 1024 × 768 までの解像度をサポートするビデオカードやコントローラのビデオ標準です。

Z

ZIF - zero insertion force - コンピュータチップまたはソケットのどちらにもまったく力を加えないで、チップを取り付けまたは取り外しできるソケットやコネクタの一種です。

Zip - 一般的なデータの圧縮フォーマットです。Zip フォーマットで圧縮されているファイルを Zip ファイルといい、通常、ファイル名の拡張子が **.zip** となります。特別な Zip ファイルに自己解凍型ファイルがあり、ファイル名の拡張子は **.exe** となります。自己解凍型ファイルは、ファイルをダブルクリックするだけで自動的に解凍できます。

Zip ドライブ - Iomega Corporation によって開発された大容量のフロッピードライブで、Zip ディスクと呼ばれる 3.5 インチのリムーバルディスクを使用します。Zip ディスクは標準のフロッピーディスクよりもやや大きく約二倍の厚みがあり、100 MB のデータを保持できます。

あ

アンチウイルスソフトウェア - お使いのコンピュータからウイルスを見つけ出して隔離し、検疫して、除去するように設計されたプログラムです。

ウイルス - 嫌がらせ、またはコンピュータのデータを破壊する目的で作られたプログラムです。ウイルスプログラムは、ウイルス感染したディスク、インターネットからダウンロードしたソフトウェア、または E-メールの添付ファイルを経由してコンピュータから別のコンピュータへ感染します。ウイルス感染したプログラムを起動すると、プログラムに潜伏したウイルスも起動します。

一般的なウイルスに、フロッピーディスクのブートセクターに潜伏するブートウイルスがあります。フロッピーディスクを挿入したままコンピュータをシャットダウンすると、次の起動時に、コンピュータはオペレーティングシステムを探すためフロッピーディスクのブートセクターにアクセスします。このアクセスでコンピュータがウイルスに感染します。一度コンピュータがウイルスに感染すると、ブートウイルスは除去されるまで、読み書きされるすべてのフロッピーディスクにウイルスをコピーします。

エクスプレスサービスコード - Dell™ コンピュータのラベルに付いている数字のコードです。デルにお問い合わせの際は、エクスプレスサービスコードをお伝えください。

オプティカルドライブ - CD、DVD、または BD から、光学技術を使用してデータを読み書きするドライブです。オプティカルドライブには、CD ドライブ、DVD ドライブ、CD-RW ドライブ、CD-RW/DVD コンボドライブ、および BD ドライブが含まれます。

オンボード - 通常、コンピュータのシステム基板上に物理的に搭載されているコンポーネントを指します。ビルトインとも呼ばれます。

か

カーソル - キーボード、タッチパッド、またはマウスが次にどこで動作するかを示すディスプレイや画面上の目印です。通常は点滅する棒線かアンダーライン、または小さな矢印で表示されます。

解像度 - プリンタで印刷される画像や、またはモニターに表示される画像がどのくらい鮮明かという度合です。解像度を高い数値に設定しているほど鮮明です。

書き込み保護 - ファイルやメディアのデータ内容を変更不可に設定することです。書き込み保護を設定しデータを変更または破壊されることのないように保護します。3.5 インチのフロッピーディスクに書き込み保護を設定する場合、書き込み保護設定タブをスライドさせて書き込み不可の位置にします。

拡張カード - コンピュータのシステム基板上の拡張スロットに装着する電子回路基板で、コンピュータの性能を向上させます。ビデオカード、モデムカード、サウンドカードなどがあります。

拡張型 PC カード - 拡張型 PC カードは、取り付けた際に PC カードスロットからカードの端が突き出しています。

拡張スロット - 拡張カードを挿入してシステムバスに接続する、システム基板上のコネクタです（コンピュータによって異なる場合もあります）。

拡張ディスプレイモード - お使いのディスプレイの拡張として、2 台目のモニターを使えるようにするディスプレイの設定です。デュアルディスプレイモードとも呼ばれます。

壁紙 - Windows デスクトップの背景となる模様や絵柄です。壁紙を変更するには Windows コントロールパネルから変更します。また、気に入った絵柄を読み込んで壁紙を作成することができます。

キーの組み合わせ - 複数のキーを同時に押して実行するコマンドです。

起動順序 - コンピュータが起動を試みるデバイスの順序を指定します。

起動メディア - フロッピーディスクや CD などのコンピュータを起動するのに使用できるメディアです。ハードドライブが損傷した場合や、コンピュータがウイルスに感染した場合など、起動メディアが必要になりますので、常備しておきます。『Drivers and Utilities』ディスクは、起動メディアです。

キャッシュ - 特殊な高速ストレージ機構で、メインメモリの予約領域、または独立した高速ストレージデバイスです。キャッシュは、プロセッサのオペレーションスピードを向上させます。

L1 キャッシュ - プロセッサの内部に設置されているプライマリキャッシュ。

L2 キャッシュ - プロセッサに外付け、またはプロセッサアーキテクチャに組み込まれたセカンダリキャッシュ。

休止状態モード - メモリ内のすべてをハードドライブ上の予約領域に保存してからコンピュータの電源を切る、省電力モードです。コンピュータを再起動すると、ハードドライブに保存されているメモリ情報が自動的に復元されます。

クロックスピード - システムバスに接続されているコンピュータコンポーネントがどのくらいの速さで動作するかを示す、MHz で示される速度です。

グラフィックスモード - x 水平ピクセル数 X y 垂直ピクセル数 X z 色数で表されるビデオモードです。グラフィックスモードは、どんな形やフォントも表現できます。

コントローラ - プロセッサとメモリ間、またはプロセッサとデバイス間のデータ転送を制御するチップです。

コントロールパネル - 画面設定などのオペレーティングシステムやハードウェアの設定を変更するための Windows ユーティリティです。

さ

サージプロテクタ - コンセントを介してコンピュータに影響を与える電圧変動（雷などの原因で）から、コンピュータを保護します。サージプロテクタは、落雷や通常の AC ライン電圧レベルが 20 ％以上低下する電圧変動による停電からはコンピュータを保護することはできません。

ネットワーク接続はサージプロテクタでは保護できません。雷雨時は、必ずネットワークケーブルをネットワークコネクタから外してください。

サービスタグ - コンピュータに貼ってあるバーコードラベルのことで、デルサポートの **support.jp.dell.com** にアクセスしたり、デルのカスタマーサービスやテクニカルサポートに電話で問い合わせたりする場合に必要な識別番号が書いてあります。

システム基板 - コンピュータのメイン回路基板です。マザーボードとも呼ばれます。

指紋リーダー - 固有の指紋を使ってユーザーの身元証明を行う読み取りセンサーで、コンピュータのセキュリティ保護をサポートします。

ショートカット - 頻繁に使用するプログラム、ファイル、フォルダ、およびドライブにすばやくアクセスできるようにするアイコンです。ショートカットを Windows デスクトップ上に作成し、ショートカットアイコンをダブルクリックすると、それに対応するフォルダやファイルを検索せずに開くことができます。ショートカットアイコンは、ファイルが置かれている場所を変更するわけではありません。ショートカットアイコンを削除しても、元のファイルには何の影響もありません。また、ショートカットのアイコン名を変更することもできます。

シリアルコネクタ - I/O ポートは、コンピュータにハンドヘルドデジタルデバイスやデジタルカメラなどのデバイスを接続するためによく使用されます。

スキャンディスク - Microsoft のユーティリティで、ファイル、フォルダ、ハードディスクの表面のエラーをチェックします。コンピュータの反応が止まって、コンピュータを再起動した際にスキャンディスクが実行されることがあります。

スタンバイモード - コンピュータの不必要な動作をシャットダウンして節電する、省電力モードです。

スマートカード - プロセッサとメモリチップに内蔵されているカードです。スマートカードは、スマートカード搭載のコンピュータでのユーザー認証に利用できます。

赤外線センサー - ケーブルを利用しなくても、コンピュータと赤外線互換デバイス間のデータ転送ができるポートです。

セットアッププログラム - ハードウェアやソフトウェアをインストールしたり設定するために使うプログラムです。**setup.exe** または **install.exe** というプログラムが Windows 用ソフトウェアに付属しています。セットアッププログラムはセットアップユーティリティとは異なります。

セットアップユーティリティ - コンピュータのハードウェアとオペレーティングシステム間のインタフェース機能を持つユーティリティです。セットアップユーティリティは BIOS で日時などのようなユーザーが選択可能なオプションの設定ができます。設定がコンピュータにどのような影響を与えるのか理解できていない場合は、このプログラムの設定を変更しないでください。

た

通行許可証 - 物品を外国へ一時的に持ち込む場合、一時輸入通関ができる通関手帳です。商品パスポートとも呼ばれます。

通知領域 - コンピュータの時計、音量調節、およびプリンタの状況など、プログラムやコンピュータの機能に素早くアクセスできるアイコンが表示されている Windows タスクバーの領域です。システムトレイとも呼ばれます。

テキストエディター - たとえば、Windows のメモ帳など、テキストファイルを作成および編集するためのアプリケーションプログラムです。テキストエディタには通常、ワードラップやフォーマット（アンダーラインのオプションやフォントの変換など）の機能はありません。

ディスクストライピング - 複数のディスクドライブにまたがってデータを分散させる技術です。ディスクのストライピングは、ディスクストレージからデータを取り出す動作を高速化します。通常、ディスクのストライピングを利用しているコンピュータではユーザーがデータユニットサイズまたはストライプ幅を選ぶことができます。

デバイス - コンピュータ内部に取り付けられているか、またはコンピュータに接続されているディスクドライブ、プリンタ、キーボードなどのハードウェアです。

デバイスドライバ - ドライバを参照してください。

デュアルコア - 1 つのプロセッサパッケージに 2 つの物理計算ユニットを集積し、それによって計算効率とマルチタスク機能を向上させた Intel® テクノロジです。

デュアルディスプレイモード - お使いのディスプレイの拡張として、2 台目のモニターを使えるようにするディスプレイの設定です。デュアルモニタとも呼ばれます。

トラベルモジュール - ノートブックコンピュータの重量を減らすために、モジュールベイの中に設置できるよう設計されているプラスチック製のデバイスです。

ドッキングデバイス - APR を参照してください。

ドメイン - ネットワーク上のコンピュータ、プログラム、およびデバイスのグループで、特定のユーザーグループによって使用される共通のルールと手順のある単位として管理されます。ユーザーは、ドメインにログオンしてリソースへのアクセスを取得します。

ドライバ - プリンタなどのデバイスが、オペレーティングシステムに制御されるようにするためのソフトウェアです。多くのデバイスは、コンピュータに正しいドライバがインストールされていない場合、正常に動作しません。

な

ネットワークアダプタ - ネットワーク機能を提供するチップです。コンピュータのシステム基板にネットワークアダプタが内蔵されていたり、アダプタが内蔵されている PC カードもあります。ネットワークアダプタは、NIC（ネットワークインタフェースコントローラ）とも呼ばれます。

は

ハードドライブ - ハードディスクのデータを読み書きするドライブです。ハードドライブとハードディスクは同じ意味としてどちらかが使われています。

ハイパースレッディング - 1 つの物理プロセッサを 2 つの論理プロセッサとして機能させ、特定のタスクを同時に実行できるようにすることで、コンピュータのパフォーマンス全般を強化する Intel® テクノロジです。

バイト - コンピュータで使われる基本的なデータ単位です。1 バイトは 8 ビットです。

バス - コンピュータのコンポーネント間で情報を通信する経路です。

バス速度 - バスがどのくらいの速さで情報を転送できるかを示す、MHz で示される速度です。

バッテリー駆動時間 - ノートブックコンピュータのバッテリーでコンピュータを駆動できる持続時間（分または時間）です。

バッテリーの寿命 - ノートブックコンピュータのバッテリーが、消耗と再充電を繰り返すことのできる期間（年数）です。

パーティション - ハードドライブ上の物理ストレージ領域です。1 つ以上の論理ストレージ領域（論理ドライブ）に割り当てられます。それぞれのパーティションは複数の論理ドライブを持つことができます。

パラレルコネクタ - I/O ポートは、コンピュータにパラレルプリンタを接続する場合などに使用されます。LPT ポートとも呼ばれます。

ヒートシンク - 放熱を助けるプロセッサに付属する金属板です。

ビット - コンピュータが認識するデータの最小単位です。

ビデオ解像度 - 解像度を参照してください。

ビデオコントローラ - お使いのコンピュータに（モニターの組み合わせにおいて）ビデオ機能を提供する、ビデオカードまたは（オンボードビデオコントローラ搭載のコンピュータの）システム基板の回路です。

ビデオメモリ - ビデオ機能専用のメモリチップで構成されるメモリです。通常、ビデオメモリはシステムメモリよりも高速です。取り付けられているビデオメモリの量は、主にプログラムが表示できる色数に影響を与えます。

ビデオモード - テキストやグラフィックスをモニターに表示する際のモードです。グラフィックスをベースにしたソフトウェア（Windows オペレーティングシステムなど）は、x 水平ピクセル数 × y 垂直ピクセル数 × z 色数で表されるビデオモードで表示されます。文字をベースにしたソフトウェア（テキストエディタなど）は、x 列 × y 行の文字数で表されるビデオモードで表示されます。

ピクセル - ディスプレイ画面の構成単位である点です。ピクセルが縦と横に並び、イメージを作ります。ビデオの解像度（800 × 600 など）は、上下左右に並ぶピクセルの数で表します。

ファーレンハイト（華氏） - 温度の単位で、水の氷点を 32 度、沸点を 212 度としています。

フォーマット - ファイルを保存するためにドライブやディスクを準備することです。ドライブまたはディスクをフォーマットするとデータはすべて消失します。

フォルダ - ディスクやドライブ上のファイルを整頓したりグループ化したりする入れ物です。フォルダ中のファイルは、名前や日付やサイズなどの順番で表示できます。

プラグアンドプレイ - デバイスを自動的に設定するコンピュータの機能です。BIOS、オペレーティングシステム、およびすべてのデバイスがプラグアンドプレイ対応の場合、プラグアンドプレイは、自動インストール、設定、既存のハードウェアとの互換性を提供します。

プロセッサ - コンピュータ内部で中心的に演算を行うコンピュータチップです。プロセッサは、CPU（中央演算処理装置）とも呼ばれます。

ま

メモリ - コンピュータ内部にある、一時的にデータを保存する領域です。メモリにあるデータは一時的に格納されているだけなので、作業中は時々ファイルを保存するようお勧めします。また、コンピュータをシャットダウンするときもファイルを保存してください。コンピュータのメモリには、RAM、ROM、およびビデオメモリなど何種類かあります。通常、メモリというと RAM メモリを指します。

メモリアドレス - データを一時的に RAM に保存する特定の場所です。

メモリマッピング - スタートアップ時に、コンピュータが物理的な場所にメモリアドレスを割り当てる処理です。デバイスとソフトウェアが、プロセッサによりアクセスできる情報を識別できるようになります。

メモリモジュール - システム基板に接続されている、メモリチップを搭載した小型回路基板です。

モジュールベイ - オプティカルドライブ、セカンドバッテリー、または Dell TravelLite™ モジュールなどのようなデバイスをサポートするベイです。

モデム - アナログ電話回線を介して他のコンピュータと通信するためのデバイスです。モデムには、外付けモデム、PC カード、および内蔵モデムの 3 種類があります。通常、モデムはインターネットへの接続や E-メールの交換に使用されます。

や

読み取り専用 - 表示することはできますが、編集したり削除したりすることができないデータやファイルです。次のような場合にファイルを読み取り専用に設定できます。

- フロッピーディスク、CD、DVD、または BD を書き込み防止に設定している場合
- ファイルがネットワーク上のディレクトリにあり、システム管理者がアクセス権限に特定の個人だけを許可している場合

ら

リフレッシュレート - 画面上のビデオイメージが再描画される周波数です。単位は Hz で、このリフレッシュレートの周波数で画面の水平走査線（垂直周波数とも呼ばれます）が再描画されます。リフレッシュレートが高いほど、ビデオのちらつきが少なく見えます。

ローカルバス - デバイスにプロセッサへの高速スループットを提供するデータバスです。

目次に戻る

目次に戻る

サポートを受けるには

Dell™ XPS™ M2010 オーナーズマニュアル

 **警告: コンピュータカバーを取り外す必要がある場合、まずコンピュータの電源ケーブルとモデムケーブルをすべてのコンセントから取り外します。**

1. トラブルシューティングの手順を完了します。
2. Dell Diagnostics（診断）プログラムを実行します（Dell Diagnostics（診断）プログラムを参照）。
3. Diagnostics（診断）チェックリストを印刷して（Diagnostics（診断）チェックリストを参照）記入します。サービスタグは、お使いのコンピュータのバッテリー実装部の中にあります（バッテリーの取り外し を参照）。
4. インストールとトラブルシューティングの手順については、デルサポート（**support.jp.dell.com**）から、広範囲をカバーするオンラインサービスを利用してください。
5. これまでの手順で問題が解決されない場合、デルにお問い合わせください。

 **メモ:** デルへお問い合わせになるときは、できればコンピュータの電源を入れて、コンピュータの近くから電話をおかけください。サポート担当者がコンピュータでの操作をお願いすることがあります。

デルのオートテレフォンシステムの指示に従って、エクスプレスサービスコードを入力すると、電話は適切なサポート担当者に転送されます。

サポートサービスのご利用方法に関しては、サポートサービスを参照してください。

オンラインサービス

デルサポートへは、**support.jp.dell.com** でアクセスすることができます。**サポートサイトへようこそ** のページから、サポートツール、情報などをお選びください。

インターネット上でのデルへのアクセスは、次のアドレスをご利用ください。

- World Wide Web

  www.dell.com/

  www.dell.com/ap/（アジア / 太平洋諸国）

  www.dell.com/jp（日本）

  www.euro.dell.com（ヨーロッパ）

  www.dell.com/la/（ラテンアメリカ諸国）

  www.dell.ca（カナダ）

- サポートウェブサイト

  mobile_support@us.dell.com

  support@us.dell.com

  apsupport@dell.com（アジア太平洋地域）

  support.jp.dell.com（日本）

  support.euro.dell.com（ヨーロッパ）

---

24 時間納期案内電話サービス

注文した Dell™ 製品の状況を確認するには、**support.jp.dell.com** にアクセスするか、または、24 時間納期案内電話サービスにお問い合わせください。 音声による案内で、注文について調べて

報告するために必要な情報をお伺いします。

サポートサービス

デル製品に関するお問い合わせは、デルのサポートサービスをご利用ください。サポートスタッフはその情報を元に、正確な回答を迅速に提供します。

テクニカルサポートにお問い合わせになる場合は、まずサポートを受けるにはを参照してから、デルへのお問い合わせに記載されているお住まいの地域の番号にご連絡ください。

ご注文に関する問題

欠品、誤った部品、間違った請求書などの注文に関する問題があれば、デルカスタマーケアにご連絡ください。お電話の際は、納品書または出荷伝票をご用意ください。

製品情報

デルが提供しているその他の製品に関する情報が必要な場合や、ご注文になりたい場合は、デルウェブサイト **www.dell.com/jp** をご覧ください。お住まいの地域のお問い合わせ先電話番号および販売担当者の電話番号に関しては、デルへのお問い合わせを参照してください。

保証期間中の修理または返品について

『「こまった」ときの DELL パソコン Q&A』をご覧ください。

お問い合わせになる前に

メモ: お電話の際は、エクスプレスサービスコードをご用意ください。エクスプレスサービスコードがおわかりになると、デルで自動電話サポートシステムをお受けになる場合に、より効率良くサポートが受けられます。

必ず Diagnostics（診断）チェックリスト（Diagnostics（診断）チェックリストを参照）に記入してください。デルへお問い合わせになるときは、できればコンピュータの電源を入れて、コンピュータの近くから電話をおかけください。キーボードからコマンドを入力したり、操作時に詳細情報を説明したり、コンピュータ自体でのみ可能な他のトラブルシューティング手順を試してみるようにお願いする場合があります。システムのマニュアルがあることを確認してください。

警告: コンピュータ内部の作業をする前に、『製品情報ガイド』の安全にお使いいただくための注意事項をお読みください。

Diagnostics（診断）チェックリスト
名前:
日付:
住所:
電話番号:
サービスタグ（バーコードはバッテリー実装部内にあります）:
エクスプレスサービスコード:
返品番号（デルサポート担当者から提供された場合）:
オペレーティングシステムとバージョン:
周辺機器:
拡張カード:
ネットワークに接続されていますか？　はい　いいえ
ネットワーク、バージョン、およびネットワークアダプタ:
プログラムとバージョン:
システムのスタートアップファイルの内容を確認するときは、オペレーティングシステムのマニュアルを参照してください。コンピュータにプリンタを接続している場合、各ファイルを印刷します。印刷できない場合、各ファイルの内容を記録してからデルにお問い合わせください。
エラーメッセージ、ビープコード、または診断コード:
問題点の説明と実行したトラブルシューティング手順:

デルへのお問い合わせ

デルへのお問い合わせはインターネットと電話をご利用いただけます。

- ウェブでのサポートは、**support.jp.dell.com** にアクセスしてください。
- ウェブでのワールドワイドなサポートは、ページの下部付近にある **国・地域の選択** メニューを使用するか、以下の表に示されているウェブアドレスを参照してください。
- E-メールでのサポートは、以下の表に示されている E-メールアドレスを参照してください。
- お電話でのサポートは、以下の表に示されている電話番号とコードを使用してください。国際電話のかけ方に関しては、国内または国際電話会社にお問い合わせください。

メモ: 以下のお問い合せ先はこの文書の印刷時のものであり、変更される可能性があります。

国（市） **国際電話アクセスコード** **国番号** **市外局番**	**サービスタイプ**	**市外局番** **市内番号** **フリーダイヤル** **ウェブおよび E-メールアドレス**
日本（川崎） 国際電話アクセスコード: **001** 国番号: **81** 市外局番: **44**	オンラインサポート	**support.jp.dell.com**
	テクニカルサポート - XPS コンピュータのみ	フリーダイヤル: 0120-937-786
	日本国外のテクニカルサポート - XPS コンピュータのみ	81-44-520-1235
	Fax 情報サービス	044-556-3490
	24 時間納期情報案内サービス	044-556-3801
	カスタマーサービス	044-556-4240
	ビジネスセールス本部 - 従業員数 400 人未満	044-556-1465
	法人営業本部 - 従業員数 400 人以上	044-556-3433
	官公庁 - 政府機関、教育機関、医療機関	044-556-5963
	デルグローバルジャパン	044-556-3469
	個人のお客様	044-556-1657
	個人ユーザーオンラインセールス	044-556-2203
	個人ユーザーリアルサイトセールス	044-556-4649
	代表	044-556-4300

目次に戻る

[目次に戻る]

キーボードおよびマウスの使い方

Dell™ XPS™ M2010 オーナーズマニュアル

お使いのコンピュータには、Bluetooth® ワイヤレステクノロジを使用した、取り外し可能なワイヤレスキーボードおよびワイヤレスマウスが付属しています。コンピュータとキーボードの間にはワイヤレス接続が確立（ペアリング）されています。初めてコンピュータに電源を投入したときに、コンピュータがキーボードを認識しない場合は、正しくペアリングされていない可能性があります。キーボードのペアリングを参照してください。

また、初めてコンピュータの電源を入れた後、マウスをコンピュータとペアリングする必要があります。マウスのペアリングを参照してください。

注意: キーボードを取り付けた状態で、ディスプレイを開いたまま、コンピュータを移動しないでください。キーボードがコンピュータベースから落下することがあります。



キーボードを取り外すには、キーボードの両側を持ち、コンピュータベースからまっすぐ引き出して取り外します。

キーボードはキーストロークを認識できるよう動作している必要があります。タッチパッドに触れて、キーボードが認識可能なことを確認してください。

キーボードのペアリング

コンピュータがキーボードを認識しない場合は、ワイヤレス接続が壊れている可能性があります。接続を再確立するには、キーボードがペアリングされていない場合を参照してください。

キーボードがペアリングされていない場合

コンピュータがキーボードを認識しない場合は、次の手順を実行します。

1. 電源ボタンを押してコンピュータの電源を切り、電源ボタンをもう一度押してコンピュータの電源を再スタートします。オペレーティングシステムがロードされ、ドライバが初期化されるまで 3 分ほど待ちます。

2. コンピュータベースの左側にあるワイヤレス接続ボタンを、コンピュータの Bluetooth ライトが点滅するまで押し続けます。



1	コンピュータベースのワイヤレス接続ボタン

3. キーボードの背面にあるワイヤレス接続ボタンを約 4 秒間押し続けて、キーボードを「discover（検出）」モードにします。キーボードの Caps Lock、Scroll、および Num Lock のワイヤレス Bluetooth ライトが青色に点灯します。キーボードのワイヤレス接続ボタンを離すと、これらすべてのライトが点滅し始めます。



1	キーボードのワイヤレス接続ボタン

コンピュータはペアリングが完了する前に一連のビープ音を鳴らすことがあります。

4. ペアリングをテストします。タッチパッドに触れてカーソルを動かしてみて、ペアリングが正しく完了したか確認します。

ペアリングが正しく完了しなかった場合は、必要に応じて上記の手順を繰り返し、キーボードをコンピュータとペアリングします。

マウスのペアリング

初めてコンピュータの電源を入れると、Dell™ XPS™ M2010 マウス接続ウィザード が起動します。ウィザードの指示に従って、お使いのマウスをコンピュータとペアリングします。

ウィザードを使用したマウスのペアリング

ウィザードの指示に従います。

1. 付属の 2 本の単 3 電池をマウスにセットして、電池カバーを取り付けます。



1	電池	2	電池カバー



1	後送りボタン	2	先送りボタン	3	ワイヤレスライト
4	スクロールホイール	5	左マウスボタン	6	右マウスボタン
7	電源スイッチ	8	ワイヤレス(Bluetooth)接続ボタン	9	オプティカルセンサー

2. マウスの底面にある電源スイッチを **オン** の位置にして、マウスの電源を入れます。マウスの電源がオンになると、赤いオプティカルセンサーが点灯します。

3. マウスの底面にあるワイヤレス(Bluetooth)接続ボタンを押して、マウスを「discover(検出)」モードにします。

4. 30 秒以内にウィザードで **次へ** をクリックして、ペアリングを完了します。ペアリングが完了すると、Your mouse has been connected and is ready to use (お使いのマウスは接続が完了し、使用する準備ができました) というメッセージが表示されます。マウスを使用して **終了** をクリックし、ペアリングを完了します。

マウスとコンピュータがペアリングされない場合は、マウスをペアリングできなかった場合を参照してください。

マウスをペアリングできなかった場合

マウス接続ウィザードが起動しない場合、またはウィザードが繰り返しマウスとコンピュータのペアリングに失敗する場合は、次の手順を実行します。

1. Bluetooth ウィザードが有効であるか確認します。**スタート** → **すべてのプログラム** → **Bluetooth** → **Wizards**(ウィザード) の順に選択し、**Enable Wizards**(ウィザードの有効化) ウィンドウで **OK** をクリックします。

2. マウスの底面にあるスイッチを **オフ** の位置にして、マウスの電源を切ります。

3. キーボードかタッチパッドを使用して、**スタート** → **終了オプション** の順に選択し、**電源を切る** をクリックしてコンピュータをシャットダウンします。その後、電源ボタンを押してコンピュータを再起動します。オペレーティングシステムがロードされ、コンピュータでドライバが初期化されるまで、約 3 分間待ちます。

4. ウィザードの指示に従います。マウスの底面のスイッチを **オン** の位置にしてマウスの電源を入れ、マウスの底面にあるワイヤレス(Bluetooth)接続ボタンを押します。

5. 30 秒以内にウィザードで **次へ** をクリックして、ペアリングを完了します。ペアリングが完了すると、Your mouse has been connected and is ready to use (お使いのマウスは接続が完了し、使用する準備ができました) というメッセージが表示されます。マウスを使用して **終了** をクリックし、ペアリングを完了します。ペアリングが完了すると、マウスの青色のワイヤレスライトが点滅を止め、2、3 秒間点灯してから消灯します。

テンキーパッド



1	テンキーパッド

テンキーパッドは、外付けキーボードのテンキーパッドの機能と同じように使用できます。キーパッドの各キーには、複数の機能があります。

- キーパッドを有効にするには、<Num Lk> を押します。 のライトが点灯すると、キーパッドが有効であることを示しています。
- キーパッドを無効にするには、もう一度 <Num Lk> を押します。

キーの組み合わせ

システム関連

<Ctrl><Shift><Esc>	**タスクマネージャ** ウィンドウを開きます。

バッテリー

<Fn><F3>	Dell QuickSet バッテリメーターを表示します（Dell QuickSet バッテリメーターを参照）。

ワイヤレスネットワークテクノロジの機能

<Fn><F2>	ワイヤレス 802.11 ネットワークテクノロジを有効または無効にします。これにより、Bluetooth ワイヤレステクノロジが無効になることはありません。

ディスプレイの切り替え

<Fn><F8>	現在アクティブなディスプレイを、LCD から、接続された CRT や外付けモニター、プロジェクタ、または TV に切り替えることができます。ディスプレイを選択するには、<Fn> を押したまま <F8> を押して、希望するディスプレイがハイライト表示されたらキーを離します。

電力の管理

<Fn><Esc>	省電力モードを起動します。**電源オプションのプロパティ** ウィンドウの **詳細設定** タブを使って、異なる省電力モードを起動するために、ショートカットキーの設定を変更することができます。
<Fn><F1>	システムを休止状態モードにします。Dell QuickSet が必要です。Dell QuickSetを参照してください。

Microsoft Windows ロゴキーの機能

Windows ロゴキーと <m>	開いているすべてのウィンドウを最小化します。
Windows ロゴキーと <Shift><m>	最小化されたウィンドウを元に戻します。このキーの組み合わせは、Windows ロゴキーと <m> のキーの組み合わせを使用した後で、最小化されたウィンドウを元に戻すための切り替えとして作動します。
Windows ロゴキーと <e>	Windows エクスプローラを開きます。
Windows ロゴキーと <r>	**ファイルを指定して実行** ダイアログボックスを開きます。
Windows ロゴキーと <f>	**検索結果** ダイアログボックスを開きます。
Windows ロゴキーと <Ctrl><f>	**検索結果ーコンピュータ** ダイアログボックスを開きます（ネットワークに接続している場合）。
Windows ロゴキーと <Pause>	**システムのプロパティ** ダイアログボックスを開きます。

文字の表示間隔など、キーボードの動作を調整するには、コントロールパネルを開いて **プリンタとその他のハードウェア** をクリックし、**キーボード** をクリックします。コントロールパネルの詳細に関しては、Microsoft® Windows® ヘルプとサポートセンターを参照してください。ヘルプとサポートセンターにアクセスする方法については、Windows ヘルプとサポートセンターを参照してください。

タッチパッド

タッチパッドは、指の圧力と動きを検知して画面のカーソルを動かします。マウスの機能と同じように、タッチパッドとタッチパッドボタンを使うことができます。



1	タッチパッド	2	スクロールゾーン	3	タッチパッドボタン

- カーソルを動かすには、タッチパッド上でそっと指をスライドさせます。
- オブジェクトを選択するには、タッチパッドの表面を軽く 1 回たたくか、または親指で左のタッチパッドボタンを押します。
- オブジェクトを選択して移動(またはドラッグ)するには、選択したいオブジェクトにカーソルを合わせてタッチパッドを 2 回たたきます。2 回目にたたいたときにタッチパッドから指を離さずに、そのままタッチパッドの表面で指をスライドしてオブジェクトを移動させます。
- オブジェクトをダブルクリックするには、ダブルクリックするオブジェクトにカーソルを合わせて、タッチパッド上を 2 回たたくか、または親指で左のタッチパッドボタンを 2 回押します。
- タッチパッドには、右側のスクロールゾーンにスクロール機能があります。スクロールはデフォルトで有効になっています。この機能を無効にするには、コントロールパネルでマウスのプロパティを変更します。

メモ: スクロールゾーンは、すべてのアプリケーションプログラムで機能するとは限りません。スクロールゾーンが正しく機能するには、アプリケーションプログラムでタッチパッドのスクロール機能を使用できることが必要です。

タッチパッドおよびマウスのカスタマイズ

マウスのプロパティ ウィンドウを使って、マウスとタッチパッドの両方の設定を調整できます。

1. コントロールパネルを開いて **プリンタとその他のハードウェア** をクリックし、**マウス** をクリックします。
2. **マウスのプロパティ** ウィンドウで、マウスの設定をクリックして調整すると、タッチパッドの設定も調整されます。
3. **OK** をクリックし、設定を保存して、ウィンドウを閉じます。

キーボードバッテリー

ワイヤレスキーボードは、充電式のリチウムイオンバッテリーから電力が供給されます。キーボードバッテリーは、キーボードがコンピュータベースに取り付けられていて、コンピュータベースが AC 電源で動作している場合に充電されます。キーボードバッテリーがコンピュータベースから取り外されているときは、コンピュータが AC 電源で動作していてもキーボードバッテリーは充電されません。

キーボードのキーボードバッテリーインジケータライトは、キーボードがコンピュータベースに取り付けられていて、コンピュータが AC 電源に接続され、キーボードがコンピュータから電力を供給されている場合にのみ、青色に点灯します。キーボードがコンピュータベースから取り外されているときは、インジケータは点灯しません。ただし、充電式キーボードバッテリーの充電残量が 15 %未満になるとインジケータが点灯します。この場合、インジケータは橙色に点灯してバッテリーの低下を警告しますので、キーボードをコンピュータベースに取り付けて、キーボードバッテリーを充電してください。キーボードバッテリーが消耗すると、キーボードの電源インジケータが橙色に点滅します。

Dell QuickSet バッテリメーター

Dell QuickSet がインストールされている場合、<Fn><F3> を押すと、QuickSet **バッテリメーター** ウィンドウが表示されます。**バッテリーのステータス** タブには、プライマリコンピュータのバッテリー充電ステータスに加えて、キーボードのバッテリー充電ステータスも表示されます。

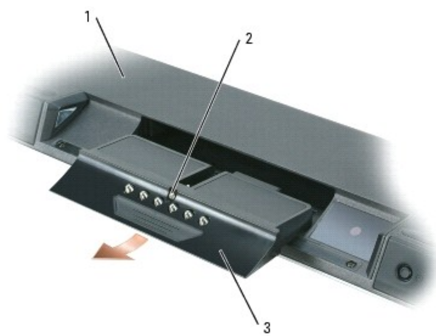
QuickSet の詳細に関しては、タスクバーにある アイコンを右クリックして、**ヘルプ** をクリックします。

キーボードバッテリーの交換

警告: 本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。

キーボードバッテリーを取り外すには、以下の手順を実行します。

1. キーボードを裏返します。
2. キーボードバッテリーの上部にある拘束ネジを外します。
3. バッテリーを前方に引き出して、キーボードから取り外します。



1	キーボード	2	拘束ネジ	3	キーボードバッテリー

キーボードバッテリーを取り付けるには、取り外し手順を逆の順序で実行します。

目次に戻る

[目次に戻る]

マルチメディアの使い方

Dell™ XPS™ M2010 オーナーズマニュアル

メディアの再生

注意： オプティカルドライブを開閉する際に、ドライブの上から力を掛けないでください。ドライブを使用しないときは、トレイは閉じておいてください。ドライブが完全に開くように障害物を除いてください。

注意： メディアの再生中は、コンピュータを動かさないでください。

注意： オプティカルドライブでは、小さな 80 mm ディスクのような標準ではないサイズや形をしたディスクを読み込むことはできません。標準外のディスクを挿入すると、ドライブに損傷を与える可能性があります。

メディアを再生するには、次の手順を実行します。

1. オプティカルドライブの前面にあるメディアボタンパネルの取り出しボタン ⏏ を押します。ドライブが持ち上がり、スロットが現れます。



2. ディスクの外側の縁を持って、ラベル面が上向きの状態でディスクをスロットに注意深く挿入します。
3. ドライブがディスクを取り込むまで、ディスクをドライブに軽く押し込みます。ドライブは自動的に収容されます。

ドライブからディスクを取り出すには、次の手順を実行します。

1. オプティカルドライブの前面にあるメディアボタンパネルの取り出しボタン ⏏ を押します。ドライブが持ち上がり、ディスクが出てきます。
2. ディスクを取り出します。

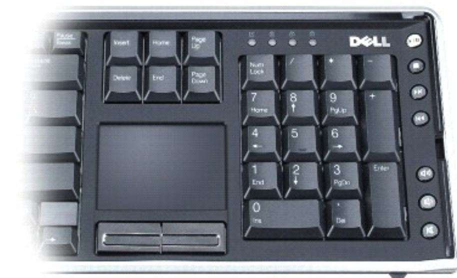
注意： ドライブは手で押し下げないでください。

3. 取り出しボタンを押すと、ドライブが収容されます。30 秒間操作を行わないと、ドライブは自動的に収容されます。

データ保存のためのディスクのフォーマット、音楽ディスクの作成、ディスクのコピーについては、コンピュータに付属のソフトウェアを参照してください。

メディアプレーヤーには、メディアの再生をコントロールする以下の基本的なボタンがあります。





⏏	ボタンを押すと、オプティカルドライブが開閉します。ドライブにメディアが入っているときにボタンを押すと、ドライブが開いてメディアが出てきます。
⏮	ボタンを一回押すと、現在再生中のトラック / チャプターを最初から再生します。ボタンを何度か押すと、前のトラック / チャプターにスキップして戻ります。ボタンを押し続けると、現在のトラック / チャプターを巻き戻します。
■	ボタンを押すと、メディアの再生が停止します。
▶/II	ボタンを押すと、メディアが再生、または一時停止します。
⏭	ボタンを一回押すと、直後のトラック / チャプターにスキップします。ボタンを何度か押すと、いくつか後のトラック / チャプターにスキップして進みます。ボタンを押し続けると、現在のトラック / チャプターを早送りします。
	ボタンを押すと、内蔵または外付けスピーカーからのオーディオ出力の音声が停止します。
	ボタンを押すと、内蔵または外付けスピーカーからのオーディオ出力の音量が下がります。
	ボタンを押すと、内蔵または外付けスピーカーからのオーディオ出力の音量が上がります。

音量の調整音量

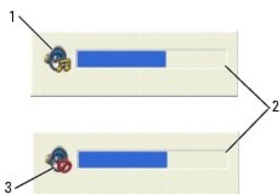
メモ: スピーカーが無音（ミュート）に設定されている場合、メディアの音声を聞くことができません。

メディアコントロールボタンを使用する以外にも、以下の方法で音量を調整できます。

1. **スタート**→ **すべてのプログラム**→ **アクセサリ**→ **エンターテイメント**→ **ボリュームコントロール** をクリックします。
2. **ボリュームコントロール** の列にある音量つまみを上下にスライドさせてボリュームを調整します。

ボリュームコントロールのオプションの詳細に関しては、**ボリュームコントロール** ウィンドウの **ヘルプ** をクリックしてください。

音量メーターにミュートを含む現在のボリュームレベルが表示されます。タスクバーにある アイコンをクリックして **Disable On Screen Volume Meter**（画面上の音量メーターを無効にする）を選択または選択解除するか、ボリュームコントロールボタンを押して、画面上の音量メーターを有効または無効にします。



1	ボリュームアイコン	2	音量メーター	3	ミュートアイコン

QuickSet の詳細に関しては、タスクバーにある アイコンを右クリックして、**ヘルプ** をクリックします。

画像の調整

現在設定している解像度と色数はメモリの使用量が多すぎてメディアを再生できません、というエラーメッセージが表示される場合、画面のプロパティで画像設定の調節をします。

1. **スタート**→ **コントロールパネル**→ **ディスプレイ**→ **設定** とクリックします。
2. **画面の解像度** にあるつまみをクリックして、解像度の設定を下げます。
3. **画面の色** のドロップダウンメニューで、**中（16ビット）**→ **OK** をクリックします。

CD、DVD、および BD メディアのコピー

本項は、DVD+/-RW ドライブ、または BD-RE ドライブを搭載しているコンピュータのみに適用されます。

メモ: メディアをコピーする際は、すべての著作権法に基付いていることを確認してください。

メモ: デルにより提供されるオプティカルドライブのタイプは国により異なることがあります。

以下の手順では、Roxio Creator を使用して CD、DVD、または BD のバックアップを作成する方法について説明します。お使いのコンピュータに保存したオーディオファイルから音楽 CD を作成したり、重要なデータをバックアップするなど、他の目的にも Roxio Creator を使用することができます。ヘルプを参照するには、Roxio Creator を開いてから <F1> を押します。

Dell コンピュータに搭載されている DVD ドライブと BD ドライブは、HD-DVD メディアをサポートしません。サポートされているメディアの形式の一覧は、空の CD、DVD、および BD メディアの使い方を参照してください。

CD、DVD、または BD のコピーの仕方

メモ: BD メディアは、他の BD メディアにのみコピーできます。

メモ: BD-R から BD-RE にコピーしても、バックアップは作成されません。

メモ: 市販の DVD と BD の大部分は著作権のプロテクションがかかっており、Roxio Creator を使用してコピーすることはできません。

1. **スタート** → **すべてのプログラム** → **Roxio Creator DE** → **Projects**（プロジェクト） → **Copy**（コピー） の順にクリックします。
2. **Copy**（コピー） タブをクリックしてから、**Copy Disc**（ディスクコピー） をクリックします。
3. CD、DVD、または BD をコピーするには、次の手順を実行します。
   - オプティカルドライブが 1 つしかない場合、ソースディスクをドライブに挿入し、設定が正しことを確認してから、**Copy Disc**（ディスクコピー） ボタンをクリックして続行します。コンピュータがソースディスクを読み取り、コンピュータのハードドライブのテンポラリフォルダにそのデータをコピーします。

     プロンプトが表示されたら、ドライブに空のディスクを挿入し、**OK** をクリックします。

   - オプティカルドライブドライブが 2 つある場合、ソースディスクを挿入したドライブを選択し、**Copy Disc**（ディスクコピー） ボタンをクリックして続行します。コンピュータがソースディスクのデータを空のディスクにコピーします。

   ソースディスクのコピーが終了すると、作成されたディスクは自動的に出てきます。

空の CD、DVD、および BD メディアの使い方

DVD 書込み可能ドライブは、CD と DVD の両方の記録メディアに書き込みができます。BD 書込み可能ドライブは、CD、DVD、および BD の記録メディアに書き込みができます。

音楽や永久保存データファイルを記録するには、空の CD-R を使用してください。CD-R の作成後、その CD-R を上書きすることはできません（詳細に関しては、Sonic のマニュアルを参照してください）。後でディスクにある情報を消去、再書き込み、または更新する場合、空の CD-RW を使用します。

空の DVD+/-R、または BD-R メディアは、大容量の情報を永久的に保存するのに使用できます。DVD+/-R または BD-R を作成した後、ディスクを作成するプロセスの最終段階でそのディスクがファイナライズまたはクローズされた場合、そのディスクに再度書き込みができない場合があります。後でディスクにある情報を消去、再書き込み、または更新する場合、空の DVD+/-RW または BD-RE を使用します。

CD 書き込み可能ドライブ

メディアタイプ	読み取り	書き込み	書換可能
CD-R	はい	はい	いいえ
CD-RW	はい	はい	はい

DVD 書き込み可能ドライブ

メディアタイプ	読み取り	書き込み	書換可能
CD-R	はい	はい	いいえ
CD-RW	はい	はい	はい
DVD+R	はい	はい	いいえ
DVD-R	はい	はい	いいえ
DVD+RW	はい	はい	はい
DVD-RW	はい	はい	はい
DVD+R DL	はい	はい	いいえ
DVD-R DL	はい	いいえ	いいえ
DVD-RAM	いいえ	いいえ	いいえ

BD 書き込み可能ドライブ

メディアタイプ	読み取り	書き込み	書換可能
CD-R	はい	はい	いいえ
CD-RW	はい	はい	はい
DVD+R	はい	はい	いいえ
DVD-R	はい	はい	いいえ
DVD+RW	はい	はい	はい
DVD-RW	はい	はい	はい
DVD+R DL	はい	はい	いいえ
DVD-R DL	はい	はい	いいえ
DVD-RAM	いいえ	いいえ	いいえ
BD-R	はい	はい	いいえ
BD-RE	はい	はい	はい

便利なヒント

- Roxio Creator を開始し、Creator プロジェクトを開いた後であれば、Microsoft® Windows® Explorer を使用して、ファイルを CD-R または CD-RW にドラッグ＆ドロップすることができます。
- 空の CD-R または CD-RW を最大容量までコピーしないでください。たとえば、650 MB のファイルを 650 MB の空の CD にコピーしないでください。CD-RW ドライブは、記録の最終段階で 1～2 MB の空きスペースがあることが必要です。
- コピーした音楽 CD を一般的なステレオで再生させるには、CD-R を使用します。CD-RW はほとんどの家庭用ステレオおよびカーステレオでは再生できません。
- 音楽用 MP3 ファイルは、MP3 プレーヤーでのみ、または MP3 ソフトウェアがインストールされたコンピュータでのみ再生できます。
- CD への記録について操作に慣れるまで練習するには、空の CD-RW を使用してください。CD-RW なら、失敗しても CD-RW のデータを消去してやりなおすことができます。空の CD-RW ディスクを使用して、空の CD-R ディスクに永久的にプロジェクトを記録する前に、音楽ファイルプロジェクトをテストすることもできます。
- Roxio Creator でオーディオ DVD は作成できません。
- 市販されているホームシアターシステム用の DVD プレイヤーは、すべての DVD フォーマットをサポートするとは限りません。お使いの DVD プレイヤーが対応するフォーマットのリストに関しては、DVD プレイヤーに付属のマニュアルを参照するか、または製造元にお問い合わせください。
- 市販されているホームシアターシステム用の BD プレイヤーは、すべての BD フォーマットをサポートするとは限りません。お使いの BD プレイヤーが対応するフォーマットの一覧を参照するには、BD プレイヤーに付属のマニュアルを参照するか、または製造元にお問い合わせください。
- 詳細に関しては、Roxio のウェブサイト **www.sonicjapan.co.jp** を参照してください。

Dell Media Experience および Dell MediaDirect の使い方

メモ: Dell QuickSet のデフォルトの設定を変更したり無効にしたりすると、Dell MediaDirect™ の機能が制限されます。Dell QuickSet の詳細に関しては、Dell QuickSetを参照してください。

電源ボタンの横にある Dell MediaDirect ボタンを押すと、Windows Media Center Manager または Dell MediaDirect が始動します。

コンピュータの電源が入っている状態、またはスタンバイモードの場合

コンピュータの電源が入っている状態またはスタンバイモードの場合に Dell MediaDirect ボタンを押すと、お使いのシステムの設定によって、Windows XP Media Center Manager または Dell Media Experience™ が始動します。両方のアプリケーションが存在する場合は、Windows XP Media Center Manager が始動します。

メモ: お使いのコンピュータに Microsoft Windows XP Media Center Edition と Dell Media Experience の両方がインストールされている場合は、Dell Media Experience を始動する必要があります。**スタート→ すべてのプログラム** をクリックするか、デスクトップの Media Experience アイコンをクリックします。

コンピュータの電源が切れている状態、または休止状態モードの場合

コンピュータの電源が切れている状態または休止状態モードの場合に Dell MediaDirect ボタンを押すと、コンピュータが起動して Dell MediaDirect アプリケーションが自動的に始動します。

メモ: ハードドライブを自発的に再フォーマットした場合、Dell Media Experience または Dell MediaDirect の機能を再インストールすることはできません。これらのメディアアプリケーションを再インストールするには、インストール用のソフトウェアが必要です。この場合には、デルにご相談ください。デルへのお問い合わせを参照してください。



1	Dell MediaDirect ボタン

Dell MediaDirect および Dell Media Experience のヘルプ

お使いのコンピュータの Dell メディアアプリケーションにはヘルプ情報があります。メディアアプリケーションが起動しているときに、デスクトップにある追加ヘルプのアイコンをクリックしてください。

コンピュータとテレビまたはオーディオデバイスとの使い方

お使いの Dell コンピュータに付属のアダプタを使用して、様々な電子機器をコンピュータに接続することができます。

- コンポジットビデオアダプタ
- コンポーネントビデオアダプタ
- オーディオ /IR ブラスタアダプタ

お使いのコンピュータには、標準 S ビデオケーブル、コンポジットビデオアダプタケーブル、またはコンポーネントビデオアダプタケーブルと共に使用して、テレビとコンピュータを接続できる S ビデオ TV 出力コネクタがあります。 お使いのディスプレイまたはテレビがサポートする最良の入力方法を使用します。DVI とコンポーネントが最良のオプションです。ディスプレイまたはテレビの厳密なタイプによって、いずれか一方に問題があります。これらのコネクタのいずれもサポートされていない場合は、代わりに S ビデオまたはコンポジットを使用します。

以下の項では、接続するデバイスに応じて、付属の各アダプタと可能な構成について説明します。

コンポジットビデオアダプタの接続



1	S ビデオ TV 出力コネクタ	2	コンポジットビデオアダプタ

コンポジットビデオアダプタを使用して、次のデバイスを接続します。

- 標準的なデフィニッションテレビ
- VCR
- DVR

コンポーネントビデオアダプタの接続



1	S ビデオ TV 出力コネクタ	2	コンポーネントビデオアダプタ

コンポーネントビデオアダプタを使用して、次のデバイスを接続します。

- ハイデフィニッションテレビ
- ハイデフィニッション DVR または DVD プレーヤー

メモ: お使いのテレビに DVI-I コネクタがある場合、コンポーネントアダプタの代わりに DVI-I コネクタを使用してください。

オーディオ / IR ブラスタアダプタの接続



1	オーディオ /IR ブラスタアダプタ	2	オーディオコネクタ

オーディオ /IR ブラスタアダプタには、次のポートがあります。



1	**1**	IR ブラスタポート	黒色
2	2	IR ブラスタポート	黒色
3	**S/PDIF**	デジタル S/PDIF ポート	
4		側面 L/R 出力コネクタ	灰色
5		中央 / サブ出力コネクタ	橙色
6		後方 L/R 出力コネクタ	黒色
7		前方 L/R 出力コネクタ	黄緑色

IR ブラスタ出力ポートは、以下の外付けの民生電子機器をリモートコントロールするために Windows Media Center で使用されます。

- サテライトボックス
- ケーブルボックス
- VCR

デジタル S/PDIF 出力（TOSLINK オプティカル接続）ポートには、次のデバイスを接続します。

- ホームシアター受信機
- ミニディスクプレーヤー
- ハイエンドデジタルデコーディング 5.1 スピーカー

マルチチャネルアナログオーディオ I/O ポートには、次のデバイスを接続します。

- 7.1 スピーカー
- ライン入力のある 5.1 スピーカー
- モノラル / ステレオマイク
- 外付けのオーディオソース
- MP3 プレーヤー
- テープデッキ

メモ: テレビまたはその他のオーディオデバイスとコンピュータを接続するビデオケーブルやオーディオケーブルの中には、必ずしもお使いのコンピュータに付属しているとは限りません。

Cyberlink PowerDVD で S/PDIF デジタルオーディオを有効にする

メモ: Cyberlink S/PDIF を設定できるのは、お使いのコンピュータに Cyberlink PowerDVD がインストールされている場合のみです。

1. **スタート** → **すべてのプログラム** → **PowerDVD DX** とクリックします。
2. **Settings**（設定）をクリックします。

3. **Audio Settings**（オーディオ設定）をクリックします。

4. **Speaker Environment**（スピーカー環境）をクリックしてから、**SPDIF** をクリックします。

5. **Apply**（適用）を一度クリックして、再び **Apply**（適用）をクリックし、メインメニューの画面に戻ります。

Windows オーディオドライバで S/PDIF デジタルオーディオを有効にする

1. Windows の通知領域でスピーカーアイコンをダブルクリックします。

2. **オプション** メニューをクリックしてから、**トーン調整** をクリックします。

3. **トーン** をクリックします。

4. **S/PDIF インタフェース** をクリックします。

5. **閉じる** をクリックします。

6. **OK** をクリックします。

Cyberlink（CL）ヘッドフォンのセットアップ

メモ: CL ヘッドフォンの機能を利用できるのは、お使いのコンピュータに Cyberlink PowerDVD がインストールされている場合のみです。

1. **スタート** → **すべてのプログラム** → **PowerDVD DX** とクリックします。

2. **Settings**（設定）をクリックします。

3. **Audio Settings**（オーディオ設定）をクリックします。

4. **Speaker Environment**（スピーカー環境）をクリックしてから、**Headphones**（ヘッドフォン）をクリックします。

5. **Output Mode**（出力モード）をクリックして、プリファランスで **CL Headphone**（CL ヘッドフォン）オプションを選択します。

6. **Dynamic Range Compression**（ダイナミックレンジ圧縮）をクリックして、最適なオプションを選択します。

7. **Apply**（適用）を一度クリックして、再び **Apply**（適用）をクリックし、メインメニューの画面に戻ります。

テレビの表示設定の有効化

メモ: ディスプレイオプションが正しく表示されるようにするには、ディスプレイ設定を有効にする前に TV をコンピュータに接続してください。

1. **スタート** ボタンをクリックし、**設定** をポイントし、**コントロールパネル** をクリックします。

2. **画面** をクリックして **設定** タブをクリックします。

3. **トーン** をクリックします。

4. お使いのビデオカードのタブをクリックします。

メモ: コンピュータに取り付けられたビデオカードのタイプを確認するには、Windows ヘルプとサポートセンターを参照してください。ヘルプとサポートセンターにアクセスするには、**スタート** → **ヘルプとサポート** とクリックします。**作業を選びます** で **ツールを使ってコンピュータ情報を表示し問題を診断する** をクリックします。次に、**マイコンピュータの情報** で **ハードウェア** を選択します。

5. 表示デバイスの項で、シングルディスプレイまたはマルチディスプレイのいずれを使用するか、該当するオプションを選択し、画面設定が選択内容に対して正しいことを確認します。

目次に戻る

[目次に戻る]

ネットワーク（LAN またはワイヤレス）の使い方

Dell™ XPS™ M2010 オーナーズマニュアル

ネットワークまたはブロードバンドモデムへの物理的な接続

コンピュータをネットワークに接続する前に、お使いのコンピュータにネットワークアダプタが取り付けられていて、ネットワークケーブルが接続されている必要があります。

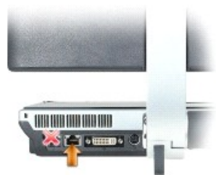
ネットワークケーブルを接続するには次の手順を実行します。

1. ネットワークケーブルをコンピュータ背面のネットワークアダプタコネクタに接続します。

メモ: ケーブルコネクタをカチッと所定の位置に収まるまで差し込みます。次に、ケーブルを軽く引いて、ケーブルがしっかり取り付けられていることを確認します。

2. ネットワークケーブルのもう一方の端を、ネットワーク接続デバイスまたは壁のネットワークコネクタに接続します。

メモ: ネットワークケーブルを電話ジャックに接続しないでください。



ネットワークセットアップウィザード

Microsoft® Windows® XP には家庭または小企業のコンピュータ間で、ファイル、プリンタ、またはインターネット接続を共有するための手順を案内するネットワークセットアップウィザードがあります。

1. **スタート** ボタンをクリックし、**すべてのプログラム** → **アクセサリ** → **通信** とポイントして、**ネットワークセットアップウィザード** をクリックします。
2. **ネットワークセットアップウィザードの開始** の画面で、**次へ** をクリックします。
3. **ネットワーク作成のチェックリスト** をクリックします。

メモ: **インターネットに直接接続している** と表示された接続方法を選択すると、Windows XP Service Pack 2（SP2）で提供されている内蔵ファイアウォールを使用することができます。

4. チェックリストを完了します。
5. ネットワークセットアップウィザードに戻り、画面の指示に従います。

ワイヤレス LAN（ローカルエリアネットワーク）

ワイヤレス LAN では、一連のコンピュータが、相互に接続されるネットワークケーブルではなく電波を介して通信するように相互接続されています。ワイヤレス LAN では、アクセスポイントまたはワイヤレスルーターと呼ばれる無線通信デバイスがネットワークコンピュータ間を接続し、インターネットやネットワークへのアクセスを提供します。アクセスポイントまたはワイヤレスルーターとコンピュータ内のワイヤレスネットワークカードは、電波を介して各自のアンテナからデータをブロードキャストして通信します。

ワイヤレス LAN 接続の設定に必要なもの

ワイヤレス LAN をセットアップするには、次のものが必要です。

- 高速（ブロードバンド）インターネットアクセス（ケーブルまたは DSL など）
- 接続済みで作動中のブロードバンドモデム
- ワイヤレスルーターまたはアクセスポイント
- ワイヤレスネットワークカード（ワイヤレス LAN に接続する各コンピュータに必要）
- ネットワーク（RJ-45）コネクタのあるネットワークケーブル

お使いのワイヤレスネットワークカードの確認

コンピュータの構成は、コンピュータ購入時の選択に応じて異なります。お使いのコンピュータにワイヤレスネットワークカードがあるかどうかを確認し、カードのタイプを調べるには、次のいずれかを使用します。

- **スタート** ボタンと **接続** オプション
- お使いのコンピュータの注文確認書

スタートボタンと接続オプション

1. **スタート** ボタンをクリックします。
2. **接続** をポイントして、**すべての接続の表示** をクリックします。

ワイヤレスネットワーク接続 が **LAN または高速インターネット** に表示されない場合は、お使いのコンピュータにワイヤレスネットワークカードがない可能性があります。

ワイヤレスネットワーク接続 が表示されていれば、ワイヤレスネットワークカードが取り付けられています。ワイヤレスネットワークカードの詳細を表示するには、次の手順を実行します。

1. **ワイヤレスネットワーク接続 を右**クリックします。
2. **プロパティ** をクリックします。**ワイヤレスネットワーク接続のプロパティ** ウィンドウが表示されます。ワイヤレスネットワークカードの名前とモデル番号が **一般** タブに表示されます。

 **メモ:** お使いのコンピュータが **クラシックスタート** メニューオプションに設定されている場合、**スタート** ボタンをクリックして、**設定** をポイントしてから **ネットワーク接続** をポイントすると、ネットワーク接続を表示できます。**ワイヤレスネットワーク接続** が表示されない場合は、お使いのコンピュータにワイヤレスネットワークカードがない可能性があります。

コンピュータの注文確認書

お使いのコンピュータの注文時に受け取った注文確認書に、コンピュータに付属のハードウェアとソフトウェアが一覧表示されています。

新しいワイヤレス LAN のセットアップ

ワイヤレスルーターとブロードバンドモデムの接続

1. インターネットサービスプロバイダ（ISP）に連絡して、お使いのブロードバンドモデムの接続要件に関する情報を入手します。
2. ワイヤレスインターネット接続をセットアップする前に、ブロードバンドモデムを経由して有線でインターネットにアクセスできる状態にあることを確認してください（ネットワークまたはブロードバンドモデムへの物理的な接続を参照）。
3. お使いのワイヤレスルーターに必要ないずれかのソフトウェアをインストールします。お使いのワイヤレスルーターには、インストール用のメディアが付属している場合があります。インストールメディアには、通常、インストールとトラブルシューティングに関する情報が含まれています。ルーターの製造元の指示に従って、必要なソフトウェアをインストールします。
4. **スタート** メニューから、お使いのコンピュータと、周辺にあるワイヤレスが有効なその他すべてのコンピュータをシャットダウンします。
5. ブロードバンドモデムの電源ケーブルをコンセントから外します。
6. ネットワークケーブルをコンピュータとモデムから外します。

 **メモ:** ブロードバンドモデムを外した後、5 分以上待ってから、ネットワークのセットアップを続行します。

7. AC アダプタケーブルをワイヤレスルーターから外し、ルーターに接続された電源がないことを確認します。

8. ネットワークケーブルを電源の入っていないブロードバンドモデムのネットワーク(RJ-45)コネクタに接続します。

9. ネットワークケーブルのもう一方の端を電源の入っていないワイヤレスルーターのインターネットネットワーク(RJ-45)コネクタに接続します。

10. モデムとワイヤレスルーターを接続しているネットワークケーブル以外に、ブロードバンドモデムにネットワークケーブルまたは USB ケーブルが接続されていないことを確認します。

メモ: 接続エラーを防ぐため、以下に記載する順番でワイヤレス機器を再スタートさせます。

11. ブロードバンドモデムにのみ電源を入れて、ブロードバンドモデムが安定するまで 2 分以上待ちます。2 分経ったら、12 ステップ に進みます。

12. ワイヤレスルーターの電源を入れ、ワイヤレスルーターが安定するまで 2 分以上待ちます。2 分経ったら、13 ステップ に進みます。

13. コンピュータを起動し、起動プロセスが完了するまで待ちます。

14. ワイヤレスルーターに付属のマニュアルを参照し、次の操作を実行して、ワイヤレスルーターをセットアップします。

- コンピュータとワイヤレスルーター間の通信を確立します。
- ワイヤレスルーターをブロードバンドルーターと通信できるように設定します。
- ワイヤレスルーターのブロードキャスト名を検索します。ルーターのブロードキャスト名の専門用語は、Service Set Identifier(SSID)またはネットワーク名です。

15. 必要に応じて、ワイヤレスネットワークカードを設定し、ワイヤレスネットワークに接続します。ワイヤレス LAN への接続を参照してください。

ワイヤレス LAN への接続

メモ: ワイヤレス LAN に接続する前に、必ずワイヤレス LAN(ローカルエリアネットワーク)の手順に従ってください。

メモ: 次のネットワークへの接続手順は、Bluetooth® ワイヤレステクノロジ内蔵カードまたは携帯製品には適用されません。

本項では、ワイヤレステクノロジを介したネットワークへの接続に関する一般的な手順について説明します。特定のネットワーク名や設定の詳細は異なります。お使いのコンピュータをワイヤレス LAN へ接続するための準備については、ワイヤレス LAN(ローカルエリアネットワーク)を参照してください。

ワイヤレスネットワークカードには、ネットワークに接続するための専用のソフトウェアとドライバが必要です。ソフトウェアはすでにインストールされています。

メモ: ソフトウェアが削除されているか破損している場合は、ワイヤレスネットワークカードのユーザーマニュアルの手順に従ってください。お使いのコンピュータに取り付けられているワイヤレスネットワークカードのタイプを確認してから、Dell™ サポートサイト **support.jp.dell.com** でカード名を検索します。お使いのコンピュータに取り付けられているワイヤレスネットワークカードのタイプに関しては、お使いのワイヤレスネットワークカードの確認を参照してください。

ワイヤレスネットワークデバイスマネージャの確認

お使いのコンピュータにインストールされているソフトウェアによって、ネットワークデバイスを管理するワイヤレス設定ユーティリティが異なる場合があります。

- お使いのワイヤレスネットワークカードのクライアントユーティリティ
- Microsoft Windows XP オペレーティングシステム

ワイヤレスネットワークカードを管理するワイヤレス設定ユーティリティを確認するには、次の手順を実行します。

1. **スタート** ボタンをクリックし、**設定** をポイントして、**コントロールパネル** をクリックします。

2. **ネットワーク接続** をダブルクリックします。

3. **ワイヤレスネットワーク接続** アイコンを右クリックして、**利用できるワイヤレスネットワークの表示** をクリックします。

ワイヤレスネットワークの選択 ウィンドウで **Windows cannot configure this connection**(Windows ではこの接続を設定できません)というメッセージが表示されたら、ワイヤレスネットワークカードのクライアントユーティリティがワイヤレスネットワークカードを管理しています。

ワイヤレスネットワークの選択 ウィンドウで **Click an item in the list below to connect to a wireless network in range or to get more information**(以下のリストのアイテムをクリックして、範囲内にあるワイヤレスネットワークに接続するか、詳細情報を取得します)というメッセージが表示されたら、Windows XP オペレーティングシステムがワイヤレスネットワークカードを管理しています。

お使いのコンピュータにインストールされているワイヤレス設定ユーティリティの詳細情報に関しては、Windows ヘルプとサポートセンターでお使いのワイヤレスネットワークのマニュアルを参照してください。

ヘルプとサポートセンターにアクセスするには、次の手順を実行します。

1. **スタート** ボタンをクリックして、**ヘルプとサポート** をクリックします。

2. **ヘルプ トピックを選びます** で **ユーザーズガイドおよびシステムガイド** をクリックします。

3. **Device Guides**（デバイスガイド）でお使いのワイヤレスネットワークカードのマニュアルを選択します。

ワイヤレス LAN への接続の完了

コンピュータの電源投入時にその地域で（コンピュータに設定のない）ネットワークが検出されると、通知領域（Windows デスクトップの右下隅）にあるネットワークアイコン付近にポップアップが表示されます。

画面に表示されるユーティリティのプロンプトの手順に従ってください。

選択したワイヤレスネットワークをコンピュータに設定すると、もう一度ポップアップが表示され、コンピュータがそのネットワークに接続されたことが通知されます。

これ以降は、選択したワイヤレスネットワークの範囲内でコンピュータにログオンすると、同じポップアップが表示され、ワイヤレスネットワークで接続されていることが通知されます。

メモ： セキュアネットワークを選択した場合、プロンプトが表示されたら WEP キーまたは WPA キーを入力する必要があります。ネットワークセキュリティ設定は、ご利用のネットワーク固有のものです。デルではこの情報をお知らせすることができません。

メモ： コンピュータがネットワークに接続するのに 1 分ほどかかる場合があります。

ワイヤレスネットワークカードを有効または無効にする

メモ： ワイヤレスネットワークに接続できない場合は、ワイヤレス LAN を設定するためのすべてのコンポーネント（ワイヤレス LAN 接続の設定に必要なものを参照）が揃っていることを確認し、<Fn><F2> を押してお使いのワイヤレスネットワークカードが有効であることを確認します。

<Fn><F2> キーの組み合わせを押すと、お使いのコンピュータのワイヤレスネットワーク機能をオンまたはオフにすることができます。

Dell QuickSet を使用したワイヤレスネットワークカードのステータスのモニタ

ワイヤレスアクティビティインジケータを使用すると、お使いのコンピュータのワイヤレスデバイスのステータスを簡単にモニタできます。タスクバーにある Dell QuickSet アイコンを右クリックし、**Wireless Activity Indicator Off**（ワイヤレスアクティビティインジケータをオフにする）を選択または選択解除して、ワイヤレスアクティビティインジケータのオンとオフを切り替えます。

ワイヤレスアクティビティインジケータには、お使いのコンピュータに搭載のワイヤレスデバイスが有効または無効のどちらの状態になっているかが表示されます。ワイヤレスネットワーク機能をオンまたはオフにすると、ワイヤレスアクティビティインジケータが変化してステータスを表示します。

ワイヤレス アクティビティインジケータの詳細に関しては、『Dell QuickSet ヘルプ』ファイルを参照してください。QuickSet および『Dell QuickSet ヘルプ』ファイルへのアクセス方法に関しては、Dell QuickSetを参照してください。

モバイルブロードバンドネットワークまたはワイヤレス WAN（ワイドエリアネットワーク）

モバイルブロードバンドネットワーク（WWAN としても知られています）は、ワイヤレス LAN とよく似ており、ワイヤレステクノロジを使用して互いに通信する、一連の相互接続されたコンピュータです。ただし、モバイルブロードバンドネットワークはセルラーテクノロジを使用するため、携帯電話サービスが利用可能な区域と同じ区域内でインターネットアクセスを提供します。お使いのコンピュータが、ご利用のセルラーサービスプロバイダのサービスエリア内にある限り、物理的な区域に関係なく、コンピュータでモバイルブロードバンドネットワーク接続を維持できます。

モバイルブロードバンドネットワーク接続の設定に必要なもの

メモ： モバイルブロードバンド ExpressCard を使用して、モバイルブロードバンドネットワーク接続を設定できます。

モバイルブロードバンドネットワーク接続をセットアップするには、次のものが必要です。

- モバイルブロードバンド ExpressCard。ExpressCard の使い方に関しては、サポートされるカードを参照してください。
- Dell モバイルブロードバンドカードユーティリティ（コンピュータの購入時にカードを購入された場合は、すでにインストール済みです。コンピュータとは別に購入された場合は、カードに付属する CD に収録されています）。

  このユーティリティが破損したかコンピュータから削除された場合は、Dell モバイルブロードバンドカードユーティリティのユーザーズガイドで手順を参照してください。ユーザーズガイドは、Windows ヘルプとサポートセンターから入手できます（カードをコンピュータと別に購入された場合は、カードに付属する CD に収録されています）。ヘルプとサポートセンターにアクセスする方法については、Windows ヘルプとサポートセンターを参照してください。

お使いの Dell モバイルブロードバンドカードの確認

コンピュータの構成は、コンピュータ購入時の選択に応じて異なります。お使いのコンピュータの構成を確認するには、次のいずれかを参照してください。

- お客様の注文確認書
- Microsoft Windows ヘルプとサポートセンター

ヘルプとサポートセンターでお使いのモバイルブロードバンドカードを確認するには、次の手順を実行します。

1. **スタート** ボタンをクリックして、**ヘルプとサポート** をクリックします。

2. **作業を選びます** で **ツールを使ってコンピュータ情報を表示し問題を診断する** をクリックします。

3. **ツール** で **マイコンピュータの情報** をクリックして、**コンピュータにインストールされているハードウェアに関する情報を検索する** を選択します。

マイコンピュータの情報 - ハードウェア 画面に、お使いのコンピュータに取り付けられたモバイルブロードバンドカードのタイプとその他のハードウェアコンポーネントが表示されます。

メモ: モバイルブロードバンドカードは **モデム** の下に表示されます。

モバイルブロードバンドネットワークの接続

メモ: 以下の手順は、モバイルブロードバンド ExpressCard のみに適用されます。Bluetooth ワイヤレステクノロジ内蔵カードには適用されません。

メモ: インターネットに接続する前に、お使いのセルラーサービスプロバイダを介してモバイルブロードバンドサービスを有効にする必要があります。デルモバイルブロードバンドカードユーティリティの使用手順や追加情報に関しては、Windows ヘルプとサポートセンターでユーザーズガイドを参照してください。ヘルプとサポートセンターにアクセスするには、Windows ヘルプとサポートセンターを参照してください。ユーザーズガイドは、**support.jp.dell.com** のデルサポートサイトから入手できます。お使いのコンピュータとは別にモバイルブロードバンドカードを購入された場合は、カードに付属しているメディアにユーザーズガイドが収録されています。

Dell モバイルブロードバンドカードユーティリティを使用して、モバイルブロードバンドネットワークのインターネットへの接続を設定および管理します。

1. Windows タスクバーにある Dell モバイルブロードバンドカードユーティリティアイコンをクリックし、ユーティリティを実行します。

2. **接続** をクリックします。

   メモ: 接続 ボタンが **Disconnect**（切断）ボタンに変わります。

3. 画面の手順に従って、ユーティリティでネットワーク接続を管理します。

または

1. **スタート** ボタンをクリックして、**すべてのプログラム**→ **Dell Wireless**（Dell ワイヤレス）とポイントします。

2. **Dell Wireless Broadband**（デルワイヤレスブロードバンド）をクリックして、画面に表示される指示に従います。

Windows ファイアウォール

Windows ファイアウォールでは、インターネット接続時に、許可されていないユーザーのコンピュータへのアクセスに対する基本的な保護が提供されます。ファイアウォールはネットワークセットアップウィザードを実行するときに自動的に有効になります。ネットワーク接続にファイアウォールが有効になると、コントロールパネルの **ネットワーク接続** に赤い背景のあるファイアウォールアイコンが表示されます。

Windows ファイアウォールを有効にしても、ウイルス対策ソフトウェアは必要です。

詳細に関しては、Microsoft Windows XP オペレーティングシステムのヘルプとサポートセンターを参照してください。ヘルプとサポートセンターにアクセスする方法については、Windows ヘルプとサポートセンター を参照してください。

目次に戻る

目次に戻る

部品の増設および交換

Dell™ XPS™ M2010 オーナーズマニュアル

作業を開始する前に

本章では、コンピュータのコンポーネントの取り付けおよび取り外しの手順について説明します。特に指示がない限り、それぞれの手順では以下の条件を満たしていることを前提とします。

- コンピュータの電源を切るとコンピュータ内部の作業を始める前にの手順をすでに完了していること。
- お使いの Dell™ 『製品情報ガイド』の安全に関する情報を読んでいること。

奨励するツール

このマニュアルで説明する操作には、以下のツールが必要です。

- 細めのマイナスドライバ
- プラスドライバ
- フラッシュ BIOS のアップデート（デルサポートサイト **support.jp.dell.com** を参照）

コンピュータの電源を切る

注意: データの損失を避けるため、コンピュータの電源を切る前に、開いているファイルをすべて保存してから閉じ、実行中のプログラムをすべて終了します。

1. オペレーティングシステムをシャットダウンします。
   a. 開いているすべてのプログラムやファイルを保存して終了します。**スタート** ボタンをクリックして、**終了オプション** をクリックします。
   b. **コンピュータの電源を切る** ウィンドウで、**電源を切る** をクリックします。

   オペレーティングシステムのシャットダウンプロセスが終了した後に、コンピュータの電源が切れます。

2. コンピュータおよび接続されているデバイスの電源が切れていることを確認します。オペレーティングシステムをシャットダウンした際に、お使いのコンピュータや取り付けられているデバイスの電源が自動的に切れなかった場合は、コンピュータの電源が切れるまで電源ボタンを 8 ～ 10 秒以上押し続けます。

コンピュータ内部の作業を始める前に

コンピュータの損傷を防ぎ、ご自身の身体の安全を守るために、以下の点にご注意ください。

警告: 本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。

警告: 部品やカードの取り扱いには十分注意してください。カード上の部品や接続部分には触れないでください。カードを持つ際は縁を持つか、金属製の取り付けブラケットの部分を持ってください。プロセッサのようなコンポーネントは、ピンの部分ではなく端を持つようにしてください。

注意: コンピュータシステムの修理は、資格を持っているサービス技術者のみが行ってください。デルで認められていない修理による損傷は、保証の対象となりません。

注意: ケーブルを外すときは、コネクタまたはストレインリリーフループの部分を持ち、ケーブル自身を引っ張らないでください。ロックタブ付きのコネクタがあるケーブルもあります。このタイプのケーブルを抜く場合、ロックタブを押し入れてからケーブルを抜きます。コネクタを抜く際は、コネクタのピンを曲げないようにまっすぐに引き抜きます。また、ケーブルを接続する前に、両方のコネクタが正しい向きに揃っているか確認します。

注意: コンピュータの損傷を防ぐため、コンピュータ内部の作業を始める前に、次の手順を実行します。

1. コンピュータカバーに傷がつかないように、作業台が清潔で平坦であることを確認します。

2. コンピュータの電源を切ります。コンピュータの電源を切るを参照してください。

注意: ネットワークケーブルを外すには、まずネットワークケーブルをコンピュータから外し、次に壁のネットワークジャックから外します。

3. 電話ケーブルとネットワークケーブルをすべてコンピュータから外します。

4. コンピュータ、および取り付けられているすべてのデバイスをコンセントから外します。

注意: システム基板の損傷を防ぐため、コンピュータで作業を行う前にメインバッテリーを取り外してください。

5. システムバッテリーを取り外します。

   a. コンピュータを裏返す前に、キーボードがしっかり取り付けられており、ディスプレイが閉じてラッチがはまっていることを確認します。ディスプレイパネルの閉じ方を参照してください。次に、コンピュータを作業台の上で裏返します。

   b. コンピュータ底面のバッテリーベイリリースラッチロックを 1 の矢印方向にスライドさせます。バッテリーアクセスドアが持ち上がります。



1	バッテリーアクセスドア

   c. 片方の親指をバッテリーアクセスドアの横の穴に入れ、もう一方の親指を 2 の矢印付近のくぼみに入れて、両方の親指を使ってバッテリーを 2 の矢印方向にスライドさせます。



   d. バッテリーをまっすぐ持ち上げて、コンピュータから取り外します。



6. 電源ボタンを押して、システム基板の静電気を除去します。

7. 取り付けられている ExpressCard とメディアメモリカードをすべて取り外します。カードの取り外しを参照してください。

メモリ

システム基板にメモリモジュールを取り付けると、コンピュータのメモリ容量を増やすことができます。お使いのコンピュータに対応するメモリの情報については、仕様を参照してください。必ずお使いのコンピュータ用のメモリモジュールのみを取り付けてください。

メモ： デルから購入されたメモリモジュールは、お使いのコンピュータの保証範囲に含まれます。

警告：本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。

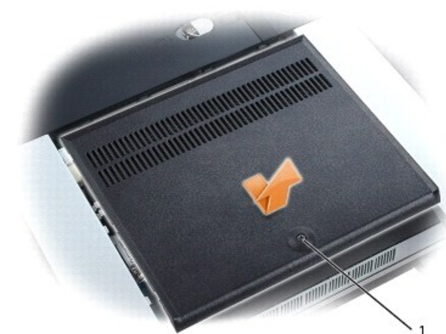
注意： システム基板の損傷を防ぐため、コンピュータ内部の作業を行う前にメインバッテリーを取り外してください。バッテリーの取り付けを参照してください。

コンピュータには、メモリモジュールカバーの下に DIMM A と DIMM B という 2 つのメモリスロットがあります。お使いのコンピュータでメモリを交換またはアップグレードする場合、両方のメモリモジュールを同じサイズにしてください。

メモリモジュールを DIMM A または DIMM B に取り付けるには、次の手順を実行します。

1. 作業を開始する前にの手順に従って操作してください。

2. コンピュータを裏返し、メモリカバーの拘束ネジを緩めます。カバーをコンピュータの背面方向にスライドさせて、カバーの切り込みからベースのタブを外し、カバーを持ち上げて取り外します。



1	拘束ネジ

3. コンピュータ背面にある塗装されていない金属製のコネクタに触れて、身体の静電気を除去します。

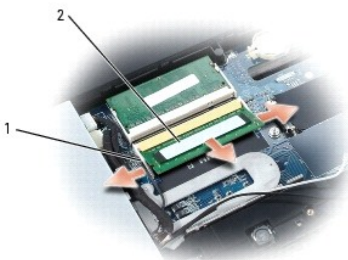
   メモ： その場を離れた後、コンピュータに戻るときには再び静電気を除去してください。

注意： メモリモジュールコネクタへの損傷を防ぐため、メモリモジュールの固定クリップを広げるためにツールを使用しないでください。

4. メモリモジュールを交換する場合は、既存のモジュールを取り外します。

   a. メモリモジュールコネクタの両端にある固定クリップをモジュールが持ち上がるまで指先で慎重に広げます。

   b. モジュールをコネクタから取り外します。



1	固定クリップ（各コネクタに 2 つ）	2	メモリモジュール

注意： メモリモジュールは、コネクタへの損傷を防ぐために 45 度の角度で差し込んでください。

メモ： メモリモジュールが正しく取り付けられていない場合、コンピュータは正常に起動しません。この場合、エラーメッセージは表示されません。

5. 身体の静電気を除去してから、新しいメモリモジュールを取り付けます。

   a. モジュールエッジコネクタの切り込みをコネクタスロットのタブに合わせます。

   b. モジュールを 45 度の角度でしっかりとスロットに挿入し、メモリモジュールがカチッと所定の位置に収まるまで押し下げます。カチッという感触が得られない場合、モジュールを取り外し、もう一度取り付けます。

6. メモリカバーの切り込みとベースのタブの位置を合わせ、カバーをコンピュータの前面方向にスライドさせてカバーを取り付け、ネジを締めます。

注意: カバーが閉まりにくい場合、モジュールを取り外して、もう一度取り付けます。無理にカバーを閉じると、コンピュータを破損する恐れがあります。

7. バッテリーをバッテリーベイに取り付けるか、または AC アダプタをコンピュータおよびコンセントに接続します。

8. コンピュータの電源を入れます。

コンピュータは起動時に、増設されたメモリを検出してシステム構成情報を自動的に更新します。

コンピュータに取り付けられたメモリ容量を確認するには、**スタート** ボタンをクリックし、**ヘルプとサポート** をクリックして、**コンピュータの情報** をクリックします。

ミニカード

コンピュータと一緒にワイヤレス LAN カードを注文された場合、カードはすでに取り付けてあります。

警告: 本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。

注意: 静電気による損傷を避けるため、静電気防止用リストバンドを使用したり、コンピュータの背面パネルにあるコネクタなどに定期的に触れたりして、静電気を身体から除去してください。

注意: システム基板の損傷を防ぐため、コンピュータ内部の作業を行う前にメインバッテリーを取り外してください。

ワイヤレス LAN カード

1. 作業を開始する前にの手順に従って操作してください。

2. メモリカバーを取り外します。メモリを参照してください。

3. コンピュータ背面にある塗装されていない金属製のコネクタに触れて、身体の静電気を除去します。

   メモ: その場を離れた後、コンピュータに戻るときには再び静電気を除去してください。

4. カードがまだ取り付けられていない場合、5 ステップ に進みます。カードを交換する場合は、既存のカードを取り外します。

   a. アンテナケーブルをカードから外します。



1	アンテナケーブル

   b. カードを取り外すには、カードがわずかに浮き上がるまで金属製固定タブを押します。



1	ミニカード	2	金属製固定タブ（2）

c. カードをコネクタから取り外します。

注意: コネクタは、正しく取り付けられるよう設計されています。抵抗を感じる場合は、コネクタを確認しカードを再調整してください。

5. カードを取り付けます。

注意: カードの損傷を防ぐため、カードを押し込む際にアンテナケーブルがカードの下にないことを確認します。

a. カードを 45 度の角度でコネクタに合わせ、カチッという感触が得られるまで、カードをコネクタに押し込みます。

b. ケーブルの色とコネクタの上にある三角形の色を合わせて、ミニカードのアンテナコネクタにアンテナケーブルを接続します。メインケーブル（白色）を白い三角形のあるアンテナコネクタに接続します。予備ケーブル（黒色）を黒い三角形のあるアンテナコネクタに接続します。

メモ: コンピュータに灰色のケーブルがある場合は、お使いのカードで使用できるのであれば、灰色の三角形の付いたコネクタに接続します。

6. メモリカバーを取り付けます。メモリを参照してください。

7. バッテリーをバッテリーベイに取り付けるか、または AC アダプタをコンピュータおよびコンセントに接続します。

8. コンピュータの電源を入れます。

コイン型電池

警告: 次の手順を実行する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。

注意: 静電気による損傷を避けるため、静電気防止用リストバンドを使用したり、コンピュータの背面パネルにあるコネクタなどに定期的に触れたりして、静電気を身体から除去してください。

注意: システム基板の損傷を防ぐため、コンピュータ内部の作業を行う前にメインバッテリーを取り外してください。

コイン型電池を取り外すには、次の手順を実行します。

1. 作業を開始する前にの手順に従って操作します。

2. メモリカバーを取り外します。メモリを参照してください。



1	コイン型電池	2	電池実装部

3. 細めのドライバを使って、プラスチックを損傷しないように気をつけながら、プラスチック製コネクタの切り込み部分で電池の片側を持ち上げ、システム基板の実装部から電池を取り外します。

4. 電池をつかんで実装部から引き出します。

コイン型電池を取り付けるには、次の手順を実行します。

1. プラスチック製電池実装部の縁の下にコイン型電池の片側を差し込みます。

2. プラスチックを損傷しないように気をつけながら、コイン型電池を実装部に軽く押し下げます。

目次に戻る

目次に戻る

Dell QuickSet

Dell™ XPS™ M2010 オーナーズマニュアル

メモ: この機能はお使いのコンピュータで使用できない場合があります。

Dell™ QuickSet を使用すると、次のタイプの設定を容易に実行したり、表示したりすることができます。

- ネットワークの接続性
- 電力の管理
- ディスプレイ
- システム情報

Dell QuickSet で実行する内容によって、Microsoft® Windows® タスクバーにある QuickSet アイコン をクリック、ダブルクリック、または右クリックして、QuickSet を開始します。タスクバーは画面の右下隅にあります。

QuickSet の詳細に関しては、タスクバーにある QuickSet アイコンを右クリックして、**ヘルプ** をクリックします。

目次に戻る

目次に戻る

コンピュータのセキュリティ保護

Dell™ XPS™ M2010 オーナーズマニュアル

メモ: 旅行などでコンピュータを携帯する場合のセキュリティ保護に関しては、ノートブックコンピュータを携帯するときはを参照してください。

セキュリティケーブルロック

メモ: お使いのコンピュータには、セキュリティケーブルロックは付属していません。

セキュリティケーブルロックは、市販の盗難防止用品です。ロックを使用するには、Dell™ コンピュータのセキュリティケーブルスロットにロックを取り付けます。詳細に関しては、盗難防止用品に付属のマニュアルを参照してください。

注意: 盗難防止デバイスを購入する前に、お使いのコンピュータのセキュリティケーブルスロットに対応するか確認してください。



パスワードについて

パスワードはコンピュータへの不正なアクセスを防止します。パスワードの使用に際して、次のガイドラインに注意してください。

- 覚えやすく推測されにくいパスワードを選びます。例えば、家族やペットの名前をパスワードに使用しないようにします。
- パスワードは覚え書きしないことをお勧めします。覚え書きする場合は、必ずパスワードを安全な場所に保管してください。
- パスワードは他人と共有しないようにします。
- パスワードの入力を他人に見られないようにします。

注意: パスワードは、コンピュータやハードドライブのデータに対して高度なセキュリティ機能を提供します。ただし、この機能だけでは万全ではありません。セキュリティをより確実なものにする必要がある場合、スマートカード、またはデータ暗号化プログラムなどを追加します。

Microsoft® Windows® の **コントロールパネル** で **ユーザーアカウント** オプションを使用して、ユーザーアカウントを作成したり、パスワードを変更します。ユーザーパスワードを作成したら、コンピュータの電源を入れる際やロックを解除する度にユーザーパスワードを入力する必要があります。2 分以内にパスワードを入力しないと、自動的に直前の状態に戻ります。

詳細については、Windows のマニュアルを参照してください。

コンピュータ追跡ソフトウェア

コンピュータ追跡ソフトウェアは、コンピュータを紛失したり盗難に遭った場合に、コンピュータの位置を突き止めることができます。このソフトウェアはオプションです。Dell コンピュータの注文時に購入するか、このセキュリティ機能に関して、デルの営業担当者にお問い合わせください。

メモ: コンピュータ追跡ソフトウェアは、すべての国で使用できるとは限りません。

メモ: コンピュータ追跡ソフトウェアを備えたコンピュータが紛失したり盗難に遭った場合は、追跡サービスを提供する会社にコンピュータの紛失を届け出てください。

コンピュータを紛失するか盗難に遭った場合

- 警察に、コンピュータの紛失または盗難を届け出ます。コンピュータのサービスタグも合わせて連絡します。サービスタグは、コンピュータのバッテリー実装部の中にあります（バッテリーの取り外しを参照）。警察署の名前、住所、電話番号の他、届け出番号が指定されたら控えておきます。できれば、応対した担当者の名前も尋ねておきます。

メモ: コンピュータを紛失した場所または盗難に遭った場所を覚えている場合、その地域の警察に届け出ます。覚えていない場合は、現在住んでいる地域の警察に届け出てください。

- コンピュータが会社所有の場合は、会社の担当部署へ連絡します。
- デルカスタマーサービスに、コンピュータの紛失を届け出ます。コンピュータのサービスタグ、警察への届け出番号、コンピュータの紛失を届け出た警察の名称、住所、電話番号をお知らせください。できれば、担当者名もお知らせください。

デルのカスタマーサービス担当者は、コンピュータのサービスタグをもとに、コンピュータを紛失または盗難に遭ったコンピュータとして登録します。連絡されたサービスタグを使ってデルテクニカルサポートに連絡した人物がいた場合、そのコンピュータは自動的に紛失または盗難に遭ったものと認識されます。担当者は連絡してきた人物の電話番号と住所の照会を行います。その後、デルは紛失または盗難に遭ったコンピュータについて警察に連絡を取ります。

目次に戻る

目次に戻る

コンピュータのセットアップ

Dell™ XPS™ M2010 オーナーズマニュアル

インターネットへの接続

メモ: ISP および ISP が提供するオプションは国によって異なります。

インターネットに接続するには、モデムまたはネットワーク接続、および ISP(インターネットサービスプロバイダ)が必要です。ISP は、1 つまたは複数の以下のインターネット接続オプションを提供します。

- 電話回線を経由してインターネットにアクセスできるダイヤルアップ接続。ダイヤルアップ接続は、DSL やケーブルモデム接続に比べて速度がかなり遅くなります。
- 既存の電話回線を経由して高速のインターネットアクセスを提供する DSL 接続。DSL 接続では、インターネットにアクセスしながら同時に同じ回線で電話を使用することができます。
- 既存のケーブルテレビ回線を経由して高速のインターネットアクセスを提供するケーブルモデム接続。

ダイヤルアップ接続をお使いの場合は、インターネット接続をセットアップする前に、コンピュータのモデムコネクタおよび壁の電話コンセントに電話線を接続します。DSL またはケーブルモデム接続をお使いの場合、セットアップ手順についてはご利用の ISP にお問い合わせください。

インターネット接続のセットアップ

デスクトップ上にある既存の ISP のショートカットを使用してインターネット接続をセットアップするには、次の手順を実行します。

1. 開いているファイルをすべて保存してから閉じ、実行中のプログラムをすべて終了します。
2. Microsoft® Windows® デスクトップで ISP のアイコンをダブルクリックします。
3. 画面の手順に従ってセットアップを完了します。

デスクトップに ISP のアイコンがない場合、または別の ISP を使ってインターネット接続をセットアップしたい場合は、次の手順を実行します。

1. 開いているファイルをすべて保存してから閉じ、実行中のプログラムをすべて終了します。
2. **スタート** ボタンをクリックして、**Internet Explorer** をクリックします。

   新しい接続ウィザード が表示されます。
3. **インターネットに接続する** をクリックします。
4. 次のウィンドウで、該当する以下のオプションをクリックします。
   - ISP と契約されておらず、その 1 つを選びたい場合、**インターネットサービスプロバイダ(ISP)の一覧から選択する** をクリックします。
   - お客様の ISP からセットアップ情報を入手済みであるがセットアップディスクをお持ちでない場合、**接続を手動でセットアップする** をクリックします。
   - セットアップディスクをお持ちの場合、**ISP から提供された CD を使用する** をクリックします。
5. **次へ** をクリックします。

   接続を手動でセットアップする を選んだ場合、6 ステップ に進みます。それ以外の場合は、画面の手順に従ってセットアップを完了してください。

メモ: どの種類の接続を選んだらよいかわからない場合は、ご契約の ISP にお問い合わせください。

6. **インターネットにどのように接続しますか?** で設定するオプションをクリックし、**次へ** をクリックします。
7. ISP から提供されたセットアップ情報を使って、セットアップを完了します。

インターネットにうまく接続できない場合、E-メール、モデム、およびインターネットの問題を参照してください。過去にインターネットに正常に接続できていたのに接続できない場合、ISP のサービスが停止している可能性があります。サービスの状態について ISP に確認するか、後でもう一度接続してみてください。

新しいコンピュータへの情報の転送

Microsoft Windows XP のオペレーティングシステムでは、ソースコンピュータから新しいコンピュータにデータを転送するためのファイルと設定の転送ウィザードを提供しています。下記のデータが転送できます。

- E-メールメッセージ
- ツールバーの設定
- ウィンドウのサイズ
- インターネットのブックマーク

新しいコンピュータにネットワーク接続を介してデータを転送したり、新しいコンピュータに転送するためにデータを書き込み可能 CD などのリムーバブルメディアに保存することができます。

 **メモ:** 2 台のコンピュータで直接ケーブルを設置する手順に関しては、マイクロソフトのウェブサイトにて「直接ケーブル接続を構成する方法」という文書を参照してください。この情報は、特定の国では使用できない場合もあります。

新しいコンピュータに情報を転送するには、ファイルと設定の転送ウィザードを実行する必要があります。このプロセスを実行するには、オプションの『オペレーティングシステム』インストールメディアを使用するか、またはファイルと設定の転送ウィザードユーティリティでウィザードディスクを作成します。

オペレーティングシステムインストールメディアでファイルと設定の転送ウィザードを使用する場合

 **メモ:** 『オペレーティングシステム』インストールメディアはオプションのため、お使いのコンピュータに付属していない場合があります。

新しいコンピュータにファイルを転送する準備をします

1. **スタート**→ **すべてのプログラム**→ **アクセサリ**→ **システムツール**→ **ファイルと設定の転送ウィザード** をクリックして、ファイルと設定の転送ウィザードを起動します。
2. **ファイルと設定の転送ウィザードの開始** 画面が表示されたら、**次へ** をクリックします。
3. **これはどちらのコンピュータですか?** 画面で **転送先の新しいコンピュータ** をクリックし、**次へ** をクリックします。
4. **Windows XP CD がありますか?** 画面で **Windows XP CD からウィザードを使います** をクリックして、**次へ** をクリックします。
5. **今、古いコンピュータに行ってください** 画面が表示されたら、古いコンピュータまたはソースコンピュータに行きます。このときに、**次へ** をクリックしないでください。

古いコンピュータからデータをコピーします

1. 古いコンピュータで、Windows XP『オペレーティングシステム』インストールメディアを挿入します。
2. **Microsoft Windows XP へようこそ** 画面で、**追加のタスクを実行する** をクリックします。
3. **実行する操作の選択** で **ファイルと設定を転送する** をクリックします。
4. **ファイルと設定の転送ウィザードの開始** 画面で、**次へ** をクリックします。
5. **これはどちらのコンピュータですか?** 画面で **転送元の古いコンピュータ** をクリックし、**次へ** をクリックします。
6. **転送方法を選択してください** 画面で希望の転送方法をクリックします。
7. **何を転送しますか?** 画面で転送する項目を選択し、**次へ** をクリックします。

   情報がコピーされた後、**ファイルと設定の収集フェーズを処理しています...** 画面が表示されます。

8. **完了** をクリックします。

新しいコンピュータにデータを転送します

1. 新しいコンピュータの **今、古いコンピュータに行ってください** 画面で、**次へ** をクリックします。
2. **ファイルと設定はどこにありますか?** 画面で設定とファイルの転送方法を選択し、**次へ** をクリックします。

   ウィザードは収集されたファイルと設定を読み取り、それらを新しいコンピュータに適用します。

設定とファイルがすべて適用されると、**収集フェーズを処理しています...**画面が表示されます。

3. **完了** をクリックして、新しいコンピュータを再起動します。

オペレーティングシステムインストールメディアを使わずにファイルと設定の転送ウィザードを使用する場合

オプションの『オペレーティングシステム』インストールメディアを使用せずにファイルと設定の転送ウィザードを実行するには、データファイルのバックアップを作成する、ウィザードディスクを作成する必要があります。ウィザードディスクは、新しいコンピュータから古いコンピュータに移動できるように、リムーバブルメディアに作成します。

ウィザードディスクを作成します

1. **スタート→ すべてのプログラム→ アクセサリ→ システムツール→ ファイルと設定の転送ウィザード** をクリックして、ファイルと設定の転送ウィザードを起動します。
2. **ファイルと設定の転送ウィザードの開始** 画面が表示されたら、**次へ** をクリックします。
3. **これはどちらのコンピュータですか?** 画面で **転送先の新しいコンピュータ** をクリックし、**次へ** をクリックします。
4. **Windows XP CD がありますか?** 画面で、**次のドライブでウィザードディスクを作成する:** をクリックして、**次へ** をクリックします。
5. 書き込み可能 CD などのリムーバブルメディアを挿入して、**OK** をクリックします。
6. ディスク作成が完了したら、**古いコンピュータに移動してください** というメッセージが表示されますが、**次へ** はクリックしないでください。
7. 古いコンピュータに移動します。

古いコンピュータからデータをコピーします

1. 古いコンピュータで、ウィザードディスクを挿入します。
2. **スタート** ボタンをクリックして、**ファイル名を指定して実行** をクリックします。
3. **ファイル名を指定して実行** ウィンドウの **名前** フィールドで、**fastwiz**（該当するリムーバブルメディア）へのパスを参照して入力し **OK** をクリックします。
4. **ファイルと設定の転送ウィザードの開始** 画面で、**次へ** をクリックします。
5. **これはどちらのコンピュータですか?** 画面で **転送元の古いコンピュータ** をクリックし、**次へ** をクリックします。
6. **転送方法を選択してください** 画面で希望の転送方法をクリックします。
7. **何を転送しますか?** 画面で転送する項目を選択し、**次へ** をクリックします。

   情報がコピーされた後、**ファイルと設定の収集フェーズを処理しています...** 画面が表示されます。

8. **完了** をクリックします。

新しいコンピュータにデータを転送します

1. 新しいコンピュータの **今、古いコンピュータに行ってください** 画面で、**次へ** をクリックします。
2. **ファイルと設定はどこにありますか?** 画面で設定とファイルの転送方法を選択し、**次へ** をクリックします。画面に表示される指示に従ってください。

   ウィザードは収集されたファイルと設定を読み取り、それらを新しいコンピュータに適用します。

   設定とファイルがすべて適用されると、**収集フェーズを処理しています...** 画面が表示されます。

3. **完了** をクリックして、新しいコンピュータを再起動します。

プリンタのセットアップ

注意: オペレーティングシステムのセットアップを完了してから、プリンタをコンピュータに接続してください。

以下の手順を含むセットアップ情報については、プリンタに付属のマニュアルを参照してください。

- アップデートされたドライバの入手とインストール
- プリンタのコンピュータへの接続
- 給紙およびトナー、またはインクカートリッジの取り付け

テクニカルサポートが必要な場合、プリンタのオーナーズマニュアルを参照するか、プリンタの製造元にお問い合わせください。

プリンタケーブル

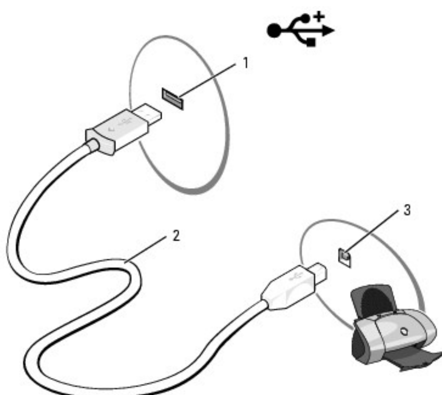
お使いのプリンタは、USB ケーブルを使用してコンピュータに接続します。プリンタにはプリンタケーブルが付属されていない場合があります。ケーブルを別に購入する際は、プリンタおよびコンピュータと互換性があることを確認してください。お使いのコンピュータと同時にプリンタケーブルをご購入された場合、ケーブルはコンピュータが梱包されている箱に同梱されていることがあります。

USB プリンタの接続

メモ: USB デバイスは、コンピュータに電源が入っている状態でも、接続することができます。

1. オペレーティングシステムをまだセットアップしていない場合は、セットアップを完了します。

2. コンピュータとプリンタの USB コネクタに USB プリンタケーブルを差し込みます。USB コネクタは決まった方向にだけ差し込めるようになっています。



1	コンピュータの USB コネクタ	2	USB プリンタケーブル	3	プリンタのコネクタ

3. プリンタの電源を入れてから、コンピュータの電源を入れます。**ハードウェアの追加ウィザード** ウィンドウが表示されたら、**キャンセル** をクリックします。

4. 必要に応じて、プリンタドライバをインストールします。プリンタに付属のマニュアルを参照してください。

電源保護装置

電圧変動や電力障害の影響からシステムを保護するために、電源保護装置が利用できます。

- サージプロテクタ
- ラインコンディショナ
- 無停電電源装置（UPS）

サージプロテクタ

サージプロテクタやサージプロテクション機能付き電源タップは、雷雨中または停電の後に発生する恐れのある電圧スパイクによるコンピュータへの損傷を防ぐために役立ちます。サージプロテクタの製造業者によっては、特定の種類の損傷に対して保証範囲を設けています。サージプロテクタを選ぶ際は、装置の保証書をよくお読みください。ジュール定格が高いほど、デバイスをより保護できます。ほかの装置と比較して有効性を判断するには、ジュール定格を比較します。

注意: ほとんどのサージプロテクタには、電力の変動または落雷による電撃に対する保護機能はありません。お住まいの地域で雷が発生した場合は、電話線を電話ジャックから抜いて、さらにコンピュータをコンセントから抜いてください。

サージプロテクタの多くは、モデムを保護するための電話ジャックを備えています。モデム接続の手順については、サージプロテクタのマニュアルを参照してください。

注意: すべてのサージプロテクタが、ネットワークアダプタを保護できるわけではありません。雷雨時は、必ずネットワークケーブルを壁のネットワークジャックから抜いてください。

ラインコンディショナ

注意: ラインコンディショナには、停電に対する保護機能はありません。

ラインコンディショナは AC 電圧を適切に一定のレベルに保つよう設計されています。

無停電電源装置（UPS）

注意: データをハードドライブに保存している間に電力が低下すると、データを損失したりファイルが損傷したりする恐れがあります。

メモ: バッテリーの最大駆動時間を確保するには、お使いのコンピュータのみを UPS に接続します。プリンタなどその他のデバイスは、サージプロテクションの付いた別の電源タップに接続します。

UPS は電圧変動および停電からの保護に役立ちます。UPS 装置は、AC 電源が切れた際に、接続されているデバイスへ一時的に電力を供給するバッテリーを備えています。バッテリーは AC 電源が利用できる間に充電されます。バッテリーの駆動時間についての情報、および装置が UL（Underwriters Laboratories）規格に適合しているか確認するには、UPS 製造業者のマニュアルを参照してください。

目次に戻る

[目次に戻る]

セットアップユーティリティ

Dell™ XPS™ M2010 オーナーズマニュアル

概要

メモ: セットアップユーティリティにおける使用可能なオプションのほとんどは、オペレーティングシステムによって自動的に設定され、ご自身がセットアップユーティリティで設定したオプションを無効にします。(**External Hot Key** オプションは例外で、セットアップユーティリティからのみ有効または無効に設定できます。)オペレーティングシステムの設定機能の詳細に関しては、ヘルプとサポートセンターを参照してください。Windows ヘルプとサポートセンターを参照してください。

セットアップユーティリティは以下のような場合に使用します。

- ユーザーが選択可能な機能を設定、または変更する場合
- システムのメモリ容量など現在の設定情報を確認する場合

コンピュータをセットアップした後で、セットアップユーティリティを起動して、システム設定情報とオプション設定を確認する場合。後で参照できるように、画面の情報を控えておいてください。

セットアップユーティリティ画面では、以下のような現在のコンピュータのセットアップ情報や設定が表示されます。

- システム設定
- 起動順序
- 起動設定およびドッキングデバイス構成の設定
- 基本デバイス構成の設定
- システムセキュリティの設定

注意: 熟練したコンピュータのユーザーであるか、または Dell™ テクニカルサポートから指示された場合を除き、セットアップユーティリティの設定を変更しないでください。設定を間違えるとコンピュータが正常に動作しなくなる可能性があります。

セットアップユーティリティ画面の表示

1. コンピュータの電源を入れます(または再起動します)。
2. DELL™ のロゴが表示されたらすぐに <F2> を押します。

   メモ: キーボードはキーストロークを認識できるよう動作している必要があります。タッチパッドに触れて、キーボードが認識可能なことを確認してください。

   ここで時間をおきすぎて、Microsoft® Windows® ロゴが表示された場合、Windows デスクトップが表示されるまで待ちます。次に、コンピュータをシャットダウンして、もう一度やりなおします。

セットアップユーティリティ画面

メモ: セットアップユーティリティ画面上の特定のオプションの情報を参照するには、そのオプションをハイライト表示して、画面の **Help** 領域を参照してください。

セットアップユーティリティでは、設定の主要項目が左側に一覧表示されます。項目内の設定のタイプを表示するには、その項目をハイライト表示して <Enter> を押します。設定タイプをハイライト表示すると、その設定タイプの値が画面の右側に表示されます。画面の明るい色で表示されているオプションの設定は、変更することができます。コンピュータで自動設定され、変更できない設定値は、明るさを抑えた色で表示されています。

画面の下部には、セットアップユーティリティで使用できるキーの機能が表示されています。

通常使用する設定

特定の設定では、新しい設定を有効にするためにコンピュータを再起動する必要があります。

起動順序の変更

起動順序は、オペレーティングシステムを起動するのに必要なソフトウェアがどこにあるかをコンピュータに知らせます。**System** 項目にある **Boot Sequence** ページでは、起動順序をコントロールしてデバイスを有効または無効にすることができます。

メモ: 一回のみ起動順序を変更するには、一回きりの起動の実行を参照してください。

Boot Sequence ページでは、お使いのコンピュータに搭載されている起動可能なデバイスの一般的なリストが表示されます。以下のような項目がありますが、これ以外の項目が表示されることもあります。

- **Modular bay HDD**
- **Internal HDD**
- **CD/DVD/CD-RW drive**

起動ルーチン中に、コンピュータは有効なデバイスをリストの先頭からスキャンし、オペレーティングシステムのスタートアップファイルを検索します。コンピュータがファイルを検出すると、検索を終了してオペレーティングシステムを起動します。

起動デバイスを制御するには、上矢印キーまたは下矢印キーを押してデバイスを選び（ハイライト表示し）ます。これでデバイスを有効または無効にしたり、一覧の順序を変更したりできます。

- デバイスを有効または無効にするには、アイテムをハイライト表示して、スペースキーを押します。有効なアイテムは白く表示され、左側に小さな三角形が表示されます。無効なアイテムは青色または暗く表示され、三角形は付いていません。
- デバイス一覧を再び指示するには、デバイスをハイライト表示して、<U> または <D>（大文字と小文字を区別しない）を押して、ハイライト表示されたデバイスを上または下に動かします。

新しい起動順序は、変更を保存し、セットアップユーティリティを終了するとすぐに有効になります。

一回きりの起動の実行

セットアップユーティリティを起動せずに、一回だけの起動順序が設定できます。（ハードドライブ上の診断ユーティリティパーティションにある Dell Diagnostics（診断）プログラムを起動するためにこの手順を使うこともできます。）

1. **スタート** メニューから、コンピュータをシャットダウンします。
2. コンピュータをコンセントに接続します。
3. コンピュータの電源を入れます。DELL のロゴが表示されたらすぐに <F12> を押します。

   メモ: キーボードはキーストロークを認識できるよう動作している必要があります。タッチパッドに触れて、キーボードが認識可能なことを確認してください。

   ここで時間をおきすぎて Windows のロゴが表示されたら、Windows のデスクトップが表示されるまで待ちます。次に、コンピュータをシャットダウンして、もう一度やりなおします。

4. 起動デバイス一覧が表示された場合は、起動したいデバイスをハイライト表示して、<Enter> を押します。

   コンピュータは選択されたデバイスを起動します。

次回コンピュータを再起動するときは、以前の起動順序に戻ります。

RAID 構成について

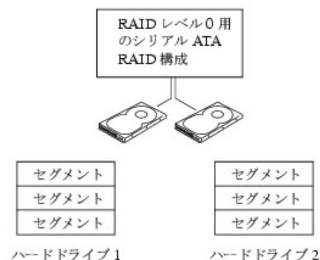
この項では、コンピュータのご購入時に選択された可能性のある RAID 構成の概要について説明します。RAID 構成にはいくつかの種類がありますが、デルでは Dell™ XPS™ M2010 コンピュータに RAID レベル 0 構成または RAID レベル 1 構成のいずれかを提供しています。RAID レベル 0 構成は、ハイパフォーマンスコンピューティングや高性能ゲーム用に、また RAID レベル 1 構成はデジタル写真 / オーディオ用のデータの整合性要件用にお勧めします。

お使いのコンピュータの Intel® RAID コントローラでは、2 台の物理ドライブを使用した RAID レベル 0 構成のみを作成できます。

メモ: RAID レベルは、性能による序列を示すものではありません。RAID レベル 1 構成が、本質的に RAID レベル 0 構成より質の上で優れていたり、劣ったりしているわけではないということです。

RAID レベル 0 構成

RAID レベル 0 構成は、「データストライピング」というストレージ技術を使用して、高いデータアクセス速度を提供します。データストライピングは、データの連続したセグメント（またはストライプ）を物理ドライブに順次書き込み、より大きな仮想ドライブを作成します。データストライピングを使うと、1 つのドライブでデータを読み出している間に、別のドライブで次のブロックを探しながら読み出すことができます。



RAID レベル 0 のもう 1 つの利点は、ドライブの最大容量を利用できることです。例えば、100 GB のドライブを 2 つ搭載している場合、データの保存に 200 GB が使用されます。

注意: RAID レベル 0 構成はデータの冗長性を提供しないので、1 つのドライブが故障した場合、別のドライブのデータにもアクセスできなくなります。したがって、RAID レベル 0 構成を使用する際は、定期的なバックアップを行ってください。

RAID レベル 1 構成

RAID レベル 1 は、「ミラーリング」として知られるデータの冗長性保存技術を使用します。データはプライマリドライブに書き込まれると、他のドライブに複製、つまりミラーリングされます。RAID レベル 1 構成では、データの冗長性のためにデータアクセス速度が犠牲になります。



ドライブが故障すると、次の読み出し / 書き込み動作は、正常に動作しているドライブで行われます。正常に動作しているドライブを使って、交換用のドライブでデータを再構築することができます。また、データは両方のドライブで複製されるので、2 台の 120 GB のハードドライブを使用する RAID レベル 1 構成では、データの保存に最大 120 GB を利用できます。

コンピュータの RAID への構成

コンピュータ購入時に RAID 構成を選んでいない場合でも、コンピュータを RAID に構成する必要がでてくることがあります。RAID 構成をセットアップするには、少なくとも 2 台のハードドライブがコンピュータに取り付けてある必要があります。

メモ: お使いのコンピュータは、RAID を注文しているかどうかに関わらず、デフォルトで **RAID On** に構成されています。

RAID ハードドライブボリュームを構成する手順は 2 種類あります。1 つは、Intel RAID Option ROM ユーティリティを使用する方法で、これはオペレーティングシステムをハードドライブにインストールする前に実行されます。2 つ目は、Intel Matrix Storage Manager、または Intel Matrix Storage Console を使用する方法で、これはオペレーティングシステムおよび Intel Matrix Storage Console をインストールした後で実行されます。いずれの場合でも、本書の RAID 構成手順を始める前に、コンピュータを RAID 対応モードに設定する必要があります。

コンピュータの RAID 対応モードへの設定

1. セットアップユーティリティを起動します（セットアップユーティリティ画面の表示を参照）。
2. 上下矢印キーを押して **Onboard Devices** をハイライト表示し、<Enter> を押します。
3. 上下矢印キーを押して **SATA Operation** をハイライト表示し、<Enter> を押します。
4. 左右矢印キーを押して **RAID On** をハイライト表示し、<Enter> を押します。
5. 設定が **RAID Autodetect/ATA** から **RAID On** に変更されると、ポップアップウィンドウが表示されます。ポップアップウィンドウが表示されたら、左右矢印キーを押して **Yes** をハイライト表示し、<Enter> を押します。

   設定が変更されなかった場合、ポップアップウィンドウは表示されません。6 ステップ に進みます。

6. <Esc> を押します。

メモ: RAID オプションの詳細に関しては、セットアップユーティリティ画面を参照してください。

7. 左右矢印キーを押して **Save/Exit** をハイライト表示し、<Enter> を押して、セットアップユーティリティを終了し、起動プロセスを再開します。

Intel RAID Option ROM ユーティリティを使用した RAID の構成

メモ: Intel RAID Option ROM ユーティリティを使用した RAID 構成の作成では、任意のサイズのドライブを使用できますが、同じサイズのドライブを使用することが理想的です。RAID レベル 0 構成では、構成のサイズは、最小ドライブサイズに構成内のドライブの台数（2）を掛けた値になります。RAID レベル 1 構成では、構成のサイズは、使用される 2 つのドライブの小さいほうのサイズになります。既存のデータを移行する場合は、Intel Matrix Storage Manager を使用した RAID の構成を参照してください。

RAID レベル 0 構成または RAID レベル 1 構成の作成

注意: 次の手順で RAID 構成を作成すると、ハードドライブのすべてのデータを失います。続行する前に、必要なデータのバックアップを作成してください。

メモ: 次の手順は、オペレーティングシステムを再インストールする場合にのみ実行してください。既存のストレージ構成を RAID レベル 0 構成に移行するときには、この手順を使用しないでください。

1. コンピュータを RAID 対応モードに設定します（コンピュータの RAID 対応モードへの設定を参照）。

2. Intel RAID Option ROM ユーティリティを起動するよう要求されたら、<Ctrl><i> を押します。

3. 上下矢印キーを押して **RAID ボリュームの作成** をハイライト表示し、<Enter> を押します。

4. RAID ボリューム名を入力するか、デフォルトを使用して、<Enter> を押します。

5. RAID 0 の場合、上下矢印キーを押して **RAID0（Stripe）**を選択し、<Enter> を押します。RAID 1 の場合、上下矢印キーを押して **RAID1（Mirror）** を選択し、<Enter> を押します。

6. 上下矢印キーとスペースバーを押して、構成に使用する 2 台または 3 台のドライブを選択し、<Enter> を押します。

メモ: RAID 0 の場合、RAID ボリュームに保存する平均ファイルサイズに最も近いストリップサイズを選択します。平均ファイルサイズが分からない場合、ストライプサイズとして 128 KB を選択してください。

7. RAID 0 の場合、上下矢印キーを押してストリップサイズを変更し、<Enter> を押します。RAID 1 の場合、8 ステップ に進みます。

8. ボリュームのサイズを選択して、<Enter> を押します。デフォルト値は、使用可能な最大サイズです。

9. <Enter> を押し、ボリュームを作成します。

10. <y> を押して、RAID ボリュームを作成することを確認します。

11. Intel RAID Option ROM ユーティリティのメイン画面で、正しいボリューム構成が表示されていることを確認します。

12. 上下矢印キーを押して **Exit** を選択し、<Enter> を押します。

13. オペレーティングシステムをインストールします。

RAID ボリュームの削除

メモ: この操作を実行すると、RAID ドライブのすべてのデータが失われます。

メモ: RAID 0 の場合のみ、コンピュータが現在 RAID から起動するようになっていて、Intel RAID Option ROM ユーティリティの RAID ボリュームを削除すると、コンピュータは起動不可能になります。

1. Intel RAID Option ROM ユーティリティを起動するよう要求されたら、<Ctrl><i> を押します。

2. 上下矢印キーを使用して、**Delete RAID Volume** をハイライト表示し、<Enter> を押します。

3. 上下矢印キーを使用して、削除する RAID ボリュームをハイライト表示し、<Delete> を押します。

4. <y> を押して、RAID ボリュームを削除することを確認します。

5. <Esc> を押して、Intel RAID Option ROM ユーティリティを終了します。

Intel Matrix Storage Manager を使用した RAID の構成

オペレーティングシステムがすでにインストールされているハードドライブがあり、そのオペレーティングシステムやデータを失うことなく、2 台目のハードドライブを追加して、両方のハードドライブを RAID ボリュームに再構成する場合、移行オプションを使用する必要があります（RAID レベル 0 構成または RAID レベル 1 構成への移行を参照）。

RAID ボリュームの削除

メモ: この手順では、RAID 1 ボリュームを削除しますが、RAID 1 ボリュームをパーティションで 2 つの RAID 以外のハードドライブに分割し、既存のデータファイルをそのまま残します。

1. **スタート** ボタンをクリックし、**すべてのプログラム→ Intel Matrix Storage Manager → Intel Matrix Storage Console** とポイントして、Intel Storage Console を始動します。
2. 削除する RAID ボリュームの **ボリューム** アイコンを右クリックして、**ボリュームの削除** を選択します。
3. **RAID ボリュームの削除ウィザード** 画面で、**次へ** を選択します。
4. 削除する RAID ボリュームを **Available** ボックスでハイライトします。次に、右矢印ボタンをクリックし、ハイライトした RAID ボリュームを **利用可能** ボックスに移動させ、**次へ** をクリックします。
5. **完了** をクリックして、ボリュームを削除します。

RAID レベル 0 構成または RAID レベル 1 構成への移行

1. コンピュータを RAID 対応モードに設定します（コンピュータの RAID 対応モードへの設定を参照）。
2. **スタート** ボタンをクリックし、**すべてのプログラム→ Intel Matrix Storage Manager → Intel Matrix Storage Console** とポイントして、Intel Storage Console を始動します。

メモ: **アクション** メニューオプションが表示されていない場合、コンピュータは RAID 対応モードに設定されていません（コンピュータの RAID 対応モードへの設定を参照）。

3. **アクション** メニューで、**既存のハードドライブからの RAID ボリュームの作成** を選択して、移行ウィザードを起動します。
4. 移行ウィザード画面で **次へ** をクリックします。
5. RAID ボリューム名を入力するか、デフォルトを使用します。
6. RAID 0 の場合、ドロップダウンボックスから RAID レベルに **RAID 0** を選択します。RAID 1 の場合、ドロップダウンボックスから RAID レベルに **RAID 1** を選択します。

メモ: RAID ボリュームに保存する平均ファイルサイズに最も近いストリップサイズを選択します。平均ファイルサイズが分からない場合、ストライプサイズとして 128 KB を選択してください。

7. RAID 0 の場合、ドロップダウンボックスから適切なストリップサイズを選択し、**次へ** をクリックします。RAID 1 の場合、8 ステップ に進みます。

メモ: ソースハードドライブとして使用するハードドライブを選択します（RAID ボリュームに保持しておきたいデータまたはオペレーティングシステムファイルが保存されたハードドライブであることが必要です）。

8. **ハードドライブの選択** 画面で、移行するハードドライブをダブルクリックして、**次へ** をクリックします。
9. **メンバーハードドライブの選択** 画面で、ハードドライブをダブルクリックし、アレイのメンバードライブを選択して、**次へ** をクリックします。
10. RAID 0 の場合、**ボリュームサイズの指定** 画面で、希望する **ボリュームサイズ** を選択し、**次へ** をクリックします。
RAID 1 の場合、11 ステップ に進みます。

メモ: 次の手順では、メンバードライブに保存されているすべてのデータが消去されます。

11. **完了** をクリックして移行を開始するか、**戻る** をクリックして内容を変更します。移行プロセス中でも、コンピュータを通常通りに使用できます。

機能性が低下した RAID レベル 1 構成の再構築

お使いのコンピュータで RAID レベル 1 ボリュームの機能性が低下しているという報告があった場合、ハードドライブの交換についてデルにお問い合わせください。デルへのお問い合わせを参照してください。

コンピュータの冗長性ミラーは、以下の手順を実行して、手動で新しいハードドライブに再構築できます。

1. **スタート** ボタンをクリックし、**すべてのプログラム→ Intel Matrix Storage Manager → Intel Matrix Storage Console** とポイントして、Intel Storage Console を始動します。

2. 使用できるハードドライブから RAID レベル 1 ボリュームを再構築するハードドライブを右クリックして、**Rebuild to this Disk**（このディスクに再構築する）をクリックします。

コンピュータが RAID レベル 1 ボリュームを再構築している場合でも、コンピュータを使用できます。

目次に戻る

[目次に戻る](#)

ソフトウェアの再インストール

Dell™ XPS™ M2010 オーナーズマニュアル

ドライバ

ドライバとは?

ドライバは、プリンタ、マウス、キーボードなどのデバイスを制御するプログラムです。すべてのデバイスにドライバプログラムが必要です。

ドライバは、デバイスとそのデバイスを使用するプログラム間の通訳のような役目をします。各デバイスは、そのデバイスのドライバだけが認識する専用のコマンドセットを持っています。

お使いの Dell コンピュータには、出荷時に必要なドライバおよびユーティリティがすでにインストールされていますので、新たにインストールしたり設定したりする必要はありません。



注意:『Drivers and Utilities』ディスクには、お使いのコンピュータには搭載されていないオペレーティングシステムのドライバが含まれていることがあります。インストールするソフトウェアがオペレーティングシステムに対応していることを確認してください。

キーボードドライバなど、ドライバの多くは Microsoft® Windows® オペレーティングシステムに付属しています。以下の場合には、ドライバをインストールする必要があります。

- オペレーティングシステムのアップグレード
- オペレーティングシステムの再インストール
- 新しいデバイスの接続または取り付け

ドライバの識別

デバイスに問題が発生した場合、問題の原因がドライバかどうかを判断し、必要に応じてドライバをアップデートしてください。

1. **スタート** ボタンをクリックして、**コントロールパネル** をクリックします。
2. **作業する分野を選びます** で、**パフォーマンスとメンテナンス** をクリックします。
3. **システム** をクリックします。
4. **システムのプロパティ** ウインドウの**ハードウェア** タブをクリックします。
5. **デバイスマネージャ** をクリックします。
6. 一覧を下にスクロールして、デバイスアイコンに感嘆符（[**!**]の付いた黄色い丸）が付いているものがないか確認します。

   デバイス名の横に感嘆符がある場合、ドライバの再インストールまたは新しいドライバのインストールが必要な場合があります。ドライバとユーティリティの再インストールを参照してください。

ドライバとユーティリティの再インストール



注意: デルサポートサイト **support.jp.dell.com** や『Drivers and Utilities』メディアでは、Dell コンピュータ向けに承認されているドライバが提供されています。その他の媒体からドライバをインストールする場合、お使いのコンピュータが適切に動作しない恐れがあります。

Windows XP デバイスドライバのロールバックの使い方

新たにドライバをインストールまたはアップデートした後に、コンピュータに問題が発生した場合、Windows XP のデバイスドライバのロールバックを使用して、以前にインストールしたバージョンのドライバに置き換えることができます。

1. **スタート** ボタンをクリックして、**コントロールパネル** をクリックします。
2. **作業する分野を選びます** で、**パフォーマンスとメンテナンス** をクリックします。
3. **システム** をクリックします。

4. **システムのプロパティ** ウインドウの**ハードウェア** タブをクリックします。

5. **デバイスマネージャ** をクリックします。

6. 新しいドライバをインストールしたデバイスを右クリックしてから、**プロパティ** をクリックします。

7. **ドライバ** タブをクリックします。

8. **ドライバのロールバック** をクリックします。

デバイスドライバのロールバックを実行しても問題が解決されない場合、システムの復元を使用して、オペレーティングシステムを新しいドライバがインストールされる前の動作状態に戻してみます。Microsoft Windows XP のシステムの復元の使い方を参照してください。

Drivers and Utilities ディスクの使い方

デバイスドライバのロールバックやシステムの復元を使用しても問題が解決されない場合は、『Drivers and Utilities』からドライバを再インストールします。

1. Windows デスクトップが表示されたら、『Drivers and Utilities』ディスクを挿入します。

   『Drivers and Utilities』ディスクを初めて使用する場合は、2 ステップに進みます。2 回目以降は5 ステップ に進みます。

2. 『Drivers and Utilities』インストールプログラムが起動したら、画面に表示されるプロンプトに従います。

3. **InstallShield Wizard Complete**（インストールシールドウィザードの完了）ウィンドウが表示されたら、『Drivers and Utilities』ディスクを取り除き、**Finish**（終了）をクリックして、コンピュータを再起動します。

4. Windows デスクトップが表示されたら、『Drivers and Utilities』ディスクを再び挿入します。

5. **Dell システムをお買い上げくださりありがとうございます** 画面で **次へ** をクリックします。

 **メモ:** 『Drivers and Utilities』プログラムでは、工場出荷時にお使いのコンピュータにインストールされたハードウェアのドライバのみを表示します。別にインストールしたハードウェアがある場合、『Drivers and Utilities』プログラムでは新しいハードウェアのドライバを表示しないことがあります。これらのドライバが表示されない場合は、『Drivers and Utilities』プログラムを終了してください。ドライバの詳細に関しては、デバイスに付属のマニュアルを参照してください。

   『Drivers and Utilities』プログラムがコンピュータのハードウェアを検出しているというメッセージが表示されます。

   コンピュータで使用されているドライバは、自動的に **My Drivers - The ResourceCD has identified these components in your system**（マイドライバ - ResourceCD は、これらのコンポーネントをシステムで確認しました）ウィンドウに表示されます。

6. 再インストールするドライバをクリックして、画面の指示に従います。

特定のドライバがリストにない場合、そのドライバは、お使いのオペレーティングシステムでは必要ないということです。

1. 開いているファイルをすべて保存してから閉じ、実行中のプログラムをすべて終了します。

2. 『Drivers and Utilities』ディスクを挿入します。

   通常、『Drivers and Utilities』プログラムが自動的に実行します。実行しない場合は 、Windows エクスプローラを起動し、オプティカルドライブのディレクトリをクリックしてディスクの内容を表示し、次に **autorcd.exe** ファイルをダブルクリックします。プログラムを初めて実行する場合、セットアップファイルをインストールするよう表示されることがあります。**OK** をクリックして、画面の指示に従って続行します。

3. ツールバーの **言語** ドロップダウンメニューから、ドライバまたはユーティリティに適切な言語（利用可能な場合）をクリックします。**Dell システムをお買い上げくださり、ありがとうございます** 画面が表示されます。

4. **次へ** をクリックします。

   『Drivers and Utilities』プログラムは自動的にハードウェアをスキャンして、お使いのコンピュータで使用されているドライバとユーティリティを検出します。

5. プログラムがハードウェアのスキャンを終了したら、他のドライバやユーティリティも検出できます。**検索基準** で、**システムモデル**、**オペレーティングシステム** および **トピック** のドロップダウンメニューから適切なカテゴリを選びます。

   コンピュータで使用される特定のドライバとユーティリティのリンクが表示されます。

6. 特定のドライバまたはユーティリティのリンクをクリックして、インストールするドライバまたはユーティリティについての情報を表示します。

7. **インストール** ボタン（表示されている場合）をクリックして、ドライバまたはユーティリティのインストールを開始します。画面の指示に従ってインストールを完了します。

   インストール ボタンが表示されない場合は、自動インストールを選択できません。インストールの手順については、該当する以下の手順を参照するか、または **解凍** をクリックして展開手順に従い、readme ファイルを参照してください。

   ドライバファイルへ移動するよう指示された場合、ドライバ情報ウィンドウでディレクトリをクリックして、そのドライバに関連するファイルを表示します。

手作業によるドライバの再インストール

1. 前項で記述されているように、お使いのハードドライブにドライバファイルを解凍してから、**スタート** ボタンをクリックして、**マイコンピュータ** を右クリックします。
2. **プロパティ** をクリックします。
3. **ハードウェア** タブをクリックして、**デバイスマネージャ** をクリックします。
4. ドライバをインストールするデバイスのタイプをダブルクリックします（**モデム** や **赤外線デバイス** など）。
5. インストールするドライバのデバイスの名前をダブルクリックします。
6. **ドライバ** タブをクリックして、**ドライバの更新** をクリックします。
7. 一覧または **特定の場所からインストールする（詳細）**をクリックして、**次へ** をクリックします。
8. **参照** をクリックして、あらかじめドライバファイルをコピーしておいた場所を参照します。
9. 適切なドライバの名前が表示されたら、**次へ** をクリックします。
10. **完了** をクリックして、コンピュータを再起動します。

ソフトウェアおよびハードウェアの非互換性の解決

デバイスが OS のセットアップ中に検知されない、または、検知されても設定が正しくない場合は、非互換性の問題を解決するためにハードウェアに関するトラブルシューティングを使用できます。

1. **スタート** ボタンをクリックして、**ヘルプとサポート** をクリックします。
2. **検索** フィールドでハードウェアに関するトラブルシューティング、と入力し次に、矢印をクリックして検索を始めます。
3. **検索の結果** の一覧で、**ハードウェアに関するトラブルシューティング** をクリックします。
4. **ハードウェアに関するトラブルシューティング** 一覧で、**コンピュータにあるハードウェアの競合を解決します** をクリックして、**次へ** をクリックします。

お使いのオペレーティングシステムの復元

次の方法で、お使いのオペレーティングシステムを復元することができます。

- Microsoft Windows XP システムの復元は、データファイルに影響を与えることなく、コンピュータを以前の動作状態に戻します。データファイルを保護しながら、オペレーティングシステムを復元する最初の解決策として、システムの復元を使用してください。
- コンピュータに『オペレーティングシステム』インストールメディアが付属している場合は、このメディアを使ってオペレーティングシステムを復元できます。ただし、『オペレーティングシステム』インストールメディアを使用すると、ハードドライブのデータはすべて削除されます。システムの復元でオペレーティングシステムの問題を解決できなかった場合のみ、このディスクを使用してください。

Microsoft Windows XP のシステムの復元の使い方

ハードウェア、ソフトウェア、またはその他のシステム設定を変更したためにコンピュータが正常に動作しなくなってしまった場合、Microsoft Windows XP オペレーティングシステムのシステムの復元を使用して、コンピュータを以前の動作状態に復元することができます（データファイルへの影響はありません）。システムの復元の使い方については、Windows ヘルプとサポートセンターを参照してください。Windows ヘルプとサポートセンターにアクセスするには、Windows ヘルプとサポートセンターを参照してください。

注意: データファイルのバックアップを定期的に作成してください。システムの復元は、データファイルの変更を監視したり、データファイルを復元することはできません。

メモ: このマニュアルの手順は、Windows のデフォルトビュー用ですので、お使いの Dell コンピュータを Windows クラシック表示に設定していると動作しない場合があります。

復元ポイントの作成

1. **スタート** ボタンをクリックして、**ヘルプとサポート** をクリックします。
2. **システムの復元** のタスクをクリックします。

3. 画面の指示に従います。

コンピュータの以前の動作状態への復元

デバイスドライバをインストールした後に問題が発生した場合、まずデバイスドライバロールバック(Windows XP デバイスドライバのロールバックの使い方を参照)を使用してみます。それでも問題が解決しない場合は、システムの復元を使用します。

 **注意:** コンピュータを前の動作状態に復元する前に、開いているファイルをすべて保存してから閉じ、実行中のプログラムをすべて終了します。システムの復元が完了するまでは、いかなるファイルまたはプログラムも変更したり、開いたり、削除しないでください。

1. **スタート** ボタンをクリックし、**すべてのプログラム** → **アクセサリ** → **システムツール** とポイントしてから、**システムの復元** をクリックします。
2. **コンピュータを以前の状態に復元する** が選択されていることを確認して、**次へ** をクリックします。
3. コンピュータを復元したいカレンダーの日付をクリックします。

   復元ポイントの選択 画面に、復元ポイントが選べるカレンダーが表示されます。復元ポイントが利用できる日付は太字で表示されます。

4. 復元ポイントを選択して、**次へ** をクリックします。

   日付の中に復元ポイントが 1 つしかない場合、その復元ポイントが自動的に選択されます。2 つ以上の復元ポイントが利用可能な場合、希望の復元ポイントをクリックします。

5. **次へ** をクリックします。

   システムの復元がデータの収集を完了したら、**復元は完了しました** 画面が表示され、コンピュータが自動的に再起動します。

6. コンピュータが再起動したら、**OK** をクリックします。

復元ポイントを変更するには、別の復元ポイントを使って手順を繰り返すか、または復元を取り消すことができます。

最後のシステムの復元を元に戻す

 **注意:** 最後に行ったシステムの復元を取り消す前に、開いているファイルをすべて保存して閉じ、実行中のプログラムをすべて終了してください。システムの復元が完了するまでは、いかなるファイルまたはプログラムも変更したり、開いたり、削除しないでください。

1. **スタート** ボタンをクリックし、**すべてのプログラム** → **アクセサリ** → **システムツール** とポイントしてから、**システムの復元** をクリックします。
2. **以前の復元を取り消す** を選択して、**次へ** をクリックします。

システムの復元の有効化

200 MB より空容量が少ないハードディスクに Windows XP を再インストールした場合、システムの復元は自動的に無効に設定されます。システムの復元が有効になっているか確認するには、次の手順を実行します。

1. **スタート** ボタンをクリックして、**コントロールパネル** をクリックします。
2. **パフォーマンスとメンテナンス** をクリックします。
3. **システム** をクリックします。
4. **システムの復元** タブをクリックします。
5. **システムの復元を無効にする** にチェックマークが付いていないことを確認します。

オペレーティングシステムインストールメディアの使い方

作業を開始する前に

新しくインストールしたドライバの問題を解消するために Windows XP オペレーティングシステムを再インストールすることを検討する前に、まず Windows XP のデバイスドライバのロールバックを試してみます。Windows XP デバイスドライバのロールバックの使い方を参照してください。デバイスドライバのロールバックを実行しても問題が解決されない場合、システムの復元を使用して、オペレーティングシステムを新しいドライバがインストールされる前の動作状態に戻してみます。Microsoft Windows XP のシステムの復元の使い方を参照してください。

注意: インストールを実行する前に、お使いのプライマリハードドライブ上のすべてのデータファイルのバックアップを作成しておいてください。標準的なハードドライブ構成において、プライマリハードドライブはコンピュータによって 1 番目のドライブとして認識されます。

Windows XP を再インストールするには、以下のアイテムが必要です。

- Dell『オペレーティングシステム』インストールメディア
- Dell『Drivers and Utilities』メディア

メモ: 『Drivers and Utilities』ディスクには、コンピュータの組み立て時に工場でインストールされたドライバが含まれています。『Drivers and Utilities』ディスクを使って、必要なすべてのドライバをロードします。お使いのコンピュータに RAID コントローラがある場合は、そのドライバもロードします。コンピュータを注文した場所により、またはメディアを注文したかによって、『Drivers and Utilities』メディアや『オペレーティングシステム』インストールメディアがお使いのシステムに付属していない場合があります。

Windows XP の再インストール

再インストールプロセスが完了するには 1～2 時間かかることがあります。オペレーティングシステムを再インストールした後、デバイスドライバ、アンチウイルスプログラム、およびその他のソフトウェアを再インストールする必要があります。

注意: 『オペレーティングシステム』インストールメディアは、Windows XP を再インストールするオプションを提供します。オプションはファイルを上書きして、ハードドライブにインストールされているプログラムに影響を与える可能性があります。このような理由から、デルのテクニカルサポート担当者の指示がない限り、Windows XP を再インストールしないでください。

1. 開いているファイルをすべて保存してから閉じ、実行中のプログラムをすべて終了します。
2. 『オペレーティングシステム』インストールメディアを挿入します。`Install Windows XP` のメッセージが表示されたら、**Exit** をクリックします。
3. コンピュータを再起動します。
4. DELL™ のロゴが表示されたらすぐに <F2> を押します。

   オペレーティングシステムのロゴが表示された場合、Windows のデスクトップが表示されるのを待ちます。次に、コンピュータをシャットダウンして、再度試みます。

5. 画面の指示に従ってインストールを完了します。

目次に戻る

目次に戻る

仕様

Dell™ XPS™ M2010 オーナーズマニュアル

プロセッサ	
プロセッサの種類	Intel® Core™ Duo プロセッサ
L1 キャッシュ	64 KB（内蔵）
L2 キャッシュ	2 MB（オンダイ）
外付けバスの周波数	533 または 667 MHz

システム情報	
システムチップセット	Mobile Intel 945
データバス幅	64 ビット
DRAM バス幅	64 ビット
プロセッサアドレスバス幅	36 ビット

メモリ	
メモリモジュールコネクタ	ユーザーがアクセス可能な SODIMM ケット × 2
メモリモジュールの容量	256、512、1024 MB、2 GB
メモリのタイプ	デュアルチャネル 533/667 DDRII SDRAM
最小メモリ	512 MB
最大搭載メモリ	4 GB

ポートとコネクタ	
オーディオ	マイク入力コネクタ、ステレオヘッドフォン / スピーカーコネクタ
IEEE 1394a	パワードではない 4 ピンミニコネクタ
モデム	RJ-11 ポート
ネットワークアダプタ	RJ-45 ポート
S ビデオ TV 出力	7 ピンミニ DIN コネクタ（コンポジットビデオアダプタケーブル対応 S ビデオおよびコンポーネントビデオアダプタケーブル対応 S ビデオはオプション）
USB	4 ピン USB 2.0 対応コネクタ X 4
DVI-I（デジタルビデオインタフェース）	24 ピンコネクタ
オーディオ /IR ブラスタコネクタ	

通信	
モデム:	
タイプ	v.92 56K MDC
コントローラ	ソフトモデム
インタフェース	Intel ハイ・デフィニッション・オーディオバス
ネットワークアダプタ	システム基板の 1 GB Ethernet LAN
ワイヤレス	内蔵ワイヤレス LAN および Bluetooth® ワイヤレス対応、ExpressCard を介したワイヤレス WAN

グラフィックス	
コントローラ	ATI Radeon Mobility X1800
データバス	PCI Express X16
ビデオメモリ	256 MB DDR3
LCD インタフェース	LVDS
テレビサポート	NTSC および PAL（S ビデオ、コンポジット、またはコンポーネント出力）、HDTV（コンポーネント出力、または HDCP を使用した DVI）

オーディオ	
オーディオタイプ	HDA（ハイ・デフィニッション・オーディオ）（ソフトオーディオ）
オーディオコントローラ	SigmaTel STAC9220
ステレオ変換	24 ビット（ステレオ DA 変換） 24 ビット（ステレオ AD 変換）
インタフェース：	
内蔵	HDA（ハイ・デフィニッション・オーディオ）バス
外付け	マイクミニコネクタ、ステレオヘッドフォン / スピーカーミニコネクタ
スピーカー	ディスプレイに 4 Ω スピーカー × 8（合計 16 Ω） ベースに 12 Ω サブウーハースピーカー × 1
内蔵スピーカーアンプ	ディスプレイにチャネル毎 5 W（16 Ω）（合計 10 W）ベースにチャネル毎 5 W（12 Ω）サブウーハー（合計 5 W）合計 15 W のシステム電力
ボリュームコントロール	ショートカットキーまたはプログラムメニュー

ディスプレイ	
タイプ（アクティブマトリックス TFT）	WSXGA+
寸法：	
縦幅	453.5 mm（標準）
横幅	294.5 mm（標準）
対角線	511.1 mm（標準）
動作角度	0（閉じた状態）～ 180
可視角度：	
水平方向	85/85
垂直方向	85/85
アスペクト比	16 : 10
ピクセルピッチ	0.2588 mm
RGB 対応	国際標準の色の再現性
8 ビットの色の深み	16,700,000 色
表面処理	グレア偏光子
消費電力（背面ライト付きパネル）	16.6 W（標準）
コントロール	輝度はショートカットキーによって調節可能

キーボード	
システムベースに対するワイヤレスインタフェース（Bluetooth ワイヤレステクノロジ使用）	
キー数	100（アメリカ）、101（ヨーロッパ）、 105（日本）
キーストローク：	
一般キー	3.0 mm ± 0.3 mm
ホットキー	1.5 mm ± 0.2 mm
タッチパッドボタン	1.5 mm ± 0.2 mm

キースペース	19.05 mm ± 0.3 mm
レイアウト	QWERTY / AZERTY / 漢字

タッチパッド	
X/Y 位置解像度（グラフィックステーブルモード）	1000 dpi
寸法：	
横幅	60.75 mm（センサー感知領域）
縦幅	44.64 mm の長方形

バッテリー	
デュアル 6 セルリチウムイオンバッテリーパック	2.6 Ahr セル
寸法：	
長さ	296.3 mm
縦幅	31.7 mm
横幅	65.4 mm
重量	0.730 kg（標準）
電圧	14.8 VDC
動作時間	動作状況によって変わります。特定の電力を多く必要とする状況では、著しく短縮されます。 詳細に関しては、バッテリーの性能を参照してください。
寿命（概算）	300 回（充電 / 放電）
温度範囲：	
動作時	0～35 ℃
保管時	-40～65 ℃

AC アダプタ	
入力電圧	100～240 VAC
入力電流（最大）	2.5 A
入力周波数	50～60 Hz
出力電流	7.7 A
出力電力	150 W
定格出力電圧	19.5 VDC
寸法：	
縦幅	40 mm
横幅	85 mm
奥行き	170 mm
重量（ケーブル含む）	1 kg
温度範囲：	
動作時	0～35 ℃
保管時	-40～65 ℃

サイズと重量	
縦幅	75.3 mm
横幅	470 mm
長さ	405.6 mm
重量	約 18.1 lb、設定により異なる

ExpressCard	
メモ: ExpressCard スロットは、ExprssCard 専用に設計されています。PC カードはサポートしません。	
ExpressCard コネクタ	ExpressCard スロット（54 mm）× 1 1.5 V および 3.3 V
サポートするカード	ExpressCard/34（34 mm）および ExpressCard/54（54 mm）
ExpressCard コネクタサイズ	26 ピン

メディアメモリカードリーダー	
2 スロット付きメディアメモリカードリーダー（13 in 2）	
メディアメモリカードコントローラ	Ricoh R5C832
メディアメモリカードコネクタ	コンボカードコネクタ
サポートするカード	メモリースティック メモリースティック Duo メモリースティック Duo Pro SD/SDIO MiniSD マルチメディアカード RSMMC xD CF Type I/II マイクロドライブ

カメラ	
タイプ	Logitech 1.3 MP カメラモジュール
センサータイプ	RightLight 低照度拡張機能テクノロジを使用した 1.3 メガピクセル CMOS
ビデオキャプチャ解像度	最大 640 x 480 ピクセル（VGA）
静止イメージキャプチャ解像度	終始 1280 x 960 ピクセル（1.3 メガピクセル）、最大 4 メガピクセルの拡張ソフトウェア
フレームレート	最大 30 フレーム / 秒
表示フィールド	58 度（対角に測定）
インタフェース	内蔵 USB 2.0 高速
動作ライト	ビデオストリーミングを表示する青色 LED
手動傾斜範囲	下方 -15 度 / 上方 +35 度（垂直方向）
ソフトウェア	Logitech QuickCam

環 境	
温度範囲:	
動作時	0～35 ℃
保管時	-40～65 ℃
相対湿度（最大）:	
動作時	10～90 %（結露しないこと）
保管時	5～95 %（結露しないこと）
最大振動（ユーザー環境をシミュレートするランダム振動スペクトラムを使用時）:	
動作時	0.66 GRMS
保管時	1.30 GRMS
最大衝撃（ヘッド固定位置のハードドライブと 2 ミリ秒の正弦半波パルスを使用して測定したとき）:	
動作時	122 G
保管時	163 G
高度（最大）:	
動作時	-15.2～3,048 m
保管時	-15.2～10,668 m

目次に戻る

目次に戻る

ノートブックコンピュータを携帯するときは

Dell™ XPS™ M2010 オーナーズマニュアル

コンピュータの識別

- コンピュータにネームタグまたはビジネスカードを取り付けます。
- サービスタグをメモして、コンピュータやキャリングケースとは別の安全な場所に保管します。コンピュータを紛失したり盗難に遭った場合、警察等の公的機関およびデルに連絡する際に、このサービスタグをお知らせください。サービスタグは、コンピュータのバッテリー実装部の中にあります（バッテリーの取り外し を参照）。コンピュータを紛失するか盗難に遭った場合を参照してください。
- Microsoft® Windows® デスクトップに、**PC の所有者** というファイルを作成します。名前、住所、および電話番号などの情報をこのファイルに記入しておきます。
- クレジットカード会社に問い合わせて、ID タグコードを発行しているかを確認します。

コンピュータの梱包

- コンピュータに取り付けられているすべての外付けデバイスを取り外して、安全な場所に保管します。
- メインバッテリーおよび携帯するすべての予備バッテリーをフル充電します。
- コンピュータをシャットダウンします。
- AC アダプタを取り外します。

注意: ディスプレイを閉じる際に、キーボードまたはパームレスト上に物が残っているとディスプレイに損傷を与える恐れがあります。

- ペーパークリップ、ペン、および紙などの物をキーボードまたはパームレスト上から取り除いた後、ディスプレイを閉じます。
- コンピュータとアクセサリを一緒に入れる場合は、オプションの Dell™ キャリングケースをご利用ください。
- 荷造りの際、コンピュータをシェービングクリームやコロン、香水、食べ物などと一緒に入れないでください。

注意: 低温の環境から暖かいところに、または高温の環境から涼しいところにコンピュータを移動する場合は、1 時間程室温にならしてから電源を入れてください。

- コンピュータ、バッテリー、およびハードドライブは、直射日光、汚れ、ほこり、液体などから保護し、極端に高温や低温になる場所を避けてください。
- コンピュータは、車のトランクまたは飛行機の手荷物入れの中で動かないように梱包してください。

携帯中のヒントとアドバイス

注意: データ損失を防ぐためにオプティカルドライブを使用している間は、コンピュータを動かさないでください。

メモ: 旅行を計画する際は、航空会社の規則等を確認してください。コンピュータのサイズによっては、コンピュータが手荷物に該当しない場合があります。コンピュータが手荷物に該当しない場合、壊れやすい電子機器を運搬するための市販の硬質キャリングケースを購入し、コンピュータを荷物として預けてください。

- バッテリーの時間を最大にするために、ワイヤレスアクティビティを無効にします。ワイヤレスアクティビティを無効にするには、<Fn><F2> を押します。
- バッテリーの使用可能時間を最大にするために、電源管理のオプションの設定を変更します。電力管理の設定を参照してください。
- 海外にコンピュータを携帯する場合は、通関で所有や使用権を証明する書類（会社所有のコンピュータの場合）が必要な場合があります。訪問予定国の通関規則を調べた上で、自国政府から国際通行許可証（商品パスポートとも呼ばれます）を取得するようお勧めします。
- 国によっては電源が頻繁に途絶えることがあります。海外では充電したバッテリーを常に携帯してください。
- クレジットカード会社の多くは、困ったときに便利なサービスをノートブックコンピュータユーザーに提供していますのでご確認ください。

飛行機内での利用

注意: コンピュータは、金属探知機には絶対に通さないでください。X 線探知機に通すか、手検査を依頼してください。

警告: 航空機内での使用について、FCC および FAA の規制では、デバイスの信号が航空機の重要機器に障害を与える恐れがあるため、航空機搭乗中の高周波ワイヤレスデバイスの操作は禁止されています。

- 手荷物チェックの際に、コンピュータに電源を入れてチェックする場合もあるので、必ず充電されたバッテリーか、AC アダプタと電源ケーブルを携帯してください。
- 航空会社によっては、飛行中の電子機器の使用を禁止している場合があります。すべての航空会社が離着陸の際の使用を禁止しています。

目次に戻る

目次に戻る

トラブルシューティング

Dell™ XPS™ M2010 オーナーズマニュアル

Dell テクニカル Update Service

Dell™ テクニカル Update Service は、お使いのコンピュータに関するソフトウェアおよびハードウェアのアップデートを E-メールにて事前に通知するサービスです。このサービスは無償で提供され、内容、フォーマット、および通知を受け取る頻度をカスタマイズすることができます。

Dell テクニカル Update Service に登録するには、**support.dell.com / technicalupdate**（英語）にアクセスしてください。

Dell Diagnostics（診断）プログラム

警告: 本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。

Dell Diagnostics（診断）プログラムを使用する場合

コンピュータに問題が発生した場合、デルテクニカルサポートに問い合わせる前に、フリーズおよびソフトウェアの問題にあるチェック事項を実行してから、Dell Diagnostics（診断）プログラムを実行してください。

作業を始める前に、これらの手順を印刷しておくことをお勧めします。

注意: Dell Diagnostics（診断）プログラムは、Dell のコンピュータでのみ動作します。

Dell Diagnostics（診断）プログラムは、ハードドライブ、または『Drivers and Utilities』ディスクから起動できます。

Dell Diagnostics（診断）プログラムをハードドライブから起動する場合

Dell Diagnostics（診断）プログラムは、ハードドライブの診断ユーティリティ用隠しパーティションに格納されています。

メモ: コンピュータに画面イメージが表示されない場合は、デルまでお問い合わせください。デルへのお問い合わせを参照してください。

1. コンピュータをシャットダウンします。
2. コンピュータをコンセントに接続します。
3. Diagnostics（診断）は次の 2 つの方法で開始することができます。
   a. コンピュータの電源を入れます。DELL™ のロゴが表示されたらすぐに <F12> を押します。起動メニューから Diagnostics（診断）を選択し、<Enter> を押します。

   メモ: キーボードはキーストロークを認識できるよう動作している必要があります。タッチパッドに触れて、キーボードが認識可能なことを確認してください。

ここで時間をおきすぎてオペレーティングシステムのロゴが表示された場合、Microsoft® Windows® デスクトップが表示されるまで待ちます。次に、コンピュータをシャットダウンして、もう一度やりなおします。

b. コンピュータが起動する間、<Fn> キーを押し続けます。

メモ: 診断ユーティリィティパーティションが見つからないことを知らせるメッセージが表示された場合は、『Drivers and Utilities』ディスクから Dell Diagnostics（診断）プログラムを実行します。

起動前システムアセスメントが実行され、システム基板、キーボード、ハードドライブ、ディスプレイの初期テストが続けて実行されます。

- このシステムの評価中に、表示される質問に答えます。
- 問題が検出された場合は、コンピュータはビープ音を出して停止します。システムの評価を止めてオペレーティングシステムを再起動するには、<Esc> を押します。次のテストを続けるには <y> を押します。障害のあるコンポーネントを再テストするには、<r> を押します。
- 起動前システムアセスメントの実行中に問題が検出された場合は、エラーコードを書き留め、デルにお問い合わせください。デルへのお問い合わせを参照してください。

起動前システムアセスメントが無事に終了した場合、以下のようなメッセージが表示されます。

Booting Dell Diagnostic Utility Partition.（Dell Diagnostics（診断）ユーティリティパーティションの起動中。）Press any key to continue.（続けるには任意のキーを押します。）

4. 任意のキーを押すと、ハードドライブ上の診断プログラムユーティリィティパーティションから Dell Diagnostics（診断）プログラムが起動します。

Drivers and Utilities メディアからの Dell Diagnostics（診断）プログラムの起動

1. 『Drivers and Utilities』ディスクを挿入します。

2. コンピュータをシャットダウンして、再起動します。

   DELL のロゴが表示されたらすぐに <F12> を押します。

   メモ: キーボードはキーストロークを認識できるよう動作している必要があります。タッチパッドに触れて、キーボードが認識可能なことを確認してください。

   ここで時間をおきすぎてオペレーティングシステムのロゴが表示された場合、Microsoft Windows デスクトップが表示されるまで待ちます。次に、コンピュータをシャットダウンして、もう一度やりなおします。

次の手順は、起動順序を一回だけ変更します。次回の起動時には、コンピュータはセットアップユーティリティで指定したデバイスに従って起動します。

3. 起動デバイスのリストが表示されたら、**CD/DVD/CD-RW Drive** をハイライト表示して、<Enter> を押します。

4. 表示されたメニューから **Boot from CD-ROM** オプションを選択し、<Enter> を押します。

5. 1 を入力して、メニューを開始し、<Enter> を押して続行します。

6. 番号の付いた一覧から **Run the 32 Bit Dell Diagnostics** を選択します。複数のバージョンがリストにある場合は、コンピュータに適切なバージョンを選択します。

7. Dell Diagnostics（診断）プログラム **Main Menu** が表示されたら、実行したいテストを選択します。

Dell Diagnostics（診断）プログラムのメインメニュー

1. Dell Diagnostics（診断）プログラムのロードが終了すると、**Main Menu** 画面が表示されるので、必要なオプションのボタンをクリックします。

オプション	**機能**
Express Test	デバイスのクイックテストを実行します。通常このテストは 10～20 分かかり、お客様の操作は必要ありません。最初に **Express Test** を実行すると、問題を素早く特定できる可能性が増します。
Extended Test	デバイスの全体チェックを実行します。通常このテストは 1 時間以上かかり、質問に定期的に応答する必要があります。
Custom Test	特定のデバイスをテストします。実行するテストをカスタマイズできます。
Symptom Tree	検出した最も一般的な症状を一覧表示し、問題の症状に基づいたテストを選択することができます。

2. テスト実行中に問題が検出されると、エラーコードと問題の説明を示したメッセージが表示されます。エラーコードと問題の説明を記録し、画面の指示に従います。

   エラー状態を解決できない場合は、デルにお問い合わせください。デルへのお問い合わせを参照してください。

メモ: お使いのコンピュータのサービスタグは、各テスト画面の上部にあります。デルにお問い合わせいただく場合は、テクニカルサポート担当者がサービスタグをおたずねします。

3. **Custom Test** または **Symptom Tree** オプションからテストを実行する場合、該当するタブをクリックします(詳細については、以下の表を参照)。

タブ	機能
Results	テストの結果、および発生したすべてのエラーの状態を表示します。
Errors	検出されたエラー状態、エラーコード、問題の説明が表示されます。
Help	テストについて説明します。また、テストを実行するための要件を示す場合もあります。
Configuration	選択したデバイスのハードウェア構成を表示します。 Dell Diagnostics(診断)プログラムでは、セットアップユーティリティ、メモリ、および各種内部テストからすべてのデバイスの構成情報を取得して、画面左のウィンドウのデバイスリストに表示します。デバイス一覧には、コンピュータに取り付けられたすべてのコンポーネント名、またはコンピュータに取り付けられたすべてのデバイス名が表示されるとは限りません。
Parameters	テストの設定を変更して、テストをカスタマイズすることができます。

4. Dell Diagnostics(診断)プログラムを『Drivers and Utilities』ディスクから実行した場合、テストが完了したら、ディスクを取り出します。

5. テストが完了したら、テスト画面を閉じて、**Main Menu** 画面に戻ります。Dell Diagnostics(診断)プログラムを終了しコンピュータを再起動するには、**Main Menu** 画面を閉じます。

デルサポートユーティリティ

デルサポートユーティリティは、お使いのコンピュータにインストールされており、タスクバーのデルサポートアイコンまたは **スタート** ボタンから使用できます。このサポートユーティリティは、セルフサポート情報、ソフトウェアのアップデート、およびお使いのコンピュータ環境の状態をスキャンする場合に使用します。

デルサポートユーティリティへのアクセス

デルサポートユーティリティは、タスクバーのデルサポートアイコンまたは **スタート** メニューからアクセスできます。

デルサポートアイコンがタスクバーに表示されていない場合は、次の手順を実行します。

1. **スタート** ボタンをクリックし、**プログラム** をポイントします。

2. **Dell Support**(デルサポート)をクリックし、**Dell Support Settings**(デルサポート設定)をポイントします。

3. **Show icon on the taskbar**(タスクバーのアイコンを表示する)オプションがチェックされていることを確認します。

メモ: デルサポートユーティリティが **スタート** メニューから利用できない場合は、**support.jp.dell.com** からソフトウェアをダウンロードしてください。

デルサポートユーティリティは、お使いのコンピュータ環境にカスタマイズされます。

タスクバーのデルサポートアイコンは、アイコンをクリック、ダブルクリック、または右クリックする場合でそれぞれ機能が異なります。

デルサポートアイコンのクリック

次のタスクを実行するには、アイコンをクリックまたは右クリックします。

- お使いのコンピュータ環境のチェック
- デルサポートユーティリティ設定の表示
- デルサポートユーティリティのヘルプファイルへのアクセス
- よくあるお問い合わせ(FAQ)の表示
- デルサポートユーティリティの詳細の表示
- デルサポートユーティリティの終了

デルサポートアイコンのダブルクリック

アイコンをダブルクリックすると、お使いのコンピュータ環境の手動チェック、よくあるお問い合わせ(FAQ)の表示、デルサポートユーティリティのヘルプファイルへのアクセス、デルサポート設定の表示を実行できます。

デルサポートユーティリティの詳細に関しては、デルサポート画面の上部にある疑問符（**?**）をクリックしてください。

ドライブの問題

⚠ **警告: 本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。**

以下を確認しながら、Diagnostics（診断）チェックリストに必要事項を記入してください。Diagnostics（診断）チェックリストを参照してください。

Microsoft Windows がドライブを認識していることを確認します —

スタート ボタンをクリックして、**マイコンピュータ** をクリックします。DVD ドライブが表示されない場合は、アンチウイルスソフトウェアを使用して完全スキャンを実行し、ウイルスを調査して除去します。ウイルスが原因で Windows がドライブを検出できないことがあります。

ドライブをテストします — 元のディスクに問題がないか確認するため、別のディスクを挿入します。

ディスクをクリーニングします — コンピュータのクリーニングを参照してください。

ディスクを読み取りまたは再生できない場合 — ディスクが汚れている場合は、ディスクを研磨用でない布で中央の穴から外側に向かって拭きます。ディスクに傷やゆがみがある場合は、ドライブに挿入しないでください。ディスクを裏表逆に挿入した場合は、ディスクを取り出し、正しい向きに挿入し直します。

ケーブルの接続を確認します

ハードウェアの非互換性を確認します — ソフトウェアおよびハードウェアの非互換性の解決を参照してください。

Dell Diagnostics（診断）プログラムを実行します — Dell Diagnostics（診断）プログラムを参照してください。

DVD ドライブの問題

メモ: 高速な DVD ドライブの振動は一般的なもので、ノイズを引き起こすこともあります。ドライブやメディアの欠陥ではありません。

メモ: 様々なファイル形式があるため、お使いの DVD ドライブでは再生できない DVD もあります。

ディスクが取り出せない場合 — もう一度取り出しボタンを押します。問題が解決しない場合は、システムを再スタートします。

オプティカルドライブへの書き込み問題

その他のプログラムを閉じます — オプティカルドライブはデータを書き込む際に、一定のデータの流れを必要とします。データの流れが中断されるとエラーが発生します。ドライブに書き込みを開始する前に、すべてのプログラムを終了してみます。

CD、DVD、または BD への書き込みの前に Windows のスタンバイモードを無効にします — 省電力モードの情報については、スタンバイモードを参照するか、Windows ヘルプとサポートセンターでスタンバイというキーワードを検索します。

書き込み処理速度を低く設定します — CD、DVD、または BD 作成ソフトウェアのヘルプファイルを参照してください。

ラベルが上向きの状態でディスクがドライブでロードされることを確認します —

正しい挿入手順に関しては、メディアの再生を参照してください。

使用しているディスクのタイプを確認します — CD-R、DVD+R、DVD-R、DVD+R DL、および BD-R ディスクは上書きできません。

書き込み可能なディスクに十分な空き容量があることを確認します — 空の CD-R または CD-RW は最大容量まで書き込まないでください。ドライブは、記録の最終段階でブランクスペースの 1 ～2 MB を必要とします。

聞き慣れない摩擦音またはきしむ音がする場合

- 実行中のプログラムによる音ではないことを確認します。
- ディスクが正しく挿入されていることを確認します。

ハードドライブの問題

コンピュータが室温に戻るまで待ってから電源を入れます — ハードドライブが高温になっているため、オペレーティングシステムが起動しないことがあります。コンピュータが室温に戻るまで待ってから電源を入れます。

チェックディスクを実行します —

1. **スタート** ボタンをクリックして、**マイコンピュータ** をクリックします。
2. **ローカルディスク C:** を右クリックします。
3. **プロパティ** をクリックします。
4. **ツール** タブをクリックします。
5. **エラーチェック** で、**チェックする** をクリックします。
6. **不良なセクタをスキャンし、回復する** をクリックします。
7. **開始** をクリックします。

E-メール、モデム、およびインターネットの問題

警告: 本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。

メモ: モデムは必ずアナログ電話回線に接続してください。デジタル電話回線（ISDN）に接続した場合、モデムは動作しません。

microsoft® Outlook® Express のセキュリティ設定を確認します —

E-メールの添付ファイルが開けない場合、次の手順を実行します。

1. Outlook Expressで、**ツール**、**オプション** とクリックして、**セキュリティ** をクリックします。
2. **ウイルスの可能性がある添付ファイルを保存したり開いたりしない** をクリックして、チェックマークを外します。

電話線接続をチェックします
電話ジャックをチェックします
モデムを直接電話ジャックに接続します
別の電話線を使用します —

- 電話線がモデムのジャックに接続されているか確認します。（ジャックは緑色のラベル、もしくはコネクタの絵柄の横にあります。）
- 電話線のコネクタをモデムに接続する際に、カチッという感触が得られることを確認します。
- モデムから電話線を外して、電話に接続します。電話の発信音を聞きます。
- 留守番電話、FAX、サージプロテクタ、またはラインスプリッタなど、その他の電話デバイスで回線を共有している場合、これらをバイパスし、モデムを直接電話ジャックに差し込みます。3 m 以内の電話線を使用します。

Modem Helper 診断プログラムを実行します —

スタート ボタンをクリックし、**すべてのプログラム** を指定してから **Modem Helper** をクリックします。画面の指示に従って、モデムの問題を識別し、その問題を解決します（Modem Helper は、すべてのコンピュータで利用できるわけではありません。）

モデムが Windows と通信しているか確認します —

1. **スタート** ボタンをクリックして、**コントロールパネル** をクリックします。
2. **電話とモデムのオプション** をクリックします。
3. **モデム** タブをクリックします。
4. モデムの COM ポートをクリックします。
5. Windows がモデムを検出したか確認するため、**プロパティ** をクリックし、**診断** タブをクリックして、**モデムの照会** をクリックします。

   すべてのコマンドに応答がある場合、モデムは正しく動作しています。

インターネットへの接続を確認します —

ISP（インターネットサービスプロバイダ）との契約が済んでいることを確認します。電子メールプログラム Outlook Express を起動し、**ファイル** をクリックします。**オフライン作業** の横にチェックマークが付いている場合、チェックマークをクリックしてマークを外し、インターネットに接続します。問題がある場合、ご利用のインターネットサービスプロバイダにお問い合わせください。

コンピュータでスパイウェアをスキャンします —

コンピュータのパフォーマンスが遅いと感じたり、ポップアップ広告を受信したり、インターネットとの接続に問題がある場合は、スパイウェアに感染している恐れがあります。アンチスパイウェア保護を含むアンチウィルスプログラムを使用して（ご使用のプログラムをアップグレードする必要があるかもしれません）、コンピュータのスキャンを行い、スパイウェアを取り除いてください。

エラーメッセージ

以下を確認しながら、Diagnostics（診断）チェックリストに必要事項を記入してください。Diagnostics（診断）チェックリストを参照してください。

警告: 本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。

メッセージが一覧にない場合、オペレーティングシステムまたはメッセージが表示された際に実行していたプログラムのマニュアルを参照してください。

補助デバイスエラー —

タッチパッドまたは外付けマウスに問題がある可能性があります。外付けマウスに関しては、キーボードおよびマウスの使い方 を参照してください。セットアップユーティリティで Pointing Device オプションの設定を有効にします。問題が解決しない場合、デルにお問い合わせください。デルへのお問い合わせを参照してください。

コマンド名またはファイル名が違います —

正しいコマンドを入力したか、スペースの位置は正しいか、パス名は正しいかを確認します。

障害によりキャッシュが無効になりました —

マイクロプロセッサに内蔵の 1 次キャッシュに問題が発生しました。デルにお問い合わせください。デルへのお問い合わせを参照してください。

CD ドライブコントローラエラー —

CD ドライブが、コンピュータからのコマンドに応答しません。デルサポートユーティリティを参照してください。

データエラー —

ハードドライブからデータを読むことができません。デルサポートユーティリティを参照してください。

使用可能メモリ減少 —

メモリモジュールに問題があるか、またはメモリモジュールが正しく取り付けられていない可能性があります。メモリモジュールを取り付けなおし、必要に応じて、メモリモジュールを交換します。メモリを参照してください。

ディスク C: 初期化失敗 —

ハードドライブの初期化に失敗しました。Dell Diagnostics（診断）プログラムの **Hard Drive** テストを実行します。Dell Diagnostics（診断）プログラムを参照してください。

拡張メモリの容量が変更されています —

NVRAM に記録されているメモリ容量が、実際に取り付けられているメモリ容量と一致しません。コンピュータを再起動します。同じエラーが表示される場合、デルにお問い合わせください。デルへのお問い合わせを参照してください。

コピーするファイルが大きすぎて受け側のドライブに入りません —

指定のディスクにコピーするにはファイルサイズが大きすぎます。またはディスクがいっぱいで入りません。他のディスクにコピーするか容量の大きなディスクを使用します。

ファイル名には次の文字は使用できません: / : * ? " < > | —

これらの記号をファイル名に使用しないでください。

Gate A20 エラー —

メモリモジュールがしっかりと接続されていない可能性があります。メモリモジュールを取り付けなおすか、必要であれば取り替えます。メモリを参照してください。

一般的な障害 —

オペレーティングシステムはコマンドを実行できません。通常、このメッセージのあとには具体的な情報（例えば、`Printer out of paper` [プリンタの用紙がありません]）が付きます。適切な対応策に従います。

ハードディスクドライブ設定エラー —

コンピュータがドライブの種類を識別できません。Dell Diagnostics（診断）プログラムの **Hard-Disk Drive** テストを実行します。Dell Diagnostics（診断）プログラムを参照してください。

ハードディスクドライブコントローラーエラー 0 —

ハードドライブがコンピュータからのコマンドに応答しません。Dell Diagnostics（診断）プログラムの **Hard-Disk Drive** テストを実行します。Dell Diagnostics（診断）プログラムを参照してください。

ハードディスクドライブエラー —

ハードドライブがコンピュータからのコマンドに応答しません。Dell Diagnostics（診断）プログラムの **Hard-Disk Drive** テストを実行します。Dell Diagnostics（診断）プログラムを参照してください。

ハードディスクドライブ読み取りエラー —

ハードドライブに問題がある可能性があります。Dell Diagnostics（診断）プログラムの **Hard-Disk Drive** テストを実行します。Dell Diagnostics（診断）プログラムを参照してください。

起動用メディアを挿入します —

オペレーティングシステムが起動用以外のメディアから起動しようとしています。起動用メディアを挿入してください。

システム情報が間違っています。セットアップユーティリティを実行してください —

システム設定情報がハードウェア構成と一致しません。メモリモジュールの取り付け後などにこのメッセージが表示されることがあります。セットアップユーティリティで対応するオプションを修正します。セットアップユーティリティを参照してください。

キーボードクロックラインエラー —

Dell Diagnostics（診断）プログラムの **Keyboard Controller** テストを実行します。Dell Diagnostics（診断）プログラムを参照してください。

キーボードコントローラーエラー —

コンピュータを再起動し、起動ルーチン中にキーボードまたはマウスに触れないようにします。Dell Diagnostics（診断）プログラムの **Keyboard Controller** テストを実行します。Dell Diagnostics（診断）プログラムを参照してください。

キーボードデータラインエラー —

Dell Diagnostics（診断）プログラムの **Keyboard Controller** テストを実行します。Dell Diagnostics（診断）プログラムを参照してください。

キーボードスタックキーエラー —

コンピュータを再起動し、起動ルーチン中にキーボードまたはキーに触れないようにします。Dell Diagnostics（診断）プログラムの **Stuck Key** テストを実行します。 Dell Diagnostics（診断）プログラムを参照してください。

MediaDirect では、ライセンスコンテンツにはアクセスできません —

Dell MediaDirect™ では、ライセンスファイルに対するデジタル権限管理（DRM）制限を検証できないので、ライセンスファイルを再生できません。Dell MediaDirect の問題を参照してください。

アドレス、読み取り値、期待値におけるメモリアドレスラインエラー —

メモリモジュールに問題があるか、メモリモジュールが正しく取り付けられていない可能性があります。メモリモジュールを取り付けなおすか、必要であれば取り替えます。メモリを参照してください。

メモリの割り当てエラー —

実行しようとしているソフトウェアが、オペレーティングシステム、他のアプリケーションプログラム、またはユーティリティと拮抗しています。コンピュータをシャットダウンし、30 秒待ってから再起動します。プログラムを再度実行します。エラーメッセージが依然として表示される場合、ソフトウェアのマニュアルを参照してください。

アドレス、読み取り値、期待値におけるメモリデータラインエラー —

メモリモジュールに問題があるか、メモリモジュールが正しく取り付けられていない可能性があります。メモリモジュールを取り付けなおして（メモリを参照）、必要であれば交換します。

アドレス、読み取り値、期待値におけるメモリダブルワードロジックエラー —

メモリモジュールに問題があるか、メモリモジュールが正しく取り付けられていない可能性があります。メモリモジュールを取り付けなおして（メモリを参照）、必要であれば交換します。

アドレス、読み取り値、期待値におけるメモリ奇数 / 遇数ロジックエラー —

メモリモジュールに問題があるか、メモリモジュールが正しく取り付けられていない可能性があります。メモリモジュールを取り付けなおして（メモリを参照）、必要であれば交換します。

アドレス、読み取り値、期待値におけるメモリ読み書きエラー —

メモリモジュールに問題があるか、メモリモジュールが正しく取り付けられていない可能性があります。メモリモジュールを取り付けなおして（メモリを参照）、必要であれば交換します。

起動デバイスがありません —

コンピュータがハードドライブを見つけることができません。ハードドライブが起動デバイスの場合、ドライブが適切に装着されており、起動デバイスとして区分（パーティション）されているか確認します。

ハードドライブにブートセクターがありません —

オペレーティングシステムが壊れている可能性があります。デルにお問い合わせください。デルへのお問い合わせを参照してください。

タイマーチック割り込み信号がありません —

システム基板上のチップが誤動作している可能性があります。Dell Diagnostics（診断）プログラムの **System Set** テストを実行します。Dell Diagnostics（診断）プログラムを参照してください。

メモリまたはリソースが不足しています。いくつかのプログラムを閉じてもう一度やりなおします —

開いているプログラムの数が多すぎます。すべてのウィンドウを閉じ、使用するプログラムのみを開きます。

オペレーティングシステムが見つかりません —

デルにお問い合わせください。デルへのお問い合わせを参照してください。

オプション ROM のチェックサムが違います —

オプション ROM に問題があります。デルにお問い合わせください。デルへのお問い合わせを参照してください。

必要な .DLL ファイルが見つかりません —

実行しようとしているプログラムに必要なファイルがありません。プログラムを削除してから、再インストールします。

1. **スタート** ボタンをクリックして、**コントロールパネル** をクリックします。
2. **プログラムの追加と削除** をクリックします。
3. 削除したいプログラムを選択します。
4. **削除** ボタンまたは **変更と削除** ボタンをクリックし、画面の指示メッセージに従います。
5. インストール手順については、プログラムに付属されているマニュアルを参照してください。

セクターが見つかりません —

オペレーティングシステムがハードドライブ上のセクターを見つけることができません。ハードドライブが不良セクターを持っているか、FAT が破壊されている可能性があります。Windows のエラーチェックユーティリティを実行して、ハードドライブのファイル構造を調べます。手順については、ヘルプとサポートセンターを参照してください。多くのセクターに障害がある場合、データをバックアップして、ハードドライブを再フォーマットします。

シークエラー —

オペレーティングシステムがハードドライブ上の特定のトラックを見つけることができません。

シャットダウンが失敗しました —

システム基板上のチップが誤動作している可能性があります。Dell Diagnostics（診断）プログラムの **System Set** テストを実行します。Dell Diagnostics（診断）プログラムを参照してください。

内部時計の電力低下 —

システム設定が破損しています。コンピュータをコンセントに接続してバッテリーを充電します。問題が解決されない場合、セットアップユーティリティを起動してデータの復元を試みます。それからすぐにプログラムを終了します。メッセージが再び表示される場合は、デルにお問い合わせください。デルへのお問い合わせを参照してください。

内部時計が停止しました —

システム設定をサポートする予備バッテリーを交換する必要があるかもしれません。コイン型電池を参照してください。

時計が設定されていません。セットアップユーティリティを実行してください —

セットアップユーティリティで設定した時刻または日付が内部時計と一致しません。**Date** と **Time** オプションの設定を修正します。セットアップユーティリティを参照してください。

タイマーチップカウンタ 2 が失敗しました —

システム基板上のチップが誤動作している可能性があります。Dell Diagnostics（診断）プログラムの **System Set** テストを実行します。Dell Diagnostics（診断）プログラムを参照してください。

プロテクトモードで予期せぬ割り込みがありました —

キーボードコントローラが誤動作しているか、メモリモジュールの接続に問題がある可能性があります。Dell Diagnostics（診断）プログラムで **System Memory** テストと **Keyboard Controller** テストを実行します。Dell Diagnostics（診断）プログラムを参照してください。

x: にアクセスできません。デバイスの準備ができていません —

ドライブにディスクを入れ、もう一度試してみます。

警告: バッテリーが極めて低下しています —

バッテリーの充電量が不足しています。バッテリーを交換するか、コンピュータをコンセントに接続します。または、休止状態モード をアクティブにするか、コンピュータをシャットダウンします。

IEEE 1394 デバイスの問題

警告: 本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。

Windows が IEEE 1394 デバイスを認識しているか確認します —

1. **スタート** ボタンをクリックして、**コントロールパネル** をクリックします。
2. **システム** をクリックして、**システムのプロパティ** ウィンドウを開きます。
3. **ハードウェア** タブをクリックして、**デバイスマネージャ** をクリックします。

   IEEE 1394デバイスが一覧に表示されている場合、Windowsはデバイスを認識しています。

デル製の IEEE 1394 デバイスに問題がある場合 —

デル製ではない IEEE 1394 デバイスに問題がある場合 —

デルにお問い合わせになるか(デルへのお問い合わせを参照)、IEEE1394 デバイスの製造元にお問い合わせください。

IEEE 1394 デバイスが正しくコネクタに挿入されているか確認します

キーボードの問題

警告: 本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。

さまざまなチェックを実行しながら、Diagnostics(診断)チェックリスト(Diagnostics(診断)チェックリストを参照)に必要事項を記入します。

メモ: Dell Diagnostics(診断)プログラム または セットアップユーティリティ を実行するときは、ワイヤレスキーボードを使用します。外付けキーボードをコンピュータに接続しても、ワイヤレスキーボードの機能はそのまま使用できます。

キーボードの問題

コンピュータベースがワイヤレスキーボードを認識しない場合 —

キーボードのペアリングを参照してください。

キーボードの診断テストを実行します —

Dell Diagnostics(診断)プログラムの **PC-AT Compatible Keyboards** テストを実行します。Dell Diagnostics(診断)プログラムを参照してください。テスト結果によってキーボードの問題であると示された場合、デルにお問い合わせください。デルへのお問い合わせを参照してください。

入力時の問題

テンキーパッドを無効にします —

文字の代わりに数字が表示される場合、<Num Lk> を押して、テンキーパッドを無効にします。NumLock ライトが点灯していないことを確認します。

フリーズおよびソフトウェアの問題

警告: **本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。**

コンピュータが起動しない

AC アダプタがコンピュータとコンセントにきちんと接続されていることを確認します

コンピュータの応答が停止した

注意: オペレーティングシステムのシャットダウンが実行できない場合、データを消失する恐れがあります。

コンピュータの電源を切ります —

キーボードのキーを押したり、マウスを動かしてもコンピュータから応答がない場合、コンピュータの電源が切れるまで、電源ボタンを 8～10 秒以上押します。次に、コンピュータを再起動します。

プログラムの応答が停止した

プログラムが繰り返しクラッシュする

メモ: ソフトウェアには、通常マニュアルや CD などの他のメディアにインストール手順が含まれています。

プログラムを終了します —

1. <Ctrl><Shift><Esc> を同時に押します。
2. **アプリケーション** をクリックします。
3. 反応がなくなったプログラムを選択します。
4. **タスクの終了** をクリックします。

プログラムのマニュアルを参照します —

必要に応じて、プログラムをアンインストールして、再インストールしてください。

プログラムが以前の Microsoft Windows オペレーティングシステム向けに設計されている

プログラム互換性ウィザードを実行します —

Windows XP には、Windows XP オペレーティングシステム環境とは異なるオペレーティングシステムに近い環境で、プログラムが動作するよう設定できるプログラム互換性ウィザードがあります。

1. **スタート** ボタンをクリックし、**すべてのプログラム** → **アクセサリ** の順にポイントして、**プログラム互換性ウィザード** をクリックします。
2. **プログラム互換性ウィザードの開始** 画面で、**次へ** をクリックします。
3. 画面に表示される指示に従ってください。

画面が青色（ブルースクリーン）になった

コンピュータの電源を切ります —

キーボードのキーを押したり、マウスを動かしてもコンピュータから応答がない場合、コンピュータの電源が切れるまで、電源ボタンを 8～10 秒以上押します。次に、コンピュータを再起動します。

Dell MediaDirect の問題

Dell MediaDirect ヘルプファイルで情報をチェックします —

ヘルプにアクセス するには、Dell MediaDirect 画面の下部にある疑問符(?)アイコンをクリックします。

Dell MediaDirect で映画を再生するには、DVD ドライブと Dell DVD Player が必要です —

コンピュータと一緒に DVD ドライブを購入した場合、このソフトウェアはすでにインストールされています。

ビデオの品質上の問題 —

Use Hardware Acceleration(ハードウェアアクセラレーションを使う)オプションをオフにします。この機能は、DVD や特定タイプのビデオファイルを再生するときに、一部のグラフィックスカードの特別な処理を利用して、プロセッサ要件を軽減します。

一部のメディアファイルを再生できない —

Dell MediaDirect では、Windows XP オペレーティングシステム環境外のメディアファイルへのアクセスが可能であるため、ライセンス付きコンテンツへのアクセスが制限されています。ライセンス付きコンテンツとは、デジタル権限管理(DRM)が適用されるデジタルコンテンツです。Dell MediaDirect 環境では、DRM 制限を検証できないので、ライセンス付きファイルを再生できません。ライセンス付きのミュージックファイルやビデオファイルには、その横に錠のアイコンが付いています。ライセンス付きファイルは、Windows XP オペレーティングシステム環境でアクセスできます。

暗すぎるシーンや明るすぎるシーンがある映画のカラー設定の調節 —

EagleVision をクリックして、ビデオ拡張機能テクノロジを使用します。この機能により、ビデオコンテンツが検知され、輝度、コントラスト、および彩度の比率が動的に調節されます。

 **注意:** ハードドライブを再フォーマットした場合は、Dell MediaDirect 機能を再インストールできません。この場合には、デルにご相談ください。デルへのお問い合わせを参照してください。

その他のソフトウェアの問題

トラブルシューティング情報については、ソフトウェアのマニュアルを確認するかソフトウェアの製造元に問い合わせます —

- コンピュータにインストールされているオペレーティングシステムと互換性があるか確認します。
- コンピュータがソフトウェアを実行するのに必要な最小ハードウェア要件を満たしているか確認します。詳細については、ソフトウェアのマニュアルを参照してください。
- プログラムが正しくインストールおよび設定されているか確認します。
- デバイスドライバがプログラムと拮抗していないか確認します。
- 必要に応じて、プログラムをアンインストールしてから再インストールします。

お使いのファイルのバックアップをすぐに作成します

Uウィルススキャンプログラムを使用してハードドライブをチェックします

ウィルススキャンプログラムを使用してフロッピーディスクとその他の取り外し可能なメディアをチェックします

開いているファイルをすべて保存してから閉じ、実行中のプログラムをすべて終了して、[スタート] メニューからコンピュータをシャットダウンします

コンピュータでスパイウェアをスキャンします —

コンピュータのパフォーマンスが遅いと感じたり、ポップアップ広告を受信したり、インターネットとの接続に問題がある場合は、スパイウェアに感染している恐れがあります。アンチスパイウェア保護を含むアンチウィルスプログラムを使用して(ご使用のプログラムをアップグレードする必要があるかもしれません)、コンピュータのスキャンを行い、スパイウェアを取り除いてください。

Dell Diagnostics(診断)プログラムを実行します —

Dell Diagnostics(診断)プログラムを参照してください。すべてのテストが正常に終了したら、不具合はソフトウェアの問題に関連しています。

メモリの問題

以下を確認しながら、Diagnostics(診断)チェックリスト(Diagnostics(診断)チェックリストを参照)に必要事項を記入します。

警告: 本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。

メモリ不足を示すメッセージが表示される場合 —

- 作業中のすべてのファイルを保存してから閉じ、使用していない開いているすべてのプログラムを終了して、問題が解決するか調べます。
- メモリの最小要件については、ソフトウェアのマニュアルを参照してください。必要に応じて、増設メモリを取り付けます。メモリを参照してください。
- メモリモジュールを装着しなおし、コンピュータがメモリと正常に通信しているか確認します。メモリを参照してください。
- Dell Diagnostics（診断）プログラムを実行します。Dell Diagnostics（診断）プログラムを参照してください。

その他の問題が発生する場合 —

- メモリモジュールを装着しなおし（メモリを参照）、コンピュータがメモリと正常に通信しているか確認します。
- メモリの取り付けガイドラインに従っているか確認します。メモリを参照してください。
- Dell Diagnostics（診断）プログラムを実行します。Dell Diagnostics（診断）プログラムを参照してください。

ネットワークの問題

以下を確認しながらDiagnostics（診断）チェックリストに必要事項を記入します。

警告: 本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。

一般的注意事項

ネットワークケーブルのコネクタを確認します —

ネットワークケーブルがコンピュータ背面のネットワークコネクタおよびネットワークジャックの両方に、しっかりと差し込まれているか確認します。

ネットワークコネクタのネットワークライトを確認します —

ライトが点灯しない場合、ネットワークと通信していないことを示しています。ネットワークケーブルを取り替えます。

コンピュータを再起動して、ネットワークに再ログインします

ネットワークの設定を確認します —

ネットワーク管理者、またはお使いのネットワークを設定した方にお問い合わせになり、ネットワークへの接続設定が正しくて、ネットワークが正常に機能しているか確認します。

モバイルブロードバンドネットワーク

メモ: Dell モバイルブロードバンドカードユーティリティのユーザーズガイドは、ヘルプとサポートにあります。また、ユーザーズガイドは **support.jp.dell.com** からダウンロードすることもできます。

メモ: Dell モバイルブロードバンドカードがコンピュータに取り付けられている場合、通知領域に アイコンが表示されます。このアイコンをダブルクリックすると、ユーティリティが始動します。

接続できません —

接続するには、デルモバイルブロードバンドカードをネットワークで有効にする必要があります。通知領域の アイコンにマウスを合わせると、接続のステータスを確認できます。モバイルブロードバンドカードが有効でないと示された場合は、モバイルブロードバンドカードを有効にしますの説明を参照してください。問題が解決されない場合は、モバイルブロードバンドサービスキャリアにお問い合わせになり、お使いのプランの詳細を確認してください。

モバイルブロードバンドネットワークサービスを確認します —

モバイルブロードバンドのサービスキャリアにお問い合わせになり、プランの適用範囲とサポートされているサービスを確認してください。

Dell モバイルブロードバンドカードユーティリティでステータスを確認します —

タスクバーにある アイコンをクリックし、ユーティリティを起動します。メインウィンドウで次のステータスを確認します。

- No card detected（カードを検出できませんでした） - コンピュータを再起動して、もう一度ユーティリティを始動してください。
- Radio Off（ラジオが無効です） - Dell モバイルブロードバンドカードユーティリティでステータスを表示し、モバイルブロードバンドカードが有効であることを確認します。カードが無効の場合は、Dell モバイルブロードバンドカードユーティリティのメイン画面にある **Turn Radio On**（ラジオを有効にする）ボタンをクリックして、モバイルブロードバンドカードを有効にします。
- Searching（検索中）- Dell モバイルブロードバンドカードユーティリティは、モバイルブロードバンドネットワークを検索しています。検索状態が続く場合は、信号強度が適切かどうか確認してください。
- No service（サービスが見つかりません）- Dell モバイルブロードバンドカードユーティリティは、モバイルブロードバンドネットワークを検出できませんでした。信号強度が適切であることを確認してください。Dell ワイヤレスユーティリティを再スタートするか、モバイルブロードバンドネットワークプロバイダにお問い合わせください。
- Check your WWAN service（WWAN サービスを確認してください） - モバイルブロードバンドネットワークサービスプロバイダにお問い合わせになり、プランの適用範囲とサポートされているサービスを確認します。

モバイルブロードバンドカードを有効にします —

インターネットに接続する前に、お使いのセルラーサービスプロバイダを介してモバイルブロードバンドサービスを有効にする必要があります。Dell モバイルブロードバンドカードユーティリティの使い方に関する手順と追加情報は、Windows ヘルプとサポートセンターのユーザーズガイドを参照してください。ヘルプとサポートセンターにアクセスする方法については、Windows ヘルプとサポートセンターを参照してください。ユーザーズガイドは、デルサポートサイト **support.jp.dell.com** でも入手できます。また、モバイルブロードバンドカードをコンピュータとは別に購入した場合には、カードに付属のメディアにも収録されています。

メディアメモリカードまたは ExpressCard の問題

警告: 本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。

メモ: ExpressCard スロットは PC カードをサポートしません。

ExpressCard を確認します —

カードが正しくコネクタに挿入されているか確認します。

Windows でカードが認識されているか確認します —

Windows タスク バーにある **ハードウェアの安全な取り外し** アイコンをダブルクリックします。カードが一覧表示されていることを確認します。

デルから購入したカードに問題がある場合 —

デルにお問い合わせください。デルへのお問い合わせを参照してください。

デル以外から購入したカードに問題がある場合 —

カードの製造元にお問い合わせください。

電源の問題

以下を確認しながら、Diagnostics（診断）チェックリスト（Diagnostics（診断）チェックリストを参照）に必要事項を記入します。

警告: 本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。

電源ライトを確認します —

電源ライトが点灯または点滅している場合は、コンピュータに電源が入っています。電源ライトが点滅している場合、コンピュータはスタンバイモードに入っています。電源ボタンを押してスタンバイモードを終了します。ライトが消灯している場合、電源ボタンを押してコンピュータの電源を入れます。

バッテリーを充電します —

バッテリーが充電されていないことがあります。

1. バッテリーを取り付けなおします。
2. AC アダプタをコンピュータとコンセントに接続して使用します。

3. コンピュータの電源を入れます。

メモ: バッテリー駆動時間（バッテリーが電力を供給できる時間）は、時間の経過に従って短くなります。バッテリーの使用頻度および使用状況によって駆動時間が変わるので、コンピュータの寿命がある間でも新しくバッテリーを購入する必要がある場合もあります。

バッテリーステータスライトを確認します —

バッテリーステータスライトが橙色に点滅しているか橙色に点灯している場合は、バッテリーの充電が不足しているか、または充電されていません。コンピュータをコンセントに接続します。

バッテリーステータスライトが青色と橙色に点滅している場合、バッテリーが高温になっていて、充電できません。コンピュータをシャットダウンし、コンピュータをコンセントから抜いて、バッテリーとコンピュータの温度を室温まで下げます。

バッテリーステータスライトが速く橙色に点滅している場合、バッテリーが不良である可能性があります。デルにお問い合わせください。デルへのお問い合わせを参照してください。

バッテリーの温度を確認してください —

バッテリーの温度が 0 ℃ 以下では、コンピュータは起動しません。

コンセントを確認します —

電気スタンドなどの電化製品でコンセントに問題がないか確認します。

AC アダプタを確認します —

AC アダプタケーブルの接続を確認します。AC アダプタにライトがある場合、ライトが点灯しているか確認します。

コンピュータを直接コンセントへ接続します —

お使いの電源保護装置、電源タップ、および延長コードを取り外して、コンピュータの電源が入るか確認します。

電気的な妨害を除去します —

コンピュータの近くで使用している扇風機、蛍光灯、ハロゲンランプ、またはその他の機器の電源を切ります。

電源のプロパティを調整します —

電力管理の設定を参照してください。

メモリモジュールを再度取り付けます —

コンピュータの電源ライトは点灯しているのに、ディスプレイに何も表示されない場合、メモリモジュールを取り付けなおします。メモリを参照してください。

コンピュータへの十分な電力の確保

お使いのコンピュータは、150 W の AC アダプタで使用するように設計されています。最適なシステムパフォーマンスを得るには、150 W のアダプタを常に使用してください。

性能の劣る AC アダプタを使用すると、警告メッセージが表示されます。

プリンタの問題

以下を確認しながら、Diagnostics（診断）チェックリスト（Diagnostics（診断）チェックリストを参照）に必要事項を記入します。

警告: 本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。

メモ: プリンタのテクニカルサポートが必要な場合、プリンタの製造元にお問い合わせください。

プリンタの電源がオンになっていることを確認します

プリンタケーブルの接続を確認します —

- ケーブル接続の情報については、プリンタのマニュアルを参照してください。
- プリンタケーブルがプリンタとコンピュータにしっかり接続されているか確認します。

コンセントを確認します —

電気スタンドなどの電化製品でコンセントに問題がないか確認します。

Windows でプリンタを検出します —

1. **スタート** ボタンをクリックし、**コントロールパネル** をクリックして、**プリンタとファックス** をクリックします。

   プリンタが表示されている場合は、プリンタのアイコンを右クリックします。

2. **プロパティ** をクリックして、**ポート** タブをクリックします。パラレルプリンタの場合、**印刷先のポート** を **LPT1: プリンタポート** に設定します。USB プリンタの場合、印刷先のポート が **USB** に設定されているか確認します。

プリンタドライバを再インストールします —

再インストールの手順については、プリンタのマニュアルを参照してください。

スキャナーの問題

警告: 本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。

メモ: スキャナーのテクニカルサポートについては、スキャナーの製造元にお問い合わせください。

スキャナーのマニュアルを確認します —

スキャナーのセットアップおよびトラブルシューティングの詳細に関しては、スキャナーのマニュアルを参照してください。

スキャナーのロックを解除します —

スキャナーに固定タブやボタンがある場合、ロックが解除されているか確認します。

コンピュータを再起動して、もう一度スキャンしてみます

ケーブルの接続を確認します —

- ケーブル接続の詳細については、スキャナーのマニュアルを参照してください。
- スキャナーのケーブルがスキャナーとコンピュータにしっかりと接続されているか確認します。

Microsoft Windows がスキャナーを認識しているか確認します —

1. **スタート** ボタンをクリックし、**コントロールパネル** をクリックして、**スキャナとカメラ** をクリックします。

   お使いのスキャナーが一覧に表示されている場合、Windows はスキャナーを認識しています。

スキャナードライバを再インストールします —

手順については、スキャナーに付属しているマニュアルを参照してください。

音声とスピーカーの問題

以下を確認しながら、Diagnostics（診断）チェックリスト（Diagnostics（診断）チェックリストを参照）に必要事項を記入します。

警告: 本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。

内蔵スピーカーから音が出ない場合

Windows で音量を調節します —

画面右下にある黄色のスピーカーのアイコンをダブルクリックして、音量つまみを調節してください。音量が上げてあること、ミュートが選択されていないことを確認します。音の歪みを除去するために音量、低音または高音の調節をします。

キーボードのショートカットを使用して音量を調節します —

<Fn><End> を押して内蔵スピーカーを無効(ミュート)、または再び有効にします。

サウンド(オーディオ)ドライバを再インストールします —

ドライバとユーティリティの再インストールを参照してください。

外付けスピーカーから音が出ない場合

サブウーハーおよびスピーカーの電源が入っているか確認します —

スピーカーに付属しているセットアップ図を参照してください。スピーカーにボリュームコントロールが付いている場合、音量、低音、または高音を調整して音の歪みを解消します。

Windows のボリュームコントロールを調節します —

画面右下角にあるスピーカーのアイコンをクリックまたはダブルクリックします。音量が上げてあること、ミュートが選択されていないことを確認します。

ヘッドフォンをヘッドフォンコネクタから取り外します —

コンピュータの前面パネルにあるヘッドフォンコネクタにヘッドフォンを接続すると、自動的にスピーカーからの音声は聞こえなくなります。

コンセントを確認します —

電気スタンドなどの電化製品でコンセントに問題がないか確認します。

電気的な妨害を除去します —

コンピュータの近くで使用している扇風機、蛍光灯、またはハロゲンランプの電源を切り、干渉を調べます。

オーディオドライバを再インストールします —

ドライバとユーティリティの再インストールを参照してください。

Dell Diagnostics(診断)プログラムを実行します —

Dell Diagnostics(診断)プログラムを参照してください。

 **メモ:** MP3 プレーヤーの音量調節は、Windows の音量設定より優先されることがあります。MP3 の音楽を聴いていた場合、プレイヤーの音量が十分か確認してください。

ヘッドフォンから音が出ない場合

ヘッドフォンのケーブル接続を確認します —

ヘッドフォンケーブルがヘッドフォンコネクタにしっかりと接続されているか確認します。

Windows で音量を調節します —

画面右下角にあるスピーカーのアイコンをクリックまたはダブルクリックします。音量が上げてあること、ミュートが選択されていないことを確認します。

マウスの問題

USB マウスを使用している場合、マウスケーブルを確認します —

コンピュータをシャットダウンします。マウスケーブルを取り外し、損傷していないか確認して、ケーブルをしっかりと接続しなおします。

マウス延長ケーブルを使用している場合、延長ケーブルを外してマウスを直接コンピュータに接続します。

マウスによる問題であることを確認するため、タッチパッドを確認します —

1. コンピュータをシャットダウンします。
2. USB マウスを使用している場合、マウスを取り外します。
3. コンピュータの電源を入れます。
4. Windows デスクトップで、タッチパッドを使用してカーソルを動かし、アイコンを選択して開きます。

   タッチパッドが正常に動作する場合は、マウスに欠陥があるか、Bluetooth テクノロジのワイヤレスマウスがコンピュータとペアリングされていない可能性があります。マウスをペアリングできなかった場合を参照してください。

セットアップユーティリティの設定をチェックします —

セットアップユーティリティで、ポインティングデバイスオプションに正しいデバイスが表示されていることを確認します。セットアップユーティリティを参照してください。（コンピュータは設定を調整しなくても自動的に USB マウスを認識します。）

マウスコントローラをテストします —

マウスコントローラ（ポインタの動きに影響します）およびタッチパッドまたはマウスボタンの動作を確認するには、Dell Diagnostics（診断）プログラムの **Pointing Devices** テストグループの **Mouse** テストを実行します。Dell Diagnostics（診断）プログラムを参照してください。

タッチパッドドライバを再インストールします —

ドライバとユーティリティの再インストールを参照してください。

コンピュータベースがワイヤレスマウスを認識しない —

マウスのペアリングを参照してください。

ビデオおよびディスプレイの問題

以下を確認しながら、Diagnostics（診断）チェックリスト（Dell Diagnostics（診断）プログラムを参照）に必要事項を記入します。

警告: 本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。

画面に何も表示されない場合

メモ: お使いのコンピュータに対応する解像度よりも高い解像度を必要とするプログラムをご使用の場合は、外付けモニターをコンピュータに取り付けることをお勧めします。

バッテリーを確認します —

コンピュータをバッテリーで動作している場合は、充電されたバッテリーの残量が消耗されています。AC アダプタを使ってコンピュータをコンセントに接続して、コンピュータの電源を入れます。

コンセントを確認します —

電気スタンドなどの電化製品でコンセントに問題がないか確認します。

AC アダプタを確認します —

AC アダプタケーブルの接続を確認します。AC アダプタにライトがある場合、ライトが点灯しているか確認します。

コンピュータを直接コンセントへ接続します —

お使いの電源保護装置、電源タップ、および延長コードを取り外して、コンピュータの電源が入るか確認します。

電源のプロパティを調整します —

Windows のヘルプとサポートセンター でスタンバイというキーワードを検索します。

画面モードを切り替えます —

コンピュータが外付けモニターに接続されている場合は、<Fn><F8> を押して画面モードをディスプレイに切り替えます。

画面が見づらい場合

輝度を調節します —

<Fn> と上下矢印キーを押します。

外付けのサブウーハーをコンピュータまたはモニターから離します —

外付けスピーカーにサブウーハーが備わっている場合は、サブウーハーをコンピュータまたは外付けモニターから 60 センチ以上離します。

電気的な妨害を除去します —

コンピュータの近くで使用している扇風機、蛍光灯、ハロゲンランプ、またはその他の機器の電源を切ります。

コンピュータの向きを変えます —

画質低下の原因となる日光の反射を避けます。

Windows のディスプレイ設定を調節します —

1. **スタート** ボタンをクリックして、**コントロールパネル** をクリックします。
2. **ディスプレイ** をダブルクリックし、**設定** タブをクリックします。
3. **画面の色** および **画面の解像度** で別の設定にしてみます。

Video 診断テストを実行します —

エラーメッセージが表示されず、画面の問題があるにもかかわらず画面の一部は表示される場合、Dell Diagnostics（診断）プログラム の **Video** デバイスグループを実行します。その後、デルにお問い合わせください。デルへのお問い合わせを参照してください。

「エラーメッセージ」を参照してください —

エラーメッセージが表示される場合、エラーメッセージを参照してください。

画面の一部しか表示されない場合

外付けモニターを接続します —

1. コンピュータをシャットダウンして、外付けモニターをコンピュータに取り付けます。

2. コンピュータおよびモニターの電源を入れ、モニターの輝度およびコントラストを調整します。

外付けモニターが動作する場合、コンピュータのディスプレイまたはビデオコントローラが不良の可能性があります。デルにお問い合わせください。デルへのお問い合わせを参照してください。

目次に戻る